

千歳市の教育 2016



ミアーズ中学校交流事業訪問団
による柔道体験の様子



ALTによる外国語サポート事業の様子

～未来への飛翔・すべては子どもたちのために～
～学びの意欲と豊かな心を育む文化のまち～



電子黒板を活用した授業の様子



土曜授業で実施された地域の
千歳っ子見守り隊との対面式

千歳市教育委員会

目 次

I 千歳市の概要

1 位置及び地勢	1
2 気候	1
3 人口	2
4 地名の由来	2

II 教育計画

1 千歳市教育大綱	3
2 平成28年度教育行政執行方針	3
3 千歳市第6期総合計画(教育関係)	4
4 千歳市学校教育基本計画	5
5 千歳市生涯学習基本計画(後期計画)	6
6 千歳市子どもの読書活動推進計画(第2次)	7

III 教育行財政

〔1〕教育行政

1 教育委員・歴代教育委員長・歴代教育長・歴代教育委員	8
2 教育委員会会議の開催状況	10
3 教育行政の沿革	10
4 教育委員会組織と事務分掌	15

〔2〕教育財政

1 教育予算	18
2 平成28年度主要事業予算	20

IV 学校教育

〔1〕学校教育の主な施策

1 ふるさと千歳への感謝と希望を育てる	21
2 国際都市千歳にふさわしいグローバルな感覚を育てる	22
3 知的な探究心を持ち積極的に行動する力を育てる	23

〔2〕児童生徒数の推移

1 小学校	24
2 中学校	24

〔3〕市内小中学校の変遷	25
--------------	----

〔4〕学校の概要	
1 小学校	29
2 中学校	46
3 幼稚園	55
4 認定こども園	55
5 高等学校	56
6 大学・専修学校	58
〔5〕就学の助成	
1 就学援助	59
2 特別支援教育助成	60
3 奨学金制度	61
4 私立幼稚園助成	62
〔6〕学校保健	
1 児童生徒の体位	63
2 災害共済給付	64
〔7〕学校給食	
1 施設の概要	65
2 学校給食の状況	65
3 運営方法	65
4 給食校及び配食数	66
5 給食費	66
6 栄養基準	66
〔8〕生徒指導・青少年指導	
1 教育相談	67
2 不登校児童生徒	68
3 いじめに関する取組	69
4 各種事故	69
5 児童生徒の安全確保	70
6 青少年指導人数	70
 Ⅴ 社会教育	
〔1〕生涯学習・社会教育の主な施策	71
〔2〕社会教育委員・公民館運営審議会委員	
1 社会教育委員	72
2 公民館運営審議会委員	72

〔3〕社会教育事業	73
〔4〕社会教育施設	
1 千歳市立図書館	75
2 千歳市立千歳公民館	77
3 千歳市民文化センター	80
4 千歳市民ギャラリー	83
5 千歳市民活動交流センター「ミナクール」	85
6 千歳市青少年会館	86
〔5〕文化財	
1 施設概要	87
2 沿革	87
3 国指定史跡	87
4 国指定重要文化財	88
5 国指定重要無形民俗文化財	89
6 市指定文化財	89
〔6〕公益財団法人千歳青少年教育財団	
1 目的	96
2 主な事業内容	96
3 サケのふるさと千歳水族館(旧「千歳サケのふるさと館」)	96
4 教育事業	98
〔7〕社会体育事業	99
〔8〕学校開放事業	
1 体育館	100
2 グラウンド	100
3 武道場	100
4 利用状況	100
〔9〕社会体育施設	
1 千歳市温水プール	102
2 千歳市スポーツセンター	103
3 千歳市開基記念総合武道館	104
4 その他の社会体育施設	105



千 歳 市 章（昭和27年5月1日制定）

ちとせの「ち」を飛行機の形に図案化して、空港がある臨空都市を表現するとともに、国立公園支笏湖とその連山、豊かな大地など、伸びゆく千歳の姿を描いています。

I 千歳市の概況

1 位置及び地勢

千歳市は道央圏のほぼ中央に位置し、東西に細長く西高東低の地形で、札幌市や苫小牧市など4市4町に隣接しています。

市街地の標高は15m 前後の低地となっていて、飛行場の付近には標高25m 前後と国内では最も低い太平洋と日本海の分水嶺があります。

市域の西部は那須火山帯に属する1,000m級の活火山が連なる山岳地帯で国立公園支笏湖地域を形成しており、豊かな自然に恵まれています。支笏湖は水深が日本で2番目であり、約4万年前に支笏火山の大噴火でできたカルデラ湖です。支笏湖を取りかこむようにオコタンペ湖、美笛の滝、苔の洞門、湖に面して3つの温泉など、レクリエーション・リゾートの地としてにぎわいを見せています。中央部はほぼ平坦地で、市街地を始め工業団地、飛行場・空港、自衛隊駐屯地・基地、農用地などに利用され、東部は丘陵地帯で農林業に活用されています。

千 歳 市 の 位 置				
方 位	町 名	経 緯 度		
極 東	東 丘	東経	141° 52′ 12″	
極 西	美 笛	東経	141° 10′ 17″	
極 南	美 笛	北緯	42° 40′ 53″	
極 北	新 川	北緯	42° 57′ 12″	

千歳市役所の位置 東経:141° 39′ 04″ 北緯:42° 49′ 18″
広 が り 東西:57.20 km 南北:30.40 km
面 積 594.95 km²
隣 接 市 町 村 東:由仁町、安平町 西:伊達市
南:苫小牧市、白老町 北:札幌市、恵庭市、長沼町

2 気 候

千歳市は、太平洋と日本海の気象の影響を受ける分岐点に位置しています。このため、梅雨や台風の影響が少なく、年間降水量は1,000mm程度で降水量も道内では少ない地域です。春と夏には南風、冬には北西の風が吹き、年間を通して南北方向に安定しているため、千歳飛行場と新千歳空港の滑走路4本が並行となっています。

また、夏季の最高気温は30℃程度、冬季には最低気温が0℃未満の冬日が続く、年間の平均気温は7℃程度であり、内陸型のしのぎやすい気候となっています。

3 人 口

千歳に戸長役場が置かれたのは、明治13年です。当時は、47世帯209人の宿場町に過ぎず、大正後期から昭和初期に至っても人口は5,000人前後の寒村でしたが、昭和14年に海軍航空隊の基地完成により人口が10,000人を超え、以来、戦後の米オクラホマ州兵団駐留や自衛隊の移駐などで人口は増え続け、昭和33年7月1日には、北海道第17位の人口となり、道内24番目の「市」になりました。

昭和50年の国勢調査では61,031人にのぼり、JR千歳線鉄道高架が完成した55年国勢調査では66,788人と北海道第12位の都市に躍進しました。平成2年国勢調査では78,946人、7年国勢調査では84,866人、12年国勢調査では88,897人、17年国勢調査では91,437人、22年国勢調査では93,604人、27年国勢調査では95,664人となり、人口増加数は、道内他市町村が人口減少の中、札幌市に次ぐ道内第2位で、増加率は道内市部第1位となり、増加の一途をたどっています。千歳市の人口は、現在道内第10位となっております。

平成28年5月1日現在の人口・世帯	
男	48,938人
女	47,292人
総人口	96,230人
世帯数	47,867世帯

(住民基本台帳)

4 地名の由来

千歳の旧地名は、アイヌの人たちの言葉でシコツと呼ばれていました。シコツとは「大きくぼ地、または谷」という意味で、当時は、大空に鶴が舞い、川にはサケが遡る自然にあふれた大地でした。また、シコツには、太平洋と日本海を結ぶルートとなる「シコツ越え」があり、万治元年(1658年)に、現在の千歳神社の位置に志古津弁天小社が造営されるなど、人の往来が多い地でした。文化2年(1805年)、シコツ場所担当の箱館奉行調役並山田鯉兵衛嘉充が箱館奉行羽太正養に新しい地名を付けてほしいと願い出ました。そこで、シコツの地には多くの鶴がいることから、「鶴は千年、亀は万年」の故事から千歳と命名されました。

千歳市民憲章

世界をつなぐ 北の大空。
千歳川の 清い流れ。
開拓 ここに一世紀。
私たちは、誇りある千歳市民です。
郷土の発展と、お互いのしあわせを
願い、この憲章をかかげて、力強く
前進をつづけます。

1. 心身をきたえ、仕事にはげみ、
明るく 若々しい まちにしましょう。
1. 自然を愛し、季節に親しみ、
快く 楽しい まちにしましょう。
1. きまりを守り、力を合わせて、
美しく 住みよい まちにしましょう。
1. 年よりを敬い、子どもの夢をはぐくみ、
温かく 平和な まちにしましょう。
1. 文化を育て、希望にみちた、
豊かな おちついた まちにしましょう。

(昭和54年7月1日制定)



「希望」「健康」「自然」「連帯」「愛」を
イメージする市民権肖像

(平成3年7月20日建)

Ⅱ 教育計画

1 千歳市教育大綱

(1) 基本目標

学びの意欲と豊かな心を育む教育文化のまち

(2) 重点施策

- ① 確かな学力の向上
- ② 教育環境の整備
- ③ 外国語教育の充実
- ④ いじめ・不登校の対策
- ⑤ 生涯学習の推進

(3) 基本方針

- ① ふるさと千歳への感謝と希望を育てる
- ② 国際都市千歳にふさわしいグローバルな感覚を育てる
- ③ 知的な探究心を持ち積極的に行動する力を育てる
- ④ 学びの意欲と豊かな心を育む文化のまち

2 平成28年度教育行政執行方針

(1) 教育行政の基本姿勢

- ① 未来への飛翔・すべては子どもたちのために
- ② 学びの意欲と豊かな心を育む文化のまち

(2) 教育重点施策

- ① 確かな学力の向上
- ② 教育環境の整備
- ③ 外国語教育の充実
- ④ いじめ・不登校の対策
- ⑤ 生涯学習の推進

(2) 主な施策

- ① 学校教育の推進
 - ・ ふるさと千歳への感謝と希望を育てる
 - ・ 国際都市千歳にふさわしいグローバルな感覚を育てる
 - ・ 知的な探究心を持ち積極的に行動する力を育てる
- ② 社会教育の推進
 - ・ いつでも、どこでも、だれもが学びあえる仕組みづくりの推進
 - ・ 社会の変化や今日的課題などに対応した、様々な学習機会の充実
 - ・ 市民ニーズに対応し、安全で快適に利用ができる社会教育施設の充実
 - ・ 多様な文化鑑賞機会の充実と文化活動の支援
 - ・ 文化財の保護と継承
 - ・ 思いやりの心とチャレンジ精神を育む青少年健全育成活動の推進

3 千歳市第6期総合計画(教育関係)(平成23年度～32年度)

基本目標	展開方針	施策
学びの意欲と豊かな心を育む教育文化のまち	生涯学習のまちづくり	学びあえる仕組みづくりの推進
		市民活動の活性化とネットワーク体制の充実
		未来の社会を担う人づくりのための機会の創出
	幼稚園教育の充実	幼稚園教育の充実
	小中学校教育の充実	快適な学校環境の整備
		教育活動の充実
		安心・安全な教育環境の充実
		特別支援教育の充実
		学校を支える組織の充実
		教育相談・指導の充実
		学校給食の充実
	高等学校教育等の充実	教育機会の拡充
	社会教育の充実	学習機会の充実
		家庭教育の充実
		社会教育施設の充実
	市民文化の創造	文化鑑賞機会の充実
		文化活動の推進
	文化財の保護と活用	文化財の保護と保存
		郷土資料の公開と活用
		伝統文化の保存と継承
	生涯スポーツの推進	生涯スポーツの啓発と普及
		スポーツ施設の充実
	青少年の健全な育成	青少年健全育成活動の推進
		青少年の非行防止
	多様な地域間交流の推進	人と地域が育む国際交流の推進

4 千歳市学校教育基本計画(平成26年度～32年度)

基本目標	基本方向	施策項目
ふるさと千歳への感謝と希望を育てる 【基礎となる基本目標】	子どもたちに自己有用感を育てる教育の推進	千歳市の特色を生かした教育活動の推進
		認め合い高め合う学年・学級経営の推進
		教育相談体制の充実
		いじめ・不登校問題への取組の充実
	安全・安心な教育環境の充実	学校施設の充実
		防災・安全教育の推進
		就学(修学)支援の充実
	家庭の教育力の向上への支援の充実	家庭の教育力の向上
		幼児教育・子育て支援の充実
	地域全体で子どもを育む環境づくりの推進	地域の教育力の向上
		子どもたちの安全・安心を確保する体制づくりの推進
国際都市千歳にふさわしいグローバルな感覚を育てる 【時代のニーズに応じた基本目標】	新しい時代に対応した学校改善の推進と「学校力」の向上	学校組織の活性化に向けた取組の推進
		開かれた学校づくりの推進
		教職員の資質・能力の向上
		学校間の連携・接続の推進
		関係機関団体との連携協力の推進
	社会の変化に対応する力を育成する教育の推進	ICT教育の充実
		環境教育の推進
	国際社会に生きる人材を育成する教育の推進	外国語教育の充実
		国際理解教育の充実
知的な探究心を持ち積極的に行動する力を育てる 【生きる力(知・徳・体)を育むための基本目標】	確かな学力を育成する教育の推進	確かな学力を育成する教育の推進
		学ぶ意欲を高める指導の充実
	豊かな心を育成する教育の推進	道徳教育の充実
		読書活動の推進
		体験的な活動の充実
	健やかな身体を育成する教育の推進	体力・運動能力の向上
		食育の推進
		健康教育の推進
	特別支援教育の推進	特別支援教育の体制整備
		一人ひとりの教育的ニーズを踏まえた指導の充実

5 千歳市生涯学習基本計画(後期計画)(平成28年度～32年度)

基本目標	推進方向	取組方策
学びの意欲と豊かな心を育む文化のまち	いつでも、どこでも、だれもが学びあえる仕組みづくりの推進	市民の自主的な学習活動の支援
		関係機関と連携した学習支援や交流活動の支援
		生涯学習活動の普及・啓発の充実
		まちづくり活動を行うセンター機能の充実
		まちづくりを行う人材や団体の育成と活動支援
		地域の力による、未来を担う子どもたちの活動支援の充実
	社会の変化や今日的課題などに対応した、様々な学習機会の充実	市民ニーズに応じた学習機会の充実
		高齢者の学習機会の充実
		家庭教育に関する学習機会の充実
	市民ニーズに対応し、安全で快適に利用ができる社会教育施設の充実	市民ニーズを反映した、社会教育施設の機能の充実
		安全で快適に利用ができるよう、施設や設備の計画的な改修・更新
	多様な文化鑑賞機会の充実と文化活動の支援	文化鑑賞機会の充実と活動の支援
		文化鑑賞に関する情報提供の充実
		読書環境の充実
		文化関係団体やサークルなどの育成と活動の支援
		活動成果を発表する機会の充実
	文化財の保護と継承	文化財の保護・保存と活用
		郷土資料等の収集・調査と公開
		伝統文化の保存と継承
	地域における各種スポーツ活動の活性化と団体の育成	生涯にわたるスポーツ活動の促進
		スポーツイベント、スポーツ教室などの充実
		スポーツ活動を支援する指導者や団体の育成
		市民のスポーツ意識の啓発
		小中学校施設の地域開放
	思いやりの心とチャレンジ精神を育む青少年の健全育成活動の推進	家庭、学校、地域などとの連携・協力を通じた健全育成活動の推進
		関係団体の育成と活動の支援
		自然体験や地域文化の理解、科学探究活動の充実
		青少年の非行防止

6 千歳市子どもの読書活動推進計画(第2次)(平成26年度～32年度)

基本目標	推進方向	施策の概要
子どもたちが、あらゆる機会と場所において自主的な読書活動ができるよう、読書環境の充実を図ること	家庭・地域における子どもの読書活動の推進	家庭での読書の習慣化の推進
		幼稚園・保育所・児童館・学童クラブなど、地域での図書の充実と読み聞かせの促進
		乳幼児期の読書機会の充実
		読書活動を支援するボランティア活動への参加と活動の継承促進
		学校や図書館との連携・協力の強化
	学校における子どもの読書活動の推進	一斉読書や調べ学習などの多様な読書活動の継続と充実
		学校図書館の図書や設備の充実
		家庭や地域、市立図書館との連携・協力の強化
		小中学校図書館司書の配置などによる学校図書館の充実
		高等学校などにおける読書環境の充実
	市立図書館における子どもの読書活動の推進	子どもの読書活動の普及及び啓発
		ボランティアの養成とボランティア団体との連携・協力の強化
		学校、家庭・地域の施設との連携・協力の強化
		乳幼児読書事業の継続及び充実
		移動図書館を利用した読書環境の充実
		子どものための読書相談サービスの充実
		障がいのある子どもの読書活動の促進
		中学生・高校生向けの図書の充実

Ⅲ 教育行財政

〔1〕教育行政

1 教育委員・歴代教育委員長・歴代教育長・歴代教育委員



【教育委員】

役職名	氏名	就任年月日
委員長	山 田 律 子	平成17年10月 1 日就任（3期目）
委員長職務代理者	佐々木 義 朗	平成18年10月 1 日就任（3期目）
委員	荒 井 由紀恵	平成27年10月 1 日就任（1期目）
委員	明 石 光 正	平成20年10月 1 日就任（2期目）
教 育 長	宮 崎 肇	平成24年10月 1 日就任（1期目）

【歴代教育委員長】

歴代	氏名	就任期間			
初代	五十嵐 直 蔵	昭和31年10月 1 日	～	昭和34年 5月31 日	1期(2年8か月)
2代	岸 本 貞 一	昭和34年 6月 1 日	～	昭和46年 9月30 日	4期(12年4か月)
3代	河 野 有 三	昭和46年 4月30 日	～	昭和60年 9月30 日	4期(14年5か月)
4代	島 倉 充 平	昭和60年10月 1 日	～	平成 9年 9月30 日	3期(12年)
5代	伊 藤 博 邦	平成 9年10月 1 日	～	平成17年 9月30 日	2期(8年)
6代	山 田 律 子	平成17年10月 1 日	～		3期目

【歴代教育長】

歴代	氏名	就任期間			
初代	菅 原 恵 一	昭和31年10月 1 日	～	昭和34年 3月13 日	1期(2年5か月)
2代	半 田 景 明	昭和34年 6月16 日	～	昭和50年 3月20 日	5期(16年9か月)
3代	宮 澤 一 成	昭和50年 6月 1 日	～	昭和63年 9月30 日	4期(13年4か月)
4代	佐 藤 利 雄	昭和63年10月 1 日	～	平成 8年 9月30 日	2期(8年)
5代	工 藤 文 夫	平成 8年10月 1 日	～	平成13年 9月30 日	2期(5年)
6代	小 林 義 知	平成13年10月 1 日	～	平成24年 9月30 日	3期(11年)
7代	宮 崎 肇	平成24年10月 1 日	～		1期目

【歴代教育委員】

氏 名	委員 (在任期間)			委員長	教育長	委員
内 村 ナ ツ	S31.10. 1	S43. 9.30	3期(12年)			○
信 田 信太郎	S31.10. 1	S41. 9.30	3期(10年)			○
五十嵐 直 蔵	S31.10. 1	S34. 5.31	1期(2年8か月)	◎		
高 橋 三次郎	S31.10. 1	S34. 5.13	1期(2年4か月)			○
菅 原 恵 一	S31.10. 1	S34. 3.13	1期(2年5か月)		○	
岸 本 貞 一	S34. 6. 1	S46. 9.30	4期(12年4か月)	◎		
半 田 景 明	S34. 6.16	S50. 3.20	5期(16年9か月)		○	
若 木 キ サ	S34. 7. 3	S36. 3	1期(1年8か月)			○
鈴 木 清 子	S36. 3.31	S43. 9.30	2期(7年6か月)			○
阿 部 忠 彦	S41.10. 1	S45. 9.30	1期(4年)			○
鎌 倉 末 吉	S43.10. 1	S46. 4. 7	1期(2年6か月)			○
藤 本 敬 一	S43.10. 1	S55. 9.30	3期(12年)			○
高 塚 興 正	S45.10. 1	H 2. 9.30	5期(20年)			○
河 野 有 三	S46. 4.30	S60. 9.30	4期(14年5か月)	◎		
矢 野 和 子	S46.10. 1	S58. 9.30	3期(12年)			○
宮 澤 一 成	S50. 6. 1	S63. 9.30	4期(13年4か月)		○	
寺 山 恵美子	S58.10. 1	H 7. 9.30	3期(12年)			○
島 倉 充 平	S60.10. 1	H 9. 9.30	3期(12年)	◎		
佐 藤 利 雄	S63.10. 1	H 8. 9.30	2期(8年)		○	
佐 藤 嘉 彦	H 2.10. 1	H 6. 8.21	1期(3年10か月)			○
今 清	H 4.10. 1	H12. 9.30	2期(8年)			○
三ツ野 仁	H 7.10. 1	H18. 9.30	3期(11年)			○
橋 爪 光 子	H 7.10. 1	H19. 9.30	3期(12年)			○
工 藤 文 夫	H 8.10. 1	H13. 9.30	2期(5年)		○	
伊 藤 博 邦	H 9.10. 1	H17. 9.30	2期(8年)	◎		
竹 嶋 勝 利	H12.10. 1	H20. 9.30	2期(8年)			○
小 林 義 知	H13.10. 1	H24. 9.30	3期(11年)		○	
阿 部 弓 枝	H19.10. 1	H27. 9.30	2期(8年)			○
山 田 律 子	H17.10. 1	—	3期目	◎		
佐々木 義 朗	H18.10. 1	—	3期目			○
明 石 光 正	H20.10. 1	—	2期目			○
宮 崎 肇	H24.10. 1	—	1期目		○	
荒 井 由紀恵	H27.10. 1	—	1期目			○

2 教育委員会会議の開催状況

回数	開催日	議 題
1	平成27年 1月28日	平成27年度教育予算について ほか
2	平成27年 2月25日	平成27年千歳市議会第1回定例会教育行政報告について ほか
3	平成27年 3月10日	教職員の異動内申について ほか
4	平成27年 3月24日	教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価について ほか
5	平成27年 4月24日	千歳市奨学生選考委員会委員の委嘱及び任命について ほか
6	平成27年 5月27日	平成27年千歳市議会第2回定例会教育行政執行方針及び教育行政報告について ほか
7	平成27年 6月27日	千歳市社会教育委員の委嘱について ほか
8	平成27年 7月28日	平成26年度指定管理者モニタリング報告について ほか
9	平成27年 8月25日	中学校用教科用図書の採択について
10	平成27年 9月11日	平成27年千歳市議会第3回定例会教育行政報告について ほか
11	平成27年 9月24日	教育委員会職員の任免について
12	平成27年10月 1日	委員長の選挙について ほか
13	平成27年10月21日	平成27年度全国学力・学習状況調査結果の公表について ほか
14	平成27年11月27日	平成27年千歳市議会第4回定例会教育行政報告について ほか
15	平成27年12月24日	平成27年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果の公表方法について ほか

3 教育行政の沿革

(1)教育委員会の発足

戦後の民主化、地方分権化の一環として、昭和23年7月15日に教育委員会法が制定され、市町村については、昭和27年11月1日までに設置することとされました。教育委員会の委員は、住民の選挙によって決められ、市町村の委員5人のうち1人は議会から選ばれました。任期は4年ですが、最初の選挙における上位2人は4年、次の2人は2年で、2年ごとに半数の委員を改選するという規定でした。

本市では、昭和27年10月5日に第1回の選挙が行われ、4年任期の委員に今与三郎、市村政五郎、2年任期の委員に中川要助、野沢栄三郎が選ばれ、さらに町議会選出の吉田信一の5名でスタートしました。11月1日第1回教育委員会会議が開催され、委員長に今与三郎、副委員長に中川要助を選出しています。その他、教育長として町教育民生課長の谷口好忠を任命し、教育委員会会議規則や教育委員会事務局組織規程等が決定されています。発足当初は、米オクラホマ州兵師団の駐留による町の風紀問題や、人口急増に伴う不足教室の対策など、教育を取り巻く難問を抱えることになりました。昭和28年4月1日、谷口教育長に代わり、北海道民生部社会課民生・保護生活係長の佐藤勝蔵が招かれて教育長に就任しています。昭和29年6月18日に公職選挙法の一部改正があり、2年委員の任期は更に2年間延長されました。この年、野沢栄三郎委員の辞任に伴い中村竹五郎が繰上当選により委員に就任し、更に、今与三郎委員長が辞任したため、翌30年4月30日の地方統一選挙で町教育委員会委員補欠選挙が行われ、熊谷功男が委員に当選しました。議会側からは、新たに佐藤文喜が選任され、後任委員長には、副委員長であった中川要助が、副委員長には市村政五郎が選ばれました。昭和31年6月の第2回国会において、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」の成立(同年10月1日施行)に伴い、教育委員会委員の公選制が廃止され、地方公共団体の長が議会の同意を得て委員を任命することになりました。同年9月、第3回定例町議会において、五十嵐直蔵、信田信太郎、高橋三次郎、内村ナツ、菅原恵一が議会の同意のもとに委員に任命され、委員長に五十嵐直蔵、副委員長に内村ナツ、教育長に菅原恵一が選出されました。当時は、ジェット機の騒音問題や東千歳地区の通学問題などを抱えていました。

(2) 沿革

月日	主な出来事
明治12(1879)年10月	千歳村で初の寺子屋式教育を始める(現千歳小学校)
" 13(1880)年 3月	千歳村に戸長を置き事務を行う(戸長役場開庁)
4月	千歳教育所創設
" 22(1889)年 4月	千歳教育所を改め簡易小学校となる
" 28(1895)年 3月	簡易小学校が千歳尋常小学校となる(現在地に校舎新築)
" 32(1899)年 9月	長都に私立教育所設置(長都小学校)
" 33(1900)年 6月	千歳尋常小学校阿宇砂里分教場設置(現駒里小学校)
9月	嶮淵簡易教育所設置(泉郷小学校の前身)
11月	幌加簡易教育所設置(幌加小学校の前身)
" 34(1901)年 6月	長都の私立教育所が長都簡易教育所となる
12月	長都簡易教育所が長都尋常小学校となる
" 35(1902)年 4月	近唐教育所設置(協和小学校の前身)
" 39(1906)年 9月	木臼簡易教育所設置(中央小学校の前身)
大正元(1911)年10月	阿宇砂里分教場が阿宇砂里簡易教育所となる
" 4(1915)年 4月	烏柵舞特別教授所設置(水明小学校の前身)
" 5(1916)年10月	二級町村制施行(烏柵舞村、蘭越村、長都村、千歳村を合併)
" 6(1917)年 4月	幌加簡易教育所が幌加尋常小学校となる
12月	阿宇砂里、嶮淵、木臼の各簡易教育所及び近唐教育所が尋常小学校となる
" 7(1918)年 6月	烏柵舞に私立王子尋常小学校開校、烏柵舞特別教授所廃止
12月	新嶮淵尋常小学校開校(東丘小学校の前身)
" 9(1920)年12月	千歳尋常小学校に高等科併置
" 12(1923)年 4月	千歳尋常小学校根志越分教場設置(現千歳第二小学校)
" 13(1924)年 4月	嶮淵、私立王子の両尋常小学校に高等科併置
" 15(1926)年 4月	根志越分教場が千歳尋常小学校分教場根志越特別教授所となる
5月	千歳、長都、嶮淵、幌加に青年訓練所設立
昭和 6(1931)年 4月	釜加特別教授場設置
" 7(1932)年	私立王子尋常高等小学校が公立烏柵舞尋常高等小学校となる
" 11(1936)年11月	釜加特別教授場を長都尋常小学校へ統合
" 12(1937)年10月	烏柵舞尋常高等小学校千歳鉦山特別教授所設置
" 14(1939)年 4月	千歳鉦山特別教授所が千歳鉦山尋常高等小学校となる
" 15(1940)年 6月	一級町村制施行
" 16(1941)年 4月	長都尋常小学校に高等科併置
" 17(1942)年 5月	国民学校令の施行により小学校を国民学校と改称する
" 21(1946)年 4月	町制施行(人口13,994人)
11月	根志越教授所が千歳第二国民学校となる
" 22(1947)年 4月	蘭越国民学校開校
5月	法令改正(学校六・三制発足)により校名変更
6月	長都、千歳鉦山、嶮淵の各小学校に千歳中学校の分校を併置(長都、千歳鉦山、泉郷各中学校の前身)
12月	千歳中学校木臼分校設置(中央中学校の前身)
" 23(1948)年 6月	千歳中学校開校
10月	幌加中学校開校(小学校に併置、東千歳中学校の前身)
" 24(1949)年 1月	烏柵舞小学校支笏湖畔分教場設置(現支笏湖小学校)
4月	千歳第三小学校開校
" 25(1950)年 3月	道立野幌高等学校千歳分校設置
4月	烏柵舞小学校支笏湖畔分教場が支笏湖小学校となる
12月	千歳中学校烏柵舞分校設置(小学校に併置、水明中学校の前身)
" 26(1951)年 3月	野幌高等学校千歳分校が北海道月寒高等学校千歳分校となる
4月	月寒高等学校千歳分校が町立千歳高等学校となる
12月	千歳中学校鉦山分校が千歳鉦山中学校となる
" 26(1951)年 3月	千歳中学校阿宇砂里分校設置(小学校に併置、現駒里中学校)
4月	千歳中学校が東雲町4丁目から栄町4丁目に移転
	字名変更により木臼小学校及び千歳中学校木臼分校が中央小学校及び同中央分校に烏柵舞小学校及び千歳中学校烏柵舞分校が水明小学校及び同水明分校となる

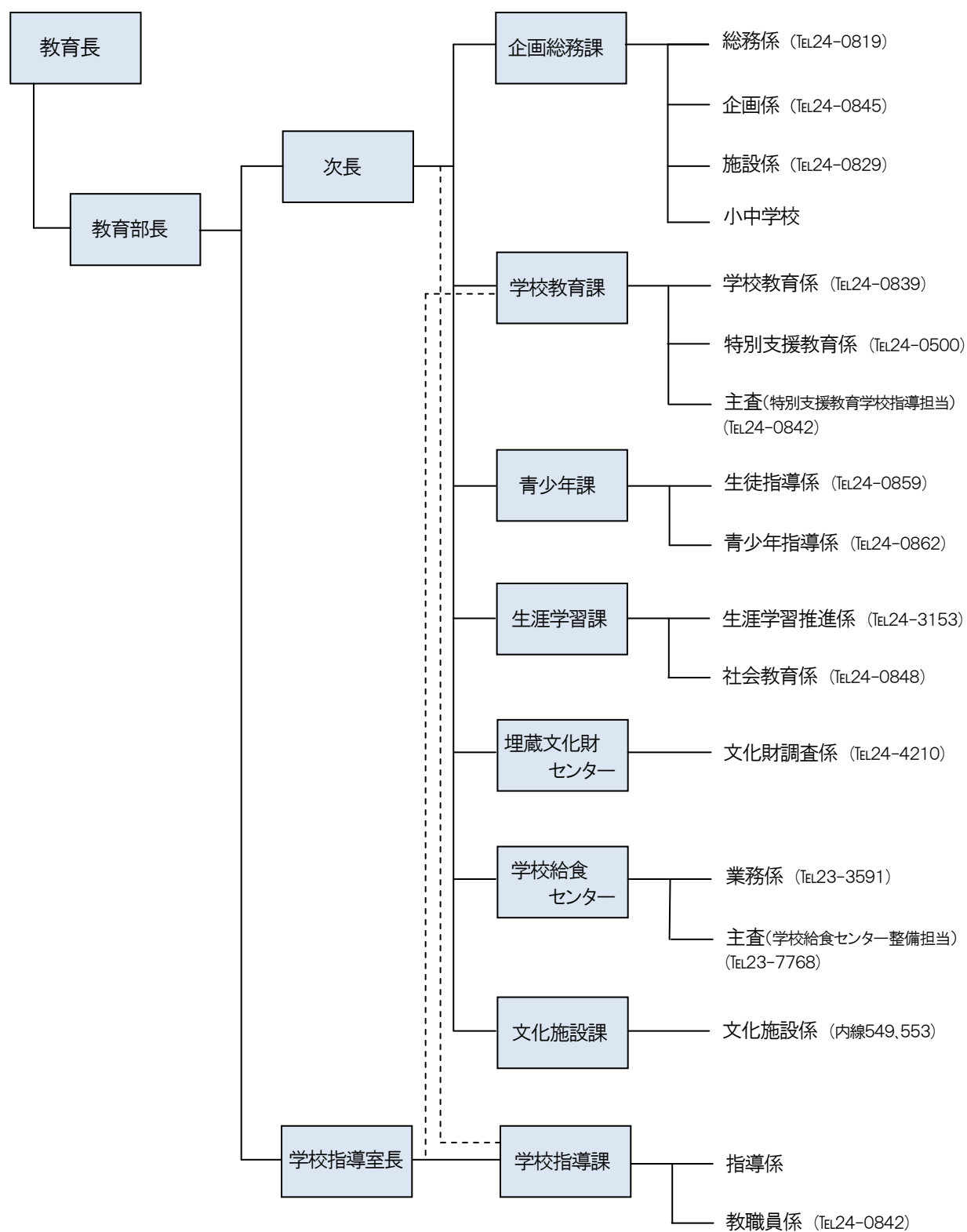
年 月	主 な 出 来 事
昭和27(1952)年 4月	字名変更により阿宇砂里小学校・千歳中学校阿宇砂里分校、嶮淵小学校・同嶮淵分校、近唐小学校、新嶮淵小学校が駒里小学校・同駒里分校、泉郷小学校・同泉郷分校、協和小学校、東丘小学校となる
10月	幌加中学校が東千歳中学校となる
11月	千歳町教育委員会委員選挙執行
" 28(1953)年 5月	千歳町教育委員会発足
" 29(1954)年 4月	北栄小学校開校
" 29(1954)年 5月	千歳町立千歳高等学校道立移管
" 30(1955)年 4月	千歳公民館開館
" 30(1955)年 5月	千歳町体育協会発足
" 31(1956)年 1月	千歳町教育委員会委員補欠選挙執行
4月	千歳中学校長都分校が長都中学校となる
" 32(1957)年 4月	千歳中学校駒里分校、同泉郷分校、同中央分校及び同水明分校が駒里中学校、泉郷中学校、中央中学校及び水明中学校となる
4月	末広小学校開校
" 32(1957)年 4月	緑小学校開校
8月	青葉中学校開校
" 33(1958)年 7月	市制施行(人口48,443人)
" 34(1959)年 4月	水明小・中学校藤の沢分校設置(藤の沢小学校の前身)
11月	キウスのチャシ重要文化財の指定を受ける
" 35(1960)年 5月	千歳小学校特殊学級発足(精神薄弱学級:昭和46年に北進小学校に分離独立)
" 37(1962)年 4月	千歳中学校特殊学級発足(精神薄弱学級:昭和46年に北進中学校に分離独立)
10月	市民会館開館
" 39(1964)年 3月	水明小学校を支笏湖小学校に統合
4月	水明中学校藤の沢分校を本校に統合
9月	水明小学校藤の沢分校が千歳小学校藤の沢分校となる
10月	ウサクマイ遺跡発掘調査
" 40(1965)年 10月	学校給食センター開設
" 41(1966)年 3月	千歳小学校特殊学級及び千歳中学校特殊学級が千歳小学校北栄分校・千歳中学校北栄分校となる
4月	水明中学校を千歳中学校に統合
" 42(1967)年 1月	千歳小学校藤の沢分校が藤の沢小学校となる
3月	日の出小学校開校
" 43(1968)年 3月	藤の沢小学校廃校
4月	青少年健全育成都市宣言
7月	泉郷小学校を千歳第二小学校に泉郷中学校を千歳中学校に統合
12月	信濃小学校開校
" 44(1969)年 8月	千歳第三小学校を信濃小学校に統合
12月	中央「千歳キウス環状土籬群」北海道文化財に指定
" 45(1970)年 4月	千歳市開基90周年記念式典
6月	青少年会館開館
12月	支笏湖青少年研修センター開設
" 46(1971)年 4月	高台小学校開校
6月	スポーツ都市宣言
12月	東千歳地区スクールバス運行開始
" 47(1972)年 1月	千歳第二小学校開校50周年記念式典
4月	幌加小学校、協和小学校、東丘小学校を統合し東小学校開校
9月	千歳小学校北栄分校・千歳中学校北栄分校が北進小学校・北進中学校となる
" 48(1973)年 1月	「千歳神社境内金加神社弁天御厨子」千歳市文化財に指定
3月	真町中学校開校
9月	中央中学校を真町中学校に統合
" 49(1974)年 1月	北進小学校に言語治療教室開設
4月	青葉中学校が根志越(現在地、豊里)に移転
5月	北海道千歳北陽高等学校開校(中央)
" 50(1975)年 3月	北栄小学校に情緒障害児学級開設
4月	末広小学校が富丘(現在地)に移転
10月	学校給食センターが上長都に移転
11月	北進小学校の言語治療教室を緑小学校に移設
" 51(1976)年 4月	支笏湖勤労青少年フレンドシップセンター開設
6月	人口6万人突破(人口60,200人)
8月	富丘中学校開校
12月	支笏湖自然の村開村
" 52(1977)年 4月	美々貝塚永久保存のため発掘調査
	北海道千歳北陽高等学校が北信濃(現在地、北陽)に移転
	千歳市青少年指標制定
	千歳中学校に言語治療教室開設
	祝梅小学校開校
	教育委員会事務局市庁舎に移転
	市立図書館開館
	「美々貝塚」「馬通看板」「磨製石棒」「男性土偶」千歳市文化財指定

年 月	主 な 出 来 事
昭和53(1978)年 3月	千歳鉱山小学校、千歳鉱山中学校閉校 蘭越小学校を緑小学校に統合
4月	桜木小学校開校
6月	北進中学校に情緒障害児学級開設
10月	総合スポーツセンター完成
12月	千歳小学校開校百年記念式典 「動物形土製品」千歳市文化財指定
" 54(1979)年 5月	泉沢市民スキー場開設
6月	「ウサクマイ遺跡群」国の史跡に指定
7月	「動物形土製品」国の重要文化財に指定
8月	千歳市民憲章制定
10月	千歳市開基百年記念式典 「キウス周堤墓群」国の史跡に指定 「泉郷獅子舞」千歳市文化財(無形民俗文化財)指定
" 55(1980)年 7月	「蕨手刀」千歳市文化財指定
" 57(1982)年 2月	(財)千歳青少年教育財団設立
4月	向陽台小学校開校
" 58(1983)年 2月	人口7万人突破(人口70,051人)
3月	北進小学校に情緒障害児学級開設
11月	北海道都市教育長会開催
" 59(1984)年 4月	市民文化センター開館
8月	北斗中学校開校
" 60(1985)年 8月	第16回全国中学校卓球大会開催
12月	ひびけ市民の「第9交響曲」発表
" 61(1986)年 4月	千歳小学校に肢体不自由児学級開設
7月	青空運動公園(アスファルトリンク)完成
" 62(1987)年 4月	向陽台中学校開校
5月	千歳市民球場完成
" 63(1988)年 2月	市立図書館新築移転(青葉公園内)
4月	通学区域変更(末広地区を富丘中学校から千歳中学校へ、清水町及び錦町1・2丁目地区を千歳中学校から真町中学校へ)
7月	青葉公園ピクニック広場完成
9月	夢ランドちとせ開催
平成 元(1989)年 4月	教育委員会事務局が本庁者から現教育委員会庁舎に移転
9月	千歳中学校に肢体不自由児学級開設
10月	第44回国民体育大会軟式野球競技会開催
11月	千歳市開基110周年記念式典
" 2(1990)年 8月	青空公園ふれあいセンター完成
12月	語学指導を行う外国青年を招致し中学校巡回訪問指導開始
" 3(1991)年 9月	鶴は千年塾事業により青少年海外派遣
10月	障害児教育相談員設置
" 4(1992)年 9月	人口8万人突破
" 5(1993)年 3月	学校週5日制開始
5月	(財)千歳市体育協会設立
8月	開基記念総合武道館完成
" 6(1994)年 4月	中央小学校を千歳小学校に統合
8月	「アイヌの伝統的芸能と工芸技術」千歳市文化財(無形民俗文化財)指定
9月	学校給食センターが祝梅に移転
" 7(1995)年 4月	北陽小学校開校(千歳小の肢体不自由児学級を北陽小に移設)
5月	第24回全国中学校剣道大会開催
8月	千歳サケのふるさと館開館
" 8(1996)年 4月	市民ギャラリー開館
5月	駒里水泳プール完成
8月	第39回北海道学校給食研究大会開催
" 9(1997)年 5月	青葉陸上競技場全天候型ラック及び管理棟全面改修完了
9月	第46回北海道公立小中学校事務研究大会(東北・北海道合同)石狩大会開催
" 10(1998)年 4月	泉沢小学校開校
6月	適応指導教室「おあしす」開設
11月	千歳中学校開校50周年記念式典
" 11(1999)年 4月	千歳高校全日制普通科1学級増
7月	向陽台小学校に情緒・知的障害児学級開設
8月	千歳市温水プール完成
10月	支笏湖小学校開校50周年記念式典
11月	第47回全道へき複・併置校教育研究大会石狩大会開催
12月	第38回北海道社会教育研究大会開催
" 12(2000)年 1月	北陽小学校校舎増築
3月	千歳第二小学校校舎増築
4月	千歳高校に学科を新設(国際教養科・国際流通科)

年 月	主 な 出 来 事
平成11(1999)年11月	千歳高校創立50周年記念事業実施
" 12(2000)年 9月	北海道言語障害児教育研究大会千歳大会開催
" 13(2001)年 4月	学校評議員設置
11月	長都小学校開校100周年記念式典
" 14(2002)年 2月	安全対策として小・中学校にインターホン及びオートロック設置
4月	完全学校週5日制開始「総合的な学習の時間」開始
7月	人口9万人突破
12月	東千歳中学校開校50周年記念式典
" 15(2003)年 3月	支笏湖勤労青少年フ렌ディシップセンター廃館
4月	北栄小学校に知的障害学級、向陽台小学校に難聴学級、千歳中学校に情緒・知的障害学級開設
6月	「特別支援教育推進体制モデル事業」の指定を受ける
11月	北栄小学校開校50周年記念式典
" 16(2004)年 4月	向陽台小学校に肢体不自由学級開設
" 17(2005)年 3月	長都小中学校開校
	支笏湖青少年研修センター閉所
6月	「北海道美々8遺跡出土品(1,164点)」国の重要文化財に指定
10月	千歳市の教育を考える市民会議設置
" 18(2006)年 4月	国の構造改革特区の認定により幼稚園の入園年齢を1才引き下げ
	千歳第二小学校、東千歳中学校で2学期制の試行開始
	市民文化センターがリニューアルオープン
5月	児童の登下校時の安全確保のため「千歳っ子見守り隊」を設置
8月	千歳市民活動交流センター「ミナクル」オープン
11月	駒里小学校開校100周年、駒里中学校開校50周年記念式典
12月	末広小学校開校50周年記念式典
" 19(2007)年 2月	千歳市の教育を考える市民会議から3つの目標、20の提言を受理
3月	第8回全国中学選抜卓球大会
10月	富丘中学校校舎増築
	青葉中学校開校50周年記念式典
12月	緑小学校開校50周年記念式典
" 20(2008)年 3月	北陽小学校校舎増築
4月	学校二学期制開始
5・7月	市制施行50周年、ジュニアエイトサミット2008千歳支笏湖の開催記念事業として「ちとせつこ未来フォーラム」を開催
" 21(2009)年 5月	サケのふるさと館開館15周年記念事業
6月	放課後こども教室のモデル事業を北栄小学校に開設
" 22(2010)年 4月	埋蔵文化財センターが旧長都小中学校に移転オープン
" 23(2011)年 1月	姉妹都市であるアンカレジ市ミアーズ中学校訪問事業を実施
12月	北進小中学校開校50周年・開校40周年記念式典
" 24(2012)年 3月	真町中学校開校
4月	勇舞中学校開校
	北陽小学校校舎増築
" 25(2013)年 4月	北海道千歳高等支援学校開校
	祝梅小学校に情緒・知的障害学級、富丘中学校に情緒学級開設
" 26(2014)年 3月	千歳市学校教育基本計画の策定(2014年～2020年)
" 26(2014)年 4月	北陽小学校校舎増築
	スポーツセンターリニューアルオープン
	向陽台中学校に知的障害学級開設
	社会体育事業及びサケのふるさと館の所管を観光スポーツ部に移管
" 27(2015)年 3月	小中学校全ての普通教室に「電子黒板、実物投影機及びブルーレイレコーダー」を配置
8月	サケのふるさと千歳水族館リニューアルオープン
9月	全小学校において、「フッ化物洗口」を開始(希望児童のみ)
" 28(2016)年 4月	全小中学校土曜授業開始(年4回)
	全小学校1～4年生において外国語活動開始

4 教育委員会組織と事務分掌

(1) 教育委員会組織



(2) 教育委員会事務局事務分掌

【企画総務課】	【学校教育課】		
・ 教育委員会の会議及び委員に関すること。 ・ 教育長訓示等の制定、改廃に関すること。 ・ 教育行政の総合調整に関すること。 ・ 儀式、渉外、ほう賞及び表彰に関すること。 ・ 陳情及び請願に関すること。 ・ 共催及び後援に関すること。 ・ 情報公開及び個人情報保護に関すること。 ・ 公印の管理に関すること。 ・ 寄附採納に関すること。 ・ 法令の調査研究に関すること。 ・ 公告式に関すること。 ・ 職員の人事に関すること。 ・ 職員の服務に関すること。 ・ 職員の賞罰に関すること。 ・ 職員の研修に関すること。 ・ 職員の給与に関すること。 ・ 職員の福利厚生に関すること。 ・ 公務災害補償等に関すること。 ・ 教育委員会関係文書の収受に関すること。 ・ 教育予算及び決算に関すること。 ・ 学校の経理事務に関すること。 ・ 教材及び備品に関すること。 ・ 広報に関すること。 ・ 教育行政相談に関すること。 ・ 公立学校、私立学校(大学を除く。)及び各種学校に関すること。 ・ 奨学金に関すること。 ・ 私立幼稚園に関すること。 ・ 教育委員会公用車の運行管理に関すること。 ・ 教育委員会庁舎の管理に関すること。 ・ 教育関係機関との調整に関すること。 ・ 通学区域に関すること。 ・ 学校の設置、管理及び廃止に関すること。 ・ 学校施設の建設計画に関すること。 ・ 教職員住宅に関すること。 ・ 学校施設設備の維持管理に関すること。 ・ 他の課に属さない事項に関すること。 ・ 部の庶務に関すること。	・ 児童生徒の通学に関すること。 ・ スクールバスに関すること。 ・ 指定校及び指定校の変更に関すること。 ・ 区域外就学に関すること。 ・ 学齢児童生徒の就学に関すること。 ・ 外国人の就学に関すること。 ・ 学齢簿に関すること。 ・ 教育活動の支援に関すること。 ・ 就学援助に関すること。 ・ 児童生徒の健康診断に関すること。 ・ 学校施設の衛生管理に関すること。 ・ 学校災害共済に関すること。 ・ 学力向上の推進に関すること。 ・ 学級編成に関すること。 ・ 教科書、副読本その他教材に関すること。 ・ 教師用指導図書に関すること。 ・ 外国語指導助手に関すること。 ・ 特別支援学級の運営に関すること。 ・ 教育支援委員会に関すること。 ・ 就学相談に関すること。 ・ 特別支援教育就学奨励に関すること。 ・ 特別支援教育に関すること。		
	<th data-bbox="815 1301 1445 1346">【青少年課】</th> <td data-bbox="815 1346 1445 2029"> ・ 児童生徒のいじめ・不登校問題及び事故報告に関すること。 ・ 学校適応指導教室に関すること。 ・ 青少年問題の総合的施策の調整及び企画に関すること。 ・ 青少年問題協議会に関すること。 ・ 青少年の健全育成に関すること。 ・ 青少年の非行防止及び指導に関すること。 ・ 青少年の相談指導に関すること。 ・ 青少年指導センターに関すること。 ・ 青少年関係行政機関及び団体との連絡調整に関すること。 </td>	【青少年課】	・ 児童生徒のいじめ・不登校問題及び事故報告に関すること。 ・ 学校適応指導教室に関すること。 ・ 青少年問題の総合的施策の調整及び企画に関すること。 ・ 青少年問題協議会に関すること。 ・ 青少年の健全育成に関すること。 ・ 青少年の非行防止及び指導に関すること。 ・ 青少年の相談指導に関すること。 ・ 青少年指導センターに関すること。 ・ 青少年関係行政機関及び団体との連絡調整に関すること。

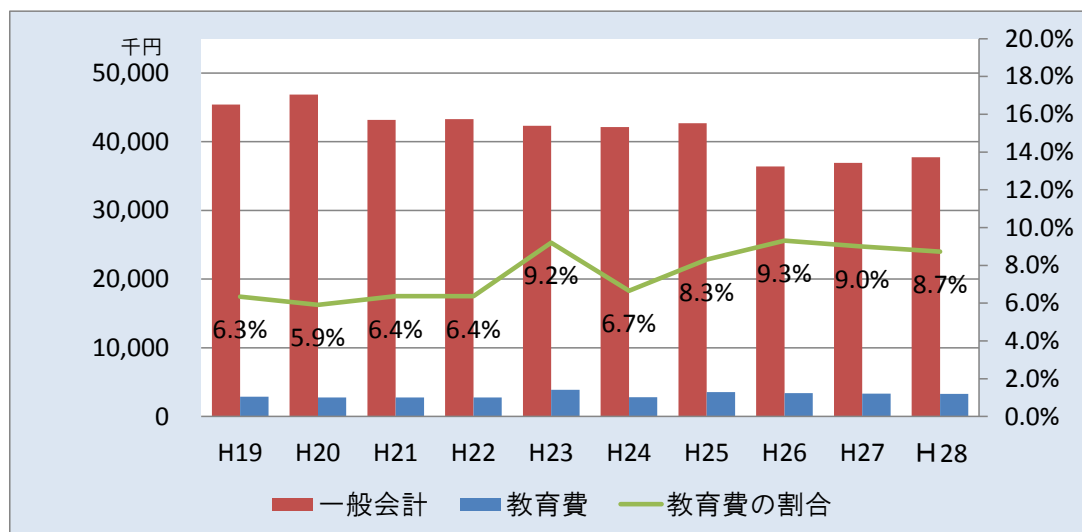
【生涯学習課】	【学校指導課】
・ 社会教育委員に関すること。 ・ 社会教育施設の設置、廃止に関すること。 ・ 成人教育の振興に関すること。 ・ 生涯学習基本計画に関すること。 ・ ユネスコ活動に関すること。 ・ 社会教育関連団体の登録に関すること。 ・ 芸術文化の振興に関すること。 ・ 市民文化表彰に関すること。 ・ 文化関係団体の調整に関すること。 ・ 公益財団法人千歳青少年教育財団に関すること。 ・ 青少年の教育に関すること。 ・ 家庭教育に関すること。 ・ 生涯学習の推進に関する企画立案及び総合調整に関すること。 ・ 生涯学習の普及及び啓発に関すること。 ・ 市民活動及び地域に関する情報の提供及び活用に関すること。 ・ 市民活動交流センターの運営に関すること。 ・ みんなで、ひと・まちづくり事業に関すること。 ・ 放課後子ども教室及び学校地域支援などの教育力活用に関すること。 ・ その他生涯学習の振興に関すること。	・ 教育課程の編成に関すること。 ・ 学校の指導助言に関すること。 ・ 学力向上検討委員会に関すること。 ・ 学力向上に係る施策立案に関すること。 ・ 教職員の人事に関すること。 ・ 教職員の服務に関すること。 ・ 教職員の賞罰に関すること。 ・ 教職員の研修に関すること。 ・ 教職員の給与に関すること。 ・ 教職員の福利厚生に関すること。 ・ 教職員の健康診断に関すること。
【埋蔵文化財センター】	
・ 文化財の保護、調査、研究及び保存・活用に関すること。 ・ 文化財保護審議会に関すること。 ・ 埋蔵文化財センターの管理に関すること。	
【学校給食センター】	
・ 学校給食センター運営審議会に関すること。 ・ 学校給食に関すること。 ・ 施設の管理・運営に関すること。 ・ 給食会計経理その他一般事務に関すること。	
【文化施設課】	
・ 市民文化センター及び市民ギャラリーの管理運営に関すること。 ・ 図書館の管理運営に関すること。 ・ 公民館及び分館の管理運営に関すること。 ・ 公民館運営審議会に関すること。 ・ 青少年会館の管理運営に関すること。	

〔2〕教 育 財 政

1 教育予算

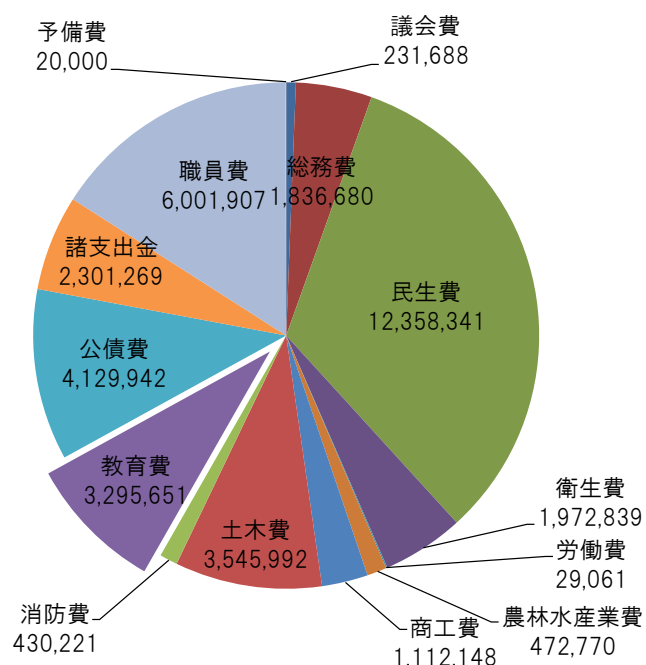
(1) 教育費の推移(人件費を除く)

年 度	一般会計予算(千円)	教育費(千円)	構成比(%)
平成19年度	45,405,244	2,877,935	6.3
20年度	46,870,585	2,770,011	5.9
21年度	43,180,159	2,752,874	6.4
22年度	43,286,640	2,758,559	6.4
23年度	42,315,770	3,895,625	9.2
24年度	42,127,489	2,801,820	6.7
25年度	42,692,209	3,549,351	8.3
26年度	36,409,878	3,389,523	9.3
27年度	36,942,760	3,324,488	9.0
28年度	37,738,509	3,295,651	8.7



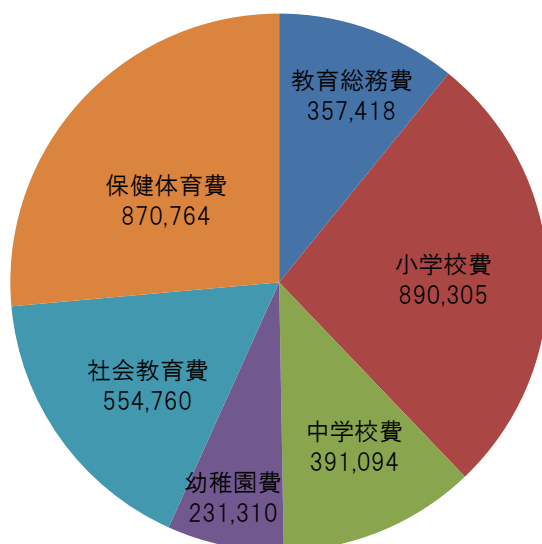
(2)平成28年度当初予算構成

区 分	額(千円)	割合(%)
議 会 費	231,688	0.6
総 務 費	1,836,680	4.9
民 生 費	12,358,341	32.7
衛 生 費	1,972,839	5.2
労 働 費	29,061	0.1
農林水産業費	472,770	1.3
商 工 費	1,112,148	3.0
土 木 費	3,545,992	9.4
消 防 費	430,221	1.1
教 育 費	3,295,651	8.7
公 債 費	4,129,942	10.9
諸 支 出 金	2,301,269	6.1
職 員 費	6,001,907	15.9
予 備 費	20,000	0.1
総 額	37,738,509	100.0



【教育費】

区 分	額(千円)	割合(%)
教育総務費	357,418	10.9
小 学 校 費	890,305	27.0
中 学 校 費	391,094	11.9
幼 稚 園 費	231,310	7.0
社会教育費	554,760	16.8
保健体育費	870,764	26.4
総 額	3,295,651	100.0



2 平成28年度主要事業予算

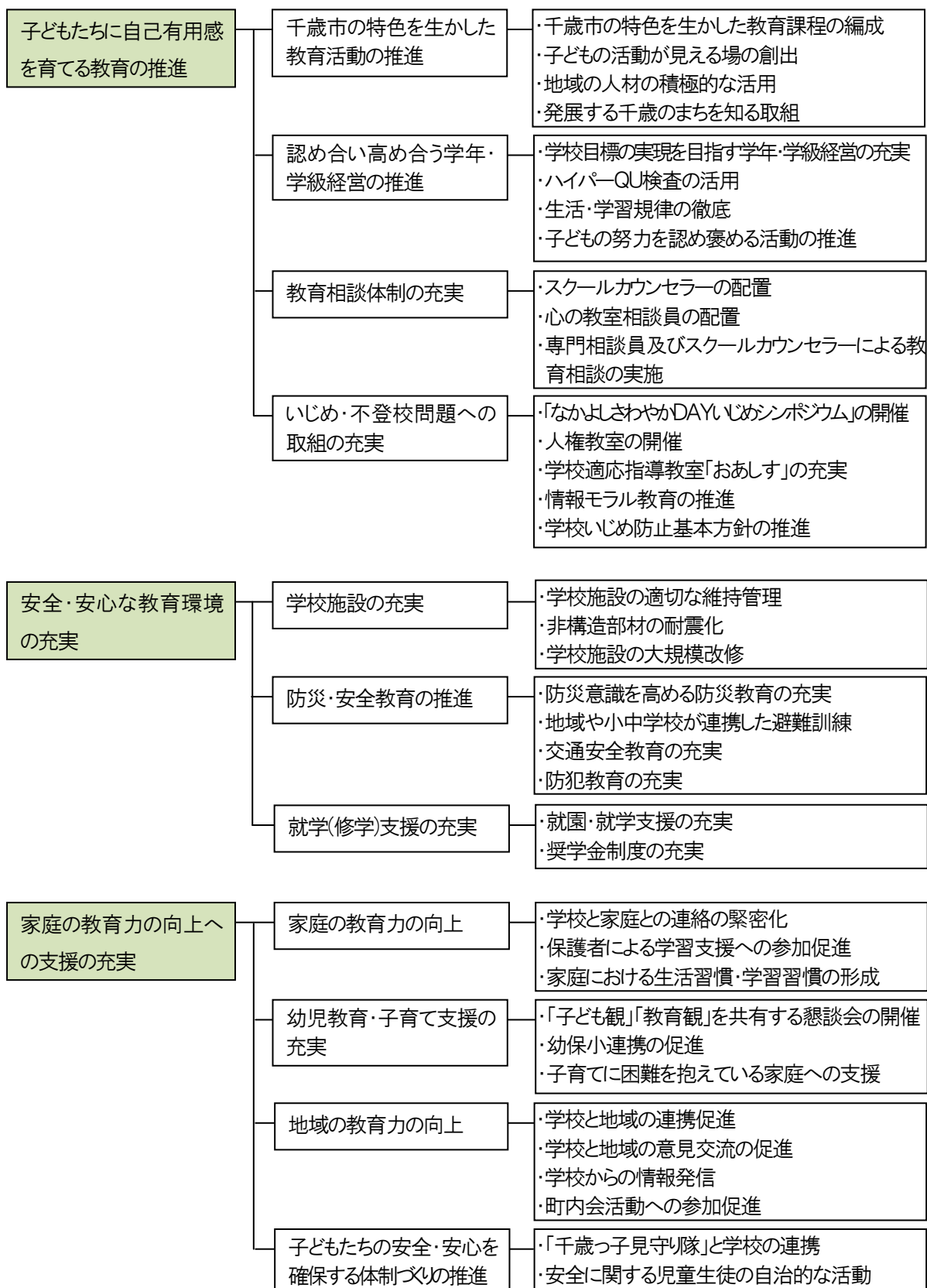
(単位:千円)

款	項	目	本年度予算 (当初)	説明
教育費			3,295,651	
	教育総務費		357,418	
		教育委員会費	42,567	教育委員会運営管理業務経費、教育委員会庁舎管理経費、修学支援事業費等
		教育振興費	279,928	特別支援教育体制推進事業費、スクールバス運行経費、学校活動支援事業費、学力向上推進事業費等
		教育財産管理費	34,923	教員住宅維持管理費経費、教職員住宅購入事業費(割賦金)、教職員管理職住宅建替事業費等
	小学校費		890,305	
		小学校管理費	498,727	小学校運営管理業務経費、小学校施設管理経費、小学校就学援助事業費、小学校校務支援システム導入事業費等
		小学校営繕費	330,367	小学校維持補修業務経費、小学校大規模改修事業費、小学校非構造部材耐震化事業費等
		小学校建設事業費	61,211	北陽小学校仮設校舎整備事業費(リース料)
	中学校費		391,094	
		中学校管理費	319,852	中学校運営管理業務経費、中学校施設管理経費、中学校就学援助事業費、中学校校務支援システム導入事業費等
		中学校営繕費	71,242	中学校維持補修業務経費、中学校大規模改修事業費等
	幼稚園費		231,310	
		幼稚園振興費	231,310	幼稚園教育振興事業費(就園奨励費補助金等)
	社会教育費		554,760	
		社会教育振興費	10,856	高齢者学級開催事業費、家庭教育講座開催事業費、生涯学習まちづくり推進講座開催事業費等
		青少年対策費	95,625	青少年健全育成事業費、青少年会館施設管理経費、青少年非行防止事業費、千歳サケのふるさと館リニューアル事業費等
		公民館費	29,827	公民館管理運営業務経費、公民館分館管理運営業務経費、公民館分館改修事業費等
		文化振興費	49,278	埋蔵文化財センター管理業務経費、文化活動支援事業費、国指定史跡整備事業費、埋蔵文化財発掘調査事業費(蘭越地区)等
		図書館費	136,488	図書館施設管理経費、小中学校司書配置事業費等
		市民文化センター費	232,686	市民文化センター・市民ギャラリー施設管理経費、市民文化センター音響・照明設備整備事業費(リース料)等
	保健体育費		870,764	
		保健体育総務費	34,222	児童・生徒健康診断事業費、就学援助事業費、フッ化物洗口事業費等
		給食センター費	308,247	給食センター施設管理業務経費、給食提供業務経費、新給食センター整備事業費等
		体育振興費	528,295	スポーツ普及推進事業費、スポーツ施設管理業務経費、温水プール施設管理経費、青葉公園庭球場改修事業費等

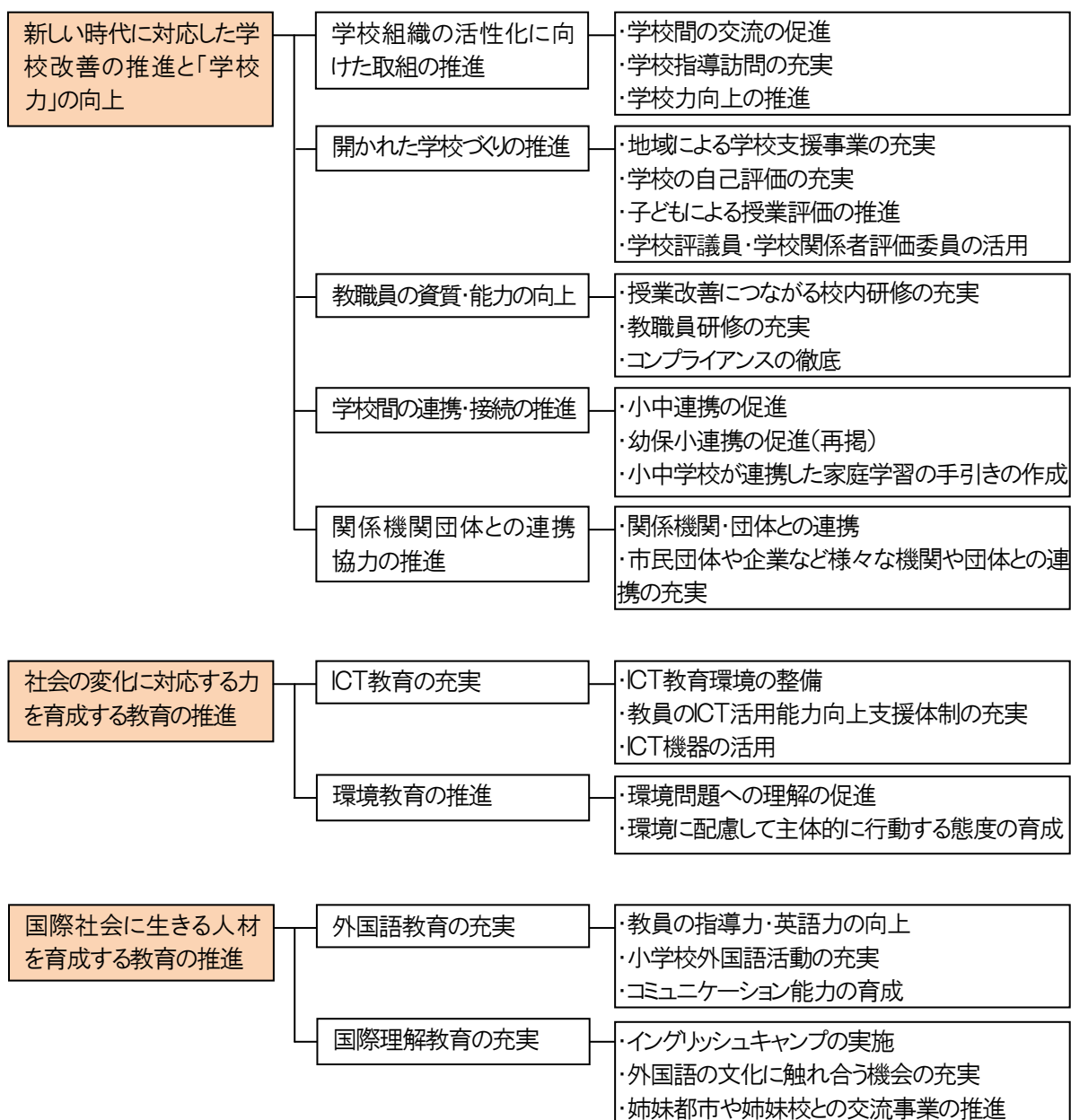
IV 学校教育

〔1〕学校教育の主な施策

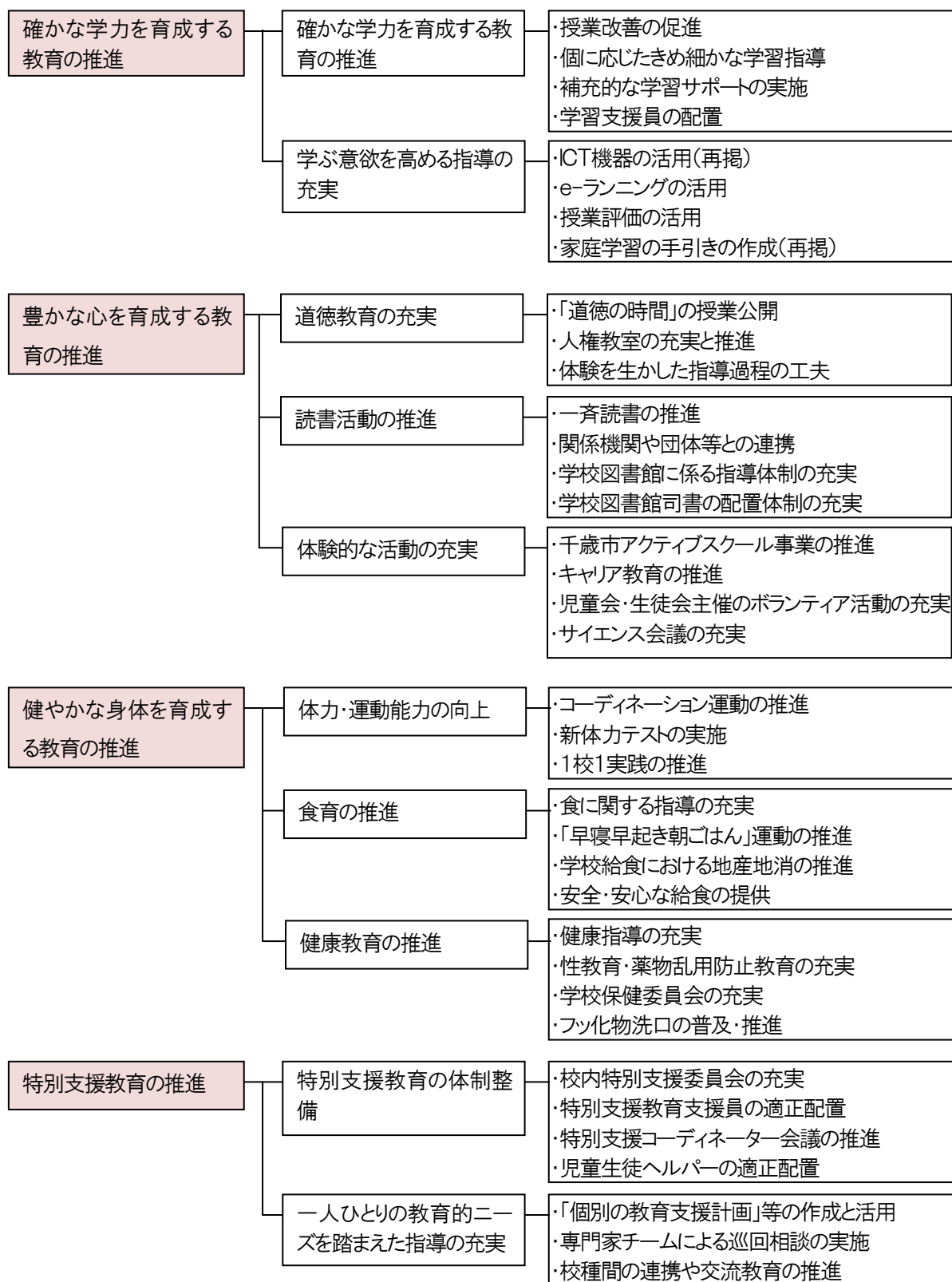
1 ふるさと千歳への感謝と希望を育てる



2 国際都市千歳にふさわしいグローバルな感覚を育てる



3 知的な探究心を持ち積極的に行動する力を育てる



〔2〕児童生徒数の推移

1 小学校

	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
千歳小	279	280	297	301	306	341	325	321	303	296	304
北進小	37	40	38	41	36	32	28	29	35	40	43
北栄小	276	305	304	295	273	267	266	252	240	236	248
末広小	451	455	481	463	466	467	485	499	497	514	525
緑 小	349	348	349	359	380	392	414	430	436	423	413
千歳第二小	473	444	419	392	380	339	339	321	324	331	330
駒里小	8	11	14	11	8	9	8	10	12	11	14
長都小	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
支笏湖小	11	12	12	11	12	11	13	15	16	13	11
日の出小	673	655	643	616	588	564	523	492	454	450	457
信濃小	446	433	428	445	452	442	434	426	429	411	393
高台小	324	306	303	315	304	299	308	306	290	288	264
東 小	27	28	28	28	29	27	25	26	28	29	20
祝梅小	434	421	382	376	334	328	318	316	300	283	280
桜木小	532	527	497	471	443	425	400	371	357	339	337
向陽台小	250	233	220	213	191	169	174	177	167	164	156
北陽小	703	741	826	946	1,015	1,117	1,185	1,264	1,317	1,350	1,398
泉沢小	513	505	454	427	397	341	323	305	299	300	267
合 計	5,786	5,744	5,695	5,710	5,614	5,570	5,568	5,560	5,504	5,478	5,460

2 中学校

	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
千歳中	452	446	454	462	485	476	567	558	551	584	583
北進中	24	24	20	22	31	36	38	30	31	36	41
青葉中	518	536	546	533	507	469	451	431	440	437	407
東千歳中	11	12	9	11	15	13	12	8	7	8	13
長都中	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
駒里中	9	11	10	9	8	9	9	8	12	9	5
真町中	83	91	91	93	81	89	-	-	-	-	-
富丘中	850	900	899	899	872	936	536	531	502	518	531
北斗中	378	382	393	376	375	371	376	360	344	335	313
向陽台中	433	412	413	379	395	386	344	296	250	244	257
勇舞中	-	-	-	-	-	-	426	477	511	591	627
合 計	2,758	2,814	2,835	2,784	2,769	2,785	2,759	2,699	2,648	2,762	2,777

※児童生徒数は各年度5月1日現在の学校基本調査による

〔3〕市内小中学校の変遷

	千歳小学校	駒里小学校	長都小学校	泉郷小学校	幌加小学校
明治	(明治12.10.15) 寺子屋式教育開始 ↓ (明治13.4) 千歳教育所 ↓ (明治22) 千歳簡易小学校 ↓ (明治28) 千歳尋常小学校	(明治31.4) 寺子屋式私塾 ↓ (明治33.6) 千歳尋常小分教場 ↓ (明治39.9) 阿宇砂里簡易教育所	(明治32.9) 私立教育所 ↓ (明治33.11.21) 長都簡易教育所 ↓ (明治34.6.3) 長都尋常小学校	(明治33.6.8) 嶮淵簡易教育所	(明治33.9.24) 幌加簡易教育所
大正	(大正7.12) 高等科設置	(大正6.4.1) 阿宇砂里尋常小学校	(大正15.5.1) 釜加特別教授場	(大正6.4) 嶮淵尋常小学校 ↓ (大正12.4) 高等科設置	(大正5.10.25) 幌加尋常小学校
昭和	(昭和16.4) 千歳国民学校 ↓ (昭和22.4) 千歳小学校	(昭和16.4) 阿宇砂里国民学校 ↓ (昭和22.4) 阿宇砂里小学校 ↓ (昭和27.4.1) 駒里小学校	(昭和7)統合 ↓ (昭和15.6) 高等科設置 ↓ (昭和16.4) 長都国民学校 ↓ (昭和22.4) 長都小学校	(昭和16.4) 嶮淵国民学校 ↓ (昭和22.4) 嶮淵小学校 ↓ (昭和27.4.1) 泉郷小学校 ↓ (昭和43.3.31) 第二小学校へ統合	(昭和16.4) 幌加国民学校 高等科設置 ↓ (昭和22.4) 幌加小学校 ↓ (昭和46.1.1) 東小学校
平成	(平成5.4.1) 中央小学校を統合 ↓ 現在に至る	現在に至る	(平成17.3.31) 北陽小学校へ統合		

	協和小学校	中央小学校	水明小学校	東丘小学校	千歳第二小学校	千歳鉱山小学校
明治		(明治26年ころ) 説教所で寺子屋 ↓ (明治34.12.1) 近唐教育所 ↓				
大正	(大正6.4.1) 近唐尋常小学校 ↓	(大正6.4.1) 木臼尋常小学校 ↓	(大正元.10) 烏柵舞特別教授所 ↓ (大正6.12) 私立王子尋常小学校 ↓ (大正12.4) 高等科設置 ↓	(大正7.6.6) 新嶮淵尋常小学校 ↓	(大正9.12.13) 千歳小学校根志越分 教場 ↓ (大正13) 根志越特別教授所 ↓	
昭和	(昭和16.4) 近唐国民学校 ↓ (昭和22.4) 近唐小学校 ↓ (昭和27.4.1) 協和小学校 ↓ (昭和46.1.1) 東小学校	(昭和16.4) 木臼国民学校 ↓ (昭和22.4) 木臼小学校 ↓ (昭和26.4.1) 中央小学校 ↓	(昭和6.4) 烏柵舞尋常高等小学校 ↓ (昭和11.11.30) 千歳鉱山特別分教場設 置 ↓ (昭和16.4) 烏柵舞国民学校 ↓ (昭和22.4) 烏柵舞小学校 ↓ (昭和22.12.25) 支笏湖畔分教場設置 ↓ (昭和26.4) 水明小学校 ↓ (昭和34.2.1) 藤の沢分校設置 ↓ (昭和39.3.31) 支笏湖小学校へ統合	(昭和16.4) 新嶮淵国民学校 高等科設置 ↓ (昭和22.4) 新嶮淵小学校 ↓ (昭和27.4.1) 東丘小学校 ↓ (昭和46.1.1) 東小学校	(昭和21.4) 千歳第二国民学校 ↓ (昭和22.4) 千歳第二小学校 ↓ (昭和43.4.1) 泉郷小学校を統合 ↓ 現在に至る	(昭和11.11.30) 烏柵舞尋常高等小千 歳鉱山特別教授所 ↓ (昭和12.10.1) 千歳鉱山尋常高等小 学校 ↓ (昭和16.4) 千歳鉱山国民学校 ↓ (昭和22.4) 千歳鉱山小学校 ↓ (昭和53.3.31) 廃校
平成		(平成5.3.31) 千歳小学校へ統合				

	蘭越小学校	支笏湖小学校	千歳第三小学校	北栄小学校	末広小学校	緑小学校
昭和	(昭和21.11.20) 蘭越国民学校 ↓ (昭和22.4) 蘭越小学校 ↓ (昭和53.3.31) 緑小学校へ統合	(昭和22.12.25) 烏柵舞小学校支笏湖畔分教場 ↓ (昭和24.1.29) 支笏湖小学校 ↓ (昭和39.4.1) 水明小学校を統合 現在に至る	(昭和23.6) 開校 ↓ (昭和43.7.18) 信濃小学校へ統合	(昭和28.5.25) 開校 現在に至る	(昭和31.4.1) 開校 現在に至る	(昭和32.4.1) 開校 ↓ (昭和53.3.31) 蘭越小学校を統合 現在に至る
	藤の沢小中学校	北進小中学校	日の出小学校	信濃小学校	高台小学校	東小学校
昭和	(昭和34.4.1) 水明小中学校藤の沢分校 ↓ (昭和39.3.31) 水明中藤の沢分校水明中学校へ統合 ↓ (昭和39.4.1) 千歳小学校藤の沢分校 ↓ (昭和41.4) 藤の沢小学校 ↓ (昭和42.3.31) 廃校	(昭和35.5.5) 千歳小学校特殊学級 ↓ (昭和37.4.1) 千歳中学校特殊学級併設 ↓ (昭和40.10.1) 千歳小中北栄分校 ↓ (昭和46.4.1) 北進小中学校 現在に至る	(昭和41.12.1) 開校 現在に至る	(昭和43.4.1) 開校 ↓ (昭和43.7.18) 千歳第三小学校を統合 現在に至る	(昭和45.4.1) 開校 現在に至る	(昭和46.1.1) 幌加、協和、東丘の3校を統合して開校 現在に至る
	祝梅小学校	桜木小学校	向陽台小学校	北陽小学校	泉沢小学校	長都中学校
昭和・平成	(昭和51.4.1) 開校 現在に至る	(昭和53.4.1) 開校 現在に至る	(昭和57.4.1) 開校 現在に至る	(平成6.4.1) 開校 ↓ (平成17.4.1) 長都小学校を統合 現在に至る	(平成9.4.1) 開校 現在に至る	(昭和22.4.1) 千歳中学校長都分校として小学校に併置 ↓ (昭和30.5.23) 長都中学校として独立 ↓ (昭和52.4.1) 長都小中学校 ↓ (平成17.3.31) 富丘中学校へ統合
	千歳中学校	東千歳中学校	青葉中学校	千歳鉱山中学校	駒里中学校	泉郷中学校
昭和・平成	(昭和22.6.4) 開校 ↓ (昭和41.4.1) 水明中学校を統合 ↓ (昭和43.4.1) 泉郷中学校を統合 ↓ (平成24.4.1) 真町中学校を統合 現在に至る	(昭和22.6.5) 幌加中学校として小学校に併置 ↓ (昭和27.4.1) 東千歳中学校 現在に至る	(昭和32.8.29) 開校 現在に至る	(昭和22.4.1) 千歳中学校鉱山分校として小学校に併置 ↓ (昭和25.4.1) 千歳鉱山中学校 ↓ (昭和53.3.31) 廃校	(昭和25.12) 千歳中学校阿宇砂里分校として小学校に併置 ↓ (昭和27.4.1) 同 駒里分校 ↓ (昭和31.1.1) 駒里中学校として小学校に併置 現在に至る	(昭和22.4.1) 千歳中学校嶮淵分校として小学校に併置 ↓ (昭和27.4.1) 同 泉郷分校 ↓ (昭和31.1.1) 泉郷中学校 ↓ (昭和43.3.31) 千歳中学校へ統合

	中央中学校	水明中学校	真町中学校	富丘中学校	北斗中学校	向陽台中学校
昭和・平成	(昭和22.5.13) 千歳中学校木臼分校として小学校に併置 ↓ (昭和26.4.1) 同 中央分校 ↓ (昭和31.1.1) 中央中学校 ↓ (昭和47.3.31) 真町中学校へ統合	(昭和24.4.8) 千歳中学校烏柵舞分校として小学校に併置 ↓ (昭和26.4.1) 同 水明分校 ↓ (昭和31.1.1) 水明中学校 ↓ (昭和34.2.1) 藤の沢分校設置 ↓ (昭和39.4.1) 藤の沢分校を統合 ↓ (昭和41.3.31) 千歳中学校へ統合	(昭和47.1.1) 開校 ↓ (昭和47.4.1) 中央中学校を統合 ↓ (平成24.3.31) 千歳中学校へ統合	(昭和50.4.1) 開校 現在に至る ↓ (平成17.4.1) 長都中学校を統合 現在に至る	(昭和59.4.1) 開校 現在に至る	(昭和62.4.1) 開校 現在に至る
	勇舞中学校					
平成	(平成24.4.1) 開校 現在に至る					

[4]学校の概要(平成28年5月1日現在)

1 小 学 校

	千 歳 小 学 校 所在:千歳市本町3丁目4番地の1 電話:0123-23-2181 創設:明治12年10月15日 面積:敷地15,089㎡、建築5,065㎡		
校長名	柴 口 史 子	教頭名	後 藤 章 夫
教職員数	教員16名 養護 1名 事務 1名 栄養 1名	学級数 児童数	12学級 304名
教育目標	歴史と伝統 未来へつなぐ 私たちは、誇り高い千歳小学校の子どもです。 かしこく やさしく たくましく ～ 学ぼう つなごう やりぬこう ～ 【重点目標】 自ら学び、つながり合い、何事もやり抜く子どもの育成		
研究主題	よく考え 判断し 自ら行動する子の育成 ～豊かな道徳性を育む指導の工夫を通して～		
特色ある教育活動	1 「共に生きる」を総括テーマとする総合的な学習の時間「あおば学習」の推進 (1)国際理解教育 ○3年～世界のくらし ○4年～世界の子ども・学校 ○5年～守ろう地球の宝物 ○6年～世界の人と手をつなごう ○アメリカアラスカ州サンドレイク小学校との交流 28年6月来校予定 (2)学年テーマ学習 ○3年～福祉 ○4年～郷土理解 ○5年～千歳市の自然と砂川市の自然 ○6年～北海道の歴史 2 全校朝学習「きらめきタイム」の実践 3 体力向上チャレンジ「朝チャレ」「みんなであそぼう」 4 無言清掃の実施(月2回 ピカルンデー)		
沿 革	明治12年10月 寺子屋式教育を始める 明治13年 4月 千歳教育所となる 明治28年 3月 千歳尋常小学校となる 昭和22年 4月 千歳小学校となる 昭和53年10月 開校100年記念式典挙行 平成元年 2月 開校110年・体育館完成記念式典挙行 平成 6年 6月 サンドレイク小学校児童他29名来校 相互訪問開始 平成 9年 3月 本校児童他54名、サンドレイク小学校訪問 平成10年 5月 石狩教育研究所「総合学習」研究協力校 平成15年11月 石教研学校課題研究発表会開催 平成18年 6月 サンドレイク小学校児童他46名来校 平成20年 1月 サンドレイク小学校訪問(本校児童他26名) 平成21年 6月 サンドレイク小学校児童他42名来校 10月 耐震化大規模改修工事完了 平成23年 1月 サンドレイク小学校訪問(本校児童他24名) 平成24年 6月 サンドレイク小学校児童他35名来校 平成26年 1月 サンドレイク小学校訪問(本校児童他22名) 平成26年 6月 サンドレイク小学校児童他35名来校 平成28年 1月 サンドレイク小学校訪問(本校児童他15名)		

	北 進 小 学 校 所在:千歳市北栄1丁目2番6号 電話:0123-23-3439 創設:昭和35年5月5日 面積:敷地10,642㎡、敷地2,853㎡		
校長名	宮 崎 智 子	教頭名	佐 藤 倫 夫
教職員数	教員 9名 養護 1名 事務 1名	学級数 児童数	知的障がい4学級27名 自閉症・情緒障がい2学級16名 計6学級43名 (通級指導教室 1学級 11名)
教育目標	～21世紀を、自分のよさを発揮し、広く豊かに生きる子どもの育成～ ・たしかに学ぶ子(知) ・かかわりをもてる子(情) ・たくましく生きる子(意・体) 【重点目標】 ○確かに学ぶ子 ・一人一人の実態に応じた指導の充実 ・校内研修の充実 ○かかわりを持てる子 ・豊かな心を育む教育の推進 ・共同および交流学习の推進 ・保護者や地域、医療・福祉等の関係機関との連携 ○たくましく生きる子 ・心身を鍛え、生命尊重を尊ぶ健康安全指導の充実 ・キャリア教育の充実		
研究主題	児童生徒一人一人の働く力を育む支援のあり方について ― 事例研究を通して子供の生活の幅を広げ、生活の質を高める取り組み ―		
特色ある教育活動	1 特別支援学級のみ为学校としての特徴を活かした小中一貫教育の推進 2 一人ひとりの発達段階に応じた教科指導の充実 (国語・算数のグループ別学習) 3 将来の社会参加を見通したキャリア活動の充実 (勤労・生涯学習、フィールドワークなど) 4 他校の児童生徒や地域の老人との交流学习 5 他校の児童生徒を含めた教育相談・通級指導		
沿 革	昭和35年 5月 児童会館内に千歳小学校特殊学級として発足 昭和38年12月 北栄1丁目2番6号に新校舎落成移転 昭和40年10月 千歳小・千歳中の北栄分校となる 昭和46年 4月 北進小中学校として独立 昭和49年 4月 言語治療教室緑小に移設 開校15周年記念式典挙行 昭和58年 4月 情緒障害学級開設 平成 3年 3月 開校30周年・校舎増築・新体育館 完成記念式典挙行 平成14年 2月 開校40周年記念祝賀会 平成18年 2月 北海道教育実践表彰受賞 4月 通級指導教室を開設 平成23年12月 開校50周年・開校40周年をお祝いする会 平成24年 7月 校舎耐震工事開始(～10月22日完了) 8月 避難訓練(地震)・保護者引き渡し訓練 平成26年 9月 千歳市「花いっぱいコンクール」優秀賞受賞 平成27年 9月 千歳市「花いっぱいコンクール」優秀賞受賞		

	北 栄 小 学 校 所在:千歳市北栄1丁目10番2号 電話:0123-23-4138 創設:昭和28年5月25日 面積:敷地30,302㎡、建築6,035㎡		
校長名	東 口 明 雄	教頭名	加 藤 敏 幸
教職員数	教員21名 養護 1名 事務 2名	学級数 児童数	13学級 247名 (うち特別支援学級4学級20名)
教育目標	○主体的に工夫して学習する子ども (進んで学習する子ども) ○情操に富み創造的な子ども (豊かな心をもった子ども) ○連帯感を深め責任ある行動をする子ども(なかまを大事にする子ども) ○体力の向上に努め、健康で明るい子ども(健康で明るい子ども) ○勤労を愛する子ども (みんなといっしょに働く子ども) 【重点目標】進んで学び、高め合う子どもの育成		
研究主題	主体的に取り組み、学び合う子どもの育成 ～できる・わかる喜びを共感できる学習をめざして～		
特色ある教育活動	1 特別支援学級「たんぽぽ学級」(知的障がい、情緒障がい)を併設し、普通学級との日常的な交流のほか、総合的な学習の時間に位置づけた交流の機会をもち共に生きるための相互理解の場としている。 2 三大検定「漢字検定」「計算検定」「なわとび検定」を実施し、基礎学力向上及び体力向上を図っている。 3 縦割り班を活用した異学年交流活動を推進している。 ・遊び活動(年2回)・お弁当交流会(年3回)・全校集会(年2回) 4 管内屈指のスクールバンドを有し、情操豊かな子どもの育成に努めている。 ・定期演奏会、校内諸行事での発表、各種コンクール、地域行事への参加		
沿 革	昭和28年 5月 千歳小学校より分離し9学級で開校 昭和48年 5月 情緒障がい児学級新設 昭和55年 6月 スクールバンド結成 平成15年11月 開校50周年記念式典挙行 平成17年 2月 石狩教育局長表彰受賞(スクールバンド) 平成18年 3月 「北栄子どもを見守り隊」発足 平成19年10月 緑化事業「げん気の森」完成式典 平成21年11月 全日本小学校バンドフェスティバル全国大会出場 平成22年11月 全日本小学校バンドフェスティバル全国大会出場 平成23年 7月 全日本吹奏楽コンクール札幌地区大会銀賞受賞 12月 第31回定期演奏会 平成24年 7月 中西圭三 & SEASONS、スクールバンドによるジョイントコンサート 8月 全日本吹奏楽コンクール札幌地区大会金賞受賞 12月 第32回定期演奏会 平成25年 8月 全日本吹奏楽コンクール札幌地区大会銀賞受賞 12月 スクールバンド第33回定期演奏会 平成26年 8月 全日本吹奏楽コンクール札幌地区大会銀賞受賞 12月 スクールバンド第34回定期演奏会 平成27年 8月 全日本吹奏楽コンクール札幌地区大会銅賞受賞 12月 スクールバンド第35回定期演奏会		

	末 広 小 学 校 所在:千歳市富丘2丁目6番2号 電話:0123-23-4127 創設:昭和31年4月1日 面積:敷地21,469㎡、建築5,933㎡		
校長名	柳田 卓哉	教頭名	中野 悟
教職員数	教員20名 主幹1 養護 1名 事務 1名 栄養 1名	学級数 児童数	17学級 525名
教育目標	○進んでやりぬく子 ○えがおで元気な子 ○広い心でやさしい子 ○六年間を自ら学ぶ子 【重点目標】みとめ合い、学び合いの中から、確かな学力と豊かな人間性を育む ～ わたしっていいな！ きみってすごい！ ～		
研究主題	「わかる」「できる」「楽しい」算数科の授業を目指して ～ 習熟の時間を重視した学習活動の工夫 ～		
特色ある教育活動	1 アイヌ文化学習(総合的な学習・生活科) 全学年のカリキュラムを編成し、本物に触れる体験重視の活動を軸に、ふるさとを愛し、自然や命を大切にすることを育み、生き生きと学習する子どもの育成に努めている。また、地域人材導入や保護者・地域の人々の学習支援を目指し、学校・家庭・地域が一体となった教育活動に努めている。 2 福祉・交流学习や、ユネスコスクールとしての取組 障がい者体験や市の福祉の工夫に関する学習、地域のお年寄り等との交流、リサイクルやアイヌ文化学習の取組等を通して、人と人とのふれあいを深めるとともに、人と自然と関わり、社会の一員としてできることを考え実践する力の育成に努めている。 3 授業の工夫改善 算数科での習熟度別指導による基礎基本の定着やきめ細かな指導の充実、地域人材活用やゲストティーチャーによる多様な学習の充実を図る。		
沿 革	昭和31年 4月 新設開校 8月 開校記念式典挙行 昭和49年 3月 現在地に校舎移転 平成10年 3月 北海道教育実践表彰受賞 平成18年12月 開校50周年記念式典挙行 平成19年 2月 石狩教育局 教育実践奨励表彰 5月 千歳市「花いっぱいコンクール」最優秀賞受賞 平成20年 5月 北海道教育実践表彰受賞 平成21年 3月 多目的トイレ完成 9月 「ねんりんピック」参加 平成22年 9月 全国人権教育指導主事研究協議会にて発表 平成23年 6月 ユネスコスクール認定 10月 ふるさと教育推進事業実践校(～平成25年) 平成24年 2月 朝日のびのび教育賞受賞 平成25年 4月 学童・生徒のボランティア活動普及事業協力校 平成26年 1月 アイヌ文化資料室「チセ」の茅葺き全面改修及び復元完了 平成27年 8月 教育公務員弘済会実践助成で教授用パソコン購入 平成28年 開校60周年記念事業実施		

	緑 小 学 校 所在:千歳市緑町4丁目4番1号 電話:0123-23-4107 創設:昭和32年4月1日 面積:敷地17,901㎡、建築6,500㎡		
校長名	武 田 淳	教頭名	松 本 広 徳
教職員数	教員24名 養護 1名 事務 1名	学級数 児童数	13学級 413名 (通級指導教室 4学級 60名)
教育目標	～ 私たちは 未来へと進む 緑小の子ども ～ ・なかよく元気に遊びます……からだ(体) ・すすんで学び考えます……あたま(知) ・めあてをもって努力します……生きる力(意) ・人や地球にやさしくします……こころ(情) 【重点目標】『伝え合い、認め合いにより確かな学力と豊かな心を育む ～自立と共生～』		
研究主題	豊かな心を持ち、生き生きと活動する子どもの育成 ～心に響く「道徳の時間」の授業作りを通して～		
特色ある教育活動	1 ボランティア活動(地域別異学年グループによる清掃・美化活動) 2 地域の施設・人材を活用した授業 3 千歳科学技術大学の教授や学生との交流授業 4 カヌー体験(プールや河川の水に対する安全教育) 5 全学年でのアイヌ文化学習 6 ユネスコスクール登録		
沿 革	昭和32年 4月 新設開校 昭和49年 4月 言語治療教室開設 昭和52年 9月 開校20周年記念式典挙行 昭和53年 4月 蘭越小学校と統合 昭和59年 1月 校舎増改築工事完了・引っ越し 昭和62年11月 開校30周年記念式典挙行 平成 7年 4月 言語通級指導学級開始 平成17年10月 文部科学省指定 心に響く道徳教育研究会開催 石狩管内教育実践奨励表彰受賞 平成18年 5月 千歳っ子見守り隊発足 平成19年12月 開校50周年記念式典挙行 平成20年 3月 北海道PTA広報誌コンクール審査員特別賞(北海道新聞社賞) お話し会「ぴっころ」開始 12月 千歳市学校課題研究発表会開催 平成21年 5月 あそびの日in千歳会場 8月 花いっぱいコンクール「優秀賞」受賞 平成23年 3月 ユネスコスクールに加盟 平成24年 4月 「学校力向上に関する総合事業」における近隣校に指定 5月 千歳市人権委員会から「人権の花」の贈呈 10月 お話し会ぴっころ10周年記念 平成25年 9月 車椅子1台を千歳市社会福祉協議会へ寄贈(リングブル回収組) 平成28年 1月 校内放送設備更新(デジタル化対応)		

	千 歳 第 二 小 学 校 所在:千歳市清流1丁目4番1号 電話:0123-23-1971 創設:大正9年12月13日 面積:敷地24,108㎡、建築5,718㎡		
校長名	高 羅 正 次	教頭名	渡 邊 琢 真
教職員数	教員16名 養護1名 事務1名	学級数 児童数	12学級 330名
教育目標	○よく考え 進んで学習する子 ○明るく 思いやりのある子 ○ねばり強く たくましい子 【重点目標】「目標をもち、目標の実現に向けてねばり強く、意欲的に学び活動する子どもの育成」		
研究主題	『自分の考えを相手にわかりやすく表現する子どもの育成』 ～話し合い活動をととして～		
特色ある 教育活動	1 TT・少人数指導の実施 (1)学習意欲の向上、個人差の解消を目指すと共に、基礎的・基本的な知識・技能の確実な定着を図る。(算数科) (2)千歳市学習支援員配置事業による少人数指導の実施(算数科) 2 特別支援教育の充実 (1)校内の特別支援体制の整備と共に、スクールカウンセラー・特別支援教育支援員・心の教室相談員を効果的に活用し、子どもや保護者に対する教育相談の充実を図る。 3 パワーアップ学習(朝の10分間学習)や放課後補充学習の取り組み (1)朝の短時間、放課後を活用して集中して取り組むことにより、学習のつまずきの克服や読書活動への意欲向上を図る。 4 地域の人材や団体との交流を通した豊かな体験の機会の拡大 (1)地域の老人クラブ(清流親和会)との交流(昔の遊び・花壇づくりなど) (2)地域の人材を講師として、サケのふるさと千歳水族館(学芸員)の協力により、サケの誕生と成長(受精卵→孵化→稚魚)の体験学習と千歳川への稚魚放流活動。 (3)アイヌ文化の学習・伝統楽器(ムックリ)の演奏体験など。 (4)幼稚園(児)との交流・近隣の幼稚園との相互交流。		
沿 革	大正 9年12月 千歳尋常小学校根志越分教場として開校 昭和21年 4月 千歳第二国民学校として独立 昭和22年 4月 千歳第二小学校となる 昭和43年 4月 泉郷小学校統合 昭和45年12月 開校50周年記念式典挙行 平成 4年 2月 石狩管内教育実践奨励表彰受賞 平成11年 1月 サケの稚魚の飼育開始 3月 増築校舎完成(第1期) 平成12年11月 開校80周年記念公開授業研究会 平成15年 4月 少人数指導開始 平成18年 4月 二学期制実施 平成22年12月 開校90周年記念集会 平成23年 7月 東日本大震災にかかわり仙台市教育委員会へ教員派遣 (平成23年7月1日～平成24年3月31日) 平成26年 2月 第1回千歳市エコアクション賞受賞 平成27年 2月 第51回千歳市社会福祉善行表彰賞受賞		

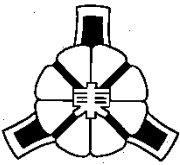
	駒 里 小 学 校 所在:千歳市駒里945番地の6 電話:0123-23-3237 創設:明治39年9月1日 面積:敷地37,652㎡、建築2,368㎡		
校長名	辻 崎 洋 一	教頭名	小 森 享
教職員数	教員 3名 養護 1名 事務 1名	学級数 児童数	3学級 14名
教育目標	◎ やさしい子（広い視野をもち、ふるさとや人を愛する子ども） ◎ 進んで学ぶ子（進んで学び、自ら考え、行動する子ども） ◎ 元気な子（たくましい心と体をもった、元気な子ども） 【重点目標】○「思いやりのある心」と「基本的な生活態度・習慣」を育てる。 ○一人一人に応じたきめ細かな指導を行い、「確かな学力」を身につける。 ○小中併置校の強みを生かし、「教師力」の向上に努める。		
研究主題	「思いやりの心を持ち、自ら考え、行動できる子どもの育成」 ～9カ年を見通した道徳活動の充実～		
特色ある教育活動	◎ 学校環境を生かした教育活動の充実・推進 1 「総合的な学習の時間」～地域の中での学びをつくる (1) 農園活動 (2) 地域の自然、産業、生活、文化等に関する内容に基づいた学習 (3) 保小中の連携のもと、PTA・地域が一体となって行う各種行事 2 ボランティア活動 (1) 交通安全キャンペーン、 (2) 学校祭・餅つき会への地域ご老人の招待活動 (3) リングプル、ペットボトルのキャップ、ベルマーク等の回収 3 体力づくり (1) パークゴルフ (2) 歩くスキー (3) 中学校部活との連携(バドミントン)		
沿 革	明治33年 6月 千歳尋常小学校阿宇砂里分教場として開校 明治39年 9月 阿宇砂里簡易教育所となる 大正 6年 4月 阿宇砂里尋常小学校として独立 昭和22年 4月 阿宇砂里小学校となる 昭和27年 4月 駒里小学校となる 平成 8年 9月 開校90周年記念集会举行 平成10年10月 全道へき地複式・併置校教育研究大会石狩大会会場 平成15年 4月 交通安全キャンペーン表彰 平成16年 9月 交通安全キャンペーン20年達成 平成17年 8月 大規模改修 平成18年11月 小学校開校100周年記念式典、祝賀会開催 平成19年 5月 石狩管内複式校新任者研究大会 平成20年 7月 文科省指定 豊かな体験活動 平成21年 9月 交通安全キャンペーン25年達成 平成26年10月 交通安全キャンペーン30年達成		

	支 笏 湖 小 学 校 所在:千歳市支笏湖温泉 電話:0123-25-2729 創設:昭和23年12月1日 面積:敷地13,277㎡、建築1,643㎡		
校長名	山 崎 信 哉	教頭名	早 川 久 夫
教職員数	教員 2名 養護 1名	学級数 児童数	3学級 11名
教育目標	「たくましい心と体をもった 人間性豊かな児童の育成」 ・自ら考え、創造する子ども(知) ・明るく、協力する子ども (情) ・根気よく、実行する子ども(意) ・心身をきたえる子ども (体) 【重点目標(学校課題)】『互いに認め合い 心豊かに たくましく生きる子ども』の育成		
研究主題	言葉を大切に表現する子どもの育成 ～調和のとれた表現力の高まりを目指して～		
特色ある 教育活動	1 愛鳥モデル指定校～地域の特性を生かし、毎朝の給餌・観察活動、学習・行事との関連を図る。 2 ヒメマス学習～地域の特産であるヒメマスを取り上げることで地域の自然環境や産業人々のくらしを学習し、理科、社会科、生活科、総合学習、行事との関連を図る。 3 全校鼓笛隊～鼓笛隊を全校児童で組織し、地域行事に参加することで支笏湖地区に貢献している自分達に気付かせ、地域住民や観光客へ披露することで自信と意欲を育てる。 4 公園清掃～国立公園の清掃を地域住民、敬老会などの人々と行い、環境美化に努めている。 5 高知県南国市立奈路小学校との交流(「心の直行便」活動)～ 一年おきに相互学校訪問し、手紙、作品類、収穫物交流などを通して気候や文化の違いを知り、また、離れた地域の友だち、父母との「心の交流」を行っている。		
沿 革	昭和22年12月 烏柵舞小学校支笏湖分教場開校 昭和23年12月 支笏湖小学校の認可 現在のユースホステルに校舎完成 昭和24年 1月 支笏湖小学校の開校式 昭和29年 7月 現在地に校舎完成 昭和43年11月 開校20周年記念式典挙行 昭和49年 7月 湖水まつり鼓笛パレード出演 12月 開校25周年記念式典挙行 昭和54年12月 開校30周年記念式典挙行 昭和57年 2月 現校舎防音・体育館完成 昭和60年 9月 道複連石狩大会分科会、授業公開 昭和62年 2月 石狩管内教育実践奨励賞受賞 平成10年2・8月 南国市立奈路小学校との交流 開校50周年記念式・祝賀会挙行 平成18年 5月 北海道社会貢献賞(野生鳥獣保護功労)受賞 平成19年 5月 野生生物保護功労者表彰 平成25年 5月 愛鳥週間野生生物保護功労者表彰 環境大臣賞 受賞 平成28年11月 南国市立奈路小学校交流開始20周年		

	日の出小学校 所在:千歳市日の出2丁目3番20号 電話:0123-23-2670 創設:昭和41年12月1日 面積:敷地20,706㎡、建築5,891㎡		
校長名	野 尻 一 裕	教頭名	蛭 谷 俊 明
教職員数	教員20名 養護 1名 事務 1名	学級数 児童数	14学級 457名
教育目標	◎進んで学習する子（知） ◎思いやりのある子（情） ◎考えて行動する子（意） ◎元気に活動する子（体） ◆元氣なあいさつ、学び喜び、未来へはばたく 日の出小		
研究主題	自ら学び、主体的に学習に取り組むことができる子どもの育成 ～「読解力」を高める国語科学習指導方法の研究～		
特色ある教育活動	1 開校50周年記念事業を通した取り組み 記念式典の開催や参加、記念誌の作成により学校への愛着を深め、地域を見直し愛情意識を高める。 2 学習活動の面 (1)授業のねらいを明確化し、基礎基本の定着を図る指導過程を構築する取り組み・研究教科を国語科とし、読む力・考える力・表現する力を育成する。互いの考えを比較し、友だちの考えを基に課題解決に迫るような学び合う態度を身に付け、進んで学習に取り組む指導 (2)目標を持たせる検定と放課後学習の取り組み ・毎週1回、漢字検定と計算検定を実施し、意欲化と定着を図る ・学習の場を提供～検定に再挑戦できる放課後学習の充実(担任外教員が担当) ・家庭学習を継続させるための具体的手立ての構築を図る (3)一人ひとりを生かす指導の取り組み ・少人数指導、習熟度別指導の充実 3 学校行事及び児童会の活動に関わる取り組み (1)日の出っ子ひろば (2)あいさつ運動 (3)リングブル集め (4)愛キャップ集め 4 その他 地域と関わりのある活動 (1)PTAふれあいフェスティバル (2)ふれあいボランティアの活用(AKS活動) (3)読み聞かせの会「やまぶどうの会」との連携(土曜日の図書室開放) (4)防犯ボランティア「日の出っ子見守り隊」との連携		
沿 革	昭和41年12月 新設開校 昭和42年 1月 開校記念式挙行 昭和51年 3月 祝梅小学校分離 6月 開校10周年記念式典挙行 昭和61年11月 開校20周年記念式典挙行 平成 8年12月 開校30周年記念式典挙行 平成18年12月 開校40周年記念事業 平成24年10月 千歳市学校課題研究発表会開催 北海道算数数学教育研究大会石狩・千歳大会(小学校会場)開催 平成27年 4月 地域の学力向上支援事業拠点校		

	信 濃 小 学 校 所在:千歳市信濃2丁目34番12号 電話:0123-23-4752 創設:昭和43年4月1日 面積:敷地19,413㎡、建築5,645㎡		
校長名	加 藤 理 恵	教頭名	藤 井 康 博
教職員数	教員18名 養護 1名 事務 2名	学級数 児童数	12学級 392名
教育目標	○考える子 ○やさしい子 ○がんばる子 ○じょうぶな子 【重点目標】○しっかり学習する子 ○なかよく生活する子 ○のびのび運動する子		
研究主題	心豊かに よりよく生きようとする「信濃っ子」の育成 ～道徳の時間を要とした道徳教育の充実～		
特色ある教育活動	- ふれあい活動を通して思いやりの心や実践力の育成 ・高齢者、見守り隊、幼稚園、保育園との交流 - 異学年交流を通して心の交流を図るとともに、自分達で遠足を企画させることにより、自覚と責任感を養う活動 ・ジャンボタイム～子ども達の手でつくりあげる異学年のふれあい活動 ・ノースリーダー～北校舎で高学年に仲間入りした4年生が低学年と交流する活動 - ALTによる英語を使った様々なゲームや歌、外国の文化(衣食住)に触れるクラブ活動。 ～Eクラブ - 危険予測力を高めることに重点を置いた安全指導の積極的展開 ・引き渡し訓練、災害図上訓練とそなえーる見学 - 家庭との連携による体づくりの習慣化～「しなトレ」の推進		
沿 革	昭和43年 4月 新設開校 昭和47年12月 体育館(講堂)完成 昭和48年 7月 開校5周年記念式典 昭和53年 3月 桜木小分離 10月 開校10周年記念式典挙行 昭和63年 1月 「信濃の森」購入 10月 開校20周年記念式典挙行 平成 2年11月 学校プール完成 平成 6年 4月 北陽小分離 平成10年 8月 開校30周年記念式典挙行 平成20年11月 開校40周年記念事業学校課題研究発表会 平成24年 4月 学校力向上に関する総合実践事業近隣校 平成25年 4月 学校力向上に関する総合実践事業近隣校 平成26年 4月 学校力向上に関する総合実践事業近隣実践校 平成27年 4月 学校力向上に関する総合実践事業近隣実践校 平成28年 4月 学校力向上に関する総合実践事業近隣実践校		

	高 台 小 学 校 所在:千歳市富丘1丁目19番4号 電話:0123-23-9109 創設:昭和45年4月1日 面積:校地21,844㎡、校舍5,068㎡		
校長名	北 野 敬 和		教頭名 吉田 かおり
教職員数	教員14名 養護 1名 事務 1名		学級数 10学級 児童数 264名
教育目標	深く考え 学び合う子(重点 深く考え、進んで行動する子どもの育成) 広い心で 助け合う子(重点 明るく思いやりのある子どもの育成) 心豊かに 生きぬく子(重点 健康で、粘り強くやり抜く子どもの育成) 【重点目標】 ○『深く考え 学び合う子』①基礎・基本を重視した学力の向上 ②児童会活動を通じた心の教育の充実 ③体力向上と健康教育の推進 ④個に応じた特別支援教育の充実		
研究主題	見通しをもって取組、自ら問題を解決する子どもの育成 ～子どもが主体的に問題を追究する算数・理科学習を通して～		
特色ある教育活動	- 確かな学力の向上 少人数指導(2～4グループ)、科学技術大学生生活用長期休業中の学習サポートの推進 e ラーニング全校児童の登録 - 心の教育の充実 「生活アンケート」による実態把握、花壇づくり・ボランティア活動の推進・異学年交流 サケの稚魚を育てる・放流、NO!いじめ集会 - 健やかな体づくりの推進 全学年による体力テストの実施、「生活ノート」を活用した基本的生活習慣づくり 児童会企画によるスポーツ大会、各種体力テスト記録掲示 - 安全で安心な学校づくり 引き渡し訓練の実施、いじめへの早期対応、見守り隊・下校ボランティアとの連携による 登下校の安全確保、見守り隊(一年生を迎える会・卒業生を送る会)ご案内 - 特別支援教育の充実 特別支援員の効果的な配置、個に応じた指導計画の作成、実践、評価		
沿 革	昭和45年 4月 新設開校 昭和54年 5月 肢体不自由児訓練室「そらまめ」学級開設 昭和55年 11月 開校10周年記念式典祝賀会挙行 平成 2年 11月 開校20周年記念式典挙行 平成12年 9月 小学校英会話学習モデル事業開始 10月 開校30周年記念式典挙行 平成15年 3月 平成14年度北海道公立学校教育課程実践・石狩教育局長表彰 平成16年 11月 千歳市学校課題研究発表会 平成18年 2月 石狩管内教育実践奨励表彰受賞 8月 「人権の花」感謝状受賞 平成20年 1月 岡山市立西大寺南小と、サケ飼育を通じ交流 平成21年 5月 人権の花贈呈式 平成22年 5月 「あそびの日inちとせ高台小学校」会場校 平成23年 5月 非行防止教室開催 平成24年 12月 冬休みの勉強会開催 平成25年 8月 夏休みの勉強会開催 平成26年 2月 全学級に電子黒板配備 平成27年 11月 なかよしさわやかDAYいじめシンポジウム児童会による提言発表		

	東 小 学 校 所在:千歳市東丘824番地の30 電話:0123-21-3200 創設:昭和46年1月1日 面積:敷地16,675㎡、建築2,184㎡		
校長名	河 村 英 俊	教頭名	山 中 晴 吾
教職員数	教員 5名 養護 1名 事務 1名	学級数 児童数	3学級 20名
教育目標	「思いやる心で たくましく 学びつづける 東っ子」 【重点目標】 1 確かな学力の育成 2 豊かな心の育成 3 健やかな体の育成 4 特別支援教育の推進 5 安心・安全な学校づくり 6 地域との連携		
研究主題	自分の思いや考えを持ち、主体的に表現できる子どもの育成 ～つけたたい力を明確にした国語科の授業実践を通して～		
特色ある教育活動	1 農業体験活動 ・地域の農業考える活動を通し、自分達の生活が多くのの人々に支えられていることに気づかせる。また、地域の農業と食との関わりについても学ぶ。 ・学校田(米)活動を通し、作物を育てる苦労や喜びを体験させるとともに、主食について考えさせる。 2 ボランティア活動 ・保育所や老人クラブと交流し、地域への貢献を通して地域の一員としての誇りをもつ。 ・北進小学校との交流活動を通して、他校の児童との交流を深める。 3 学校行事・集会活動 ・小中合同運動会(保育所、地域)、学芸会、雪中運動会等の地域一体に行事を通して、ふるさとを大切にする心を育てる。 ・栽培活動集会(講師依頼)、もちつき集会(講師依頼、学校間交流)百人一首集会(講師依頼)を通して地域の人々との交流を深め、ふるさとを大切にする心を育てる。 4 体力づくり(全校なわとび)と歯磨き指導 ・業間を活用し、なわとびの取り組みを行い、体力づくりを図る。 ・給食終了後に、全校一斉に歯磨き指導を実施している。 5 パレットタイム ・パレットタイム(朝学習の名称)を確保し、「国語・算数を中心としたくり返し学習」「朝読書」「朝の運動」を実施している。 6 縦割り班(異学年)活動を日常的に行い、思いやりの心やたくましい心を育む。 (花壇・給食・稲作)		
沿 革	昭和46年 1月 幌加小、協和小、東丘小の3校統合開校 昭和55年11月 開校10周年記念式典挙行 平成 2年11月 開校20周年記念式典挙行 平成10年10月 全道へき複大会第5分科会会場校 平成12年12月 開校30周年記念式典挙行 平成13年 9月 コンピューター室整備 10月 学校林記念植樹 平成14年10月 石教研へき複部会研究集会 平成23年 1月 開校40周年記念を祝う会開催 9月 全道へき複研究大会石狩プレ大会第4分科会会場校 平成24年 9月 全道へき複研究大会石狩大会第4分科会会場校		

	祝 梅 小 学 校 所在:千歳市梅ヶ丘3丁目2番1号 電話:0123-23-1110 創設:昭和51年4月1日 面積:敷地20,571㎡、建築6,371㎡		
校長名	難 波 雅 弘	教頭名	波 津 雅 俊
教職員数	教員19名 養護 1名 事務 1名 栄養 1名	学級数 児童数	14学級 280名 (うち特別支援学級2学級13名)
教育目標	『すくすく のびのび』 みとめ合い、まなび合い、たかめ合い、きたえ合う 祝梅っ子 本年度重点教育目標 ・「まなび合い きたえ合う 祝梅っ子」 ～通いたい 通わせたい 信頼できる 勤めたい 温かい学校づくり～		
研究主題	「わかる」「できる」喜びを味わい主体的に学ぶ児童の育成 ～算数科における児童の意欲を喚起する授業改善を通して～		
特色ある教育活動	1 環境教育 (1)園での植物栽培活動(学校花壇、校立公園) (2)飼育活動(サケの飼育活動、サケの交流事業、金魚の飼育活動) (リサイクル活動、環境整備作業) 2 人権教育 (1)道徳教育の充実(人権教室、福祉体験学習、ありがとう集会) 3 学力向上の取り組み (1)祝梅タイム、家庭学習 4 体力向上の取り組み (1)持久走、コーディネーション運動 5 四期のサイクル (1)わくわくステージ(4月～ 7月)自分の目標を意識し、進んで取り組む期 (2)のびのびステージ(8月～ 9月)自分の良さを伸ばす期 (3)じっくりステージ(10月～12月)自分を見つめじっくり取り組む期 (4)しっかりステージ(1月～ 3月)今までの自分を振り返り、新学年につなげる期		
沿 革	昭和51年 4月 新設開校 昭和55年 9月 開校5周年記念式典挙行 昭和60年11月 開校10周年記念式典挙行 平成 6年 1月 豊かな学校創生事業によるサケ飼育開始 平成 7年11月 開校20周年記念式典挙行 平成10年 1月 岡山県西大寺南小学校とサケ飼育を通しての交流を始める 平成17年12月 開校30周年記念式典挙行 平成22年 3月 多目的トイレ完成 平成23年 4月 学校教育目標の改訂、新しい図書スペース「図書の森」完成 平成24年 9月 体育館耐震改修工事完了 平成25年 4月 あさがお(知的、情緒)学級開設 平成25年11月 校舎改修工事(外壁塗装・防水・普通教室改修等) 平成27年 9月 千教振学校課題研究発表会 平成27年11月 開校40周年を祝う会挙行		

	桜 木 小 学 校 所在:千歳市自由ヶ丘7丁目1番1号 電話:0123-22-3301 創設:昭和53年4月1日 面積:敷地24,370㎡、建築5,550㎡		
校長名	鈴 木 俊 之	教頭名	石 橋 浩 明
教職員数	教員20名 養護 1名 事務 2名	学級数 児童数	12学級 337名
教育目標	自ら学び心豊かでたくましい桜木の子 ○進んで学ぶ子 ○思いやりのある子 ○明るいたくましい子 <重点教育目標> 【児童が意欲的に学ぶ学校】 【豊かな心と体を育成する学校】【魅力ある学校】		
研究主題	自ら学びを深めたり、広げたりできる子どもの育成 ～既習事項を活用し、筋道を立てて考える算数科の指導を通して～		
特色ある教育活動	○学習向上を目指して ・「学びの約束」の提示と定着 ・放課後の補充学習(チャレンジタイム) ・自主的に取り組む学習プリント(チャレプリ)の活用 ・桜木漢字検定の実施 ・朝の読書活動の推進 ・学生ボランティアを活用した長期休業中補充学習の実施 ・生活リズムチェックシートを活用した家庭での生活習慣の改善 ・「桜木学習シート」の作成と活用 ・工夫した学習ノートの掲示と意欲喚起(キラリノート) ○体力向上を目指して ・年間を通した朝の体力つくりの実施(縄跳び検定・持久走) ・空き教室を利用した運動スペース(桜UPルーム)		
沿 革	昭和53年 4月 新設開校 昭和62年10月 開校10周年記念式典挙行 平成 元年11月 桜木博物館、桜木学習公園完成 平成 8年 2月 サイパン島ガラパン小学校と姉妹校盟約締結 平成10年11月 開校20周年記念式典挙行 平成16年 2月 石狩教育実践奨励表彰受賞 5月 すこやか農園造成 平成19年10月 石教研学校課題研究発表会 12月 開校30周年記念式典挙行 平成20年 8月 ミレニアムタイムカプセル開封式 平成21年 3月 環境省「こどもホタルレンジャー」優秀賞受賞 平成22年11月 第一回桜木メッセージ開催 平成24年 4月 学校力向上に関する総合実践事業指定校(道教委) 平成24年 8月 花いっぱいコンクール最優秀賞受賞 平成25年 8月 花いっぱいコンクール優秀賞受賞 平成26年 4月 学校の教育目標の改訂 6月 引き渡し訓練の実施 平成27年12月 学校力向上に関する総合実践事業研究協議会開催		

43

	北 陽 小 学 校 所在:千歳市北陽3丁目9番1号 電話:0123-42-3441 創設:平成6年4月1日 面積:敷地26,056㎡、建築9,619㎡		
校長名	池田 元治	教頭名	椿 野 次 雄
教職員数	教員52名 養護 2名 事務 3名	学級数 児童数	40学級 1,398名 (うち特別支援学級1学級4名)
教育目標	◎自分や友だちのよさを生かし、心をより豊かにしようとする子どもの育成 (情)思いやりをもち、助け合う子 (やさしい子) (意)目標に向かって、努力する子 (がんばる子) (知)自ら学び、深く考える子 (考える子) (体)進んで体をきたえる子 (元気な子) 【重点教育目標】「最後までやりぬき 高め合う子ども」の育成		
研究主題	「進んで考え、かかわり合いながら学ぶ子どもの育成」 ～各教科における言語活動を通して～		
特色ある教育活動	1 凡事徹底の教育 ・挨拶 ・姿勢 ・返事と挙手 ・感謝 2 ICT機器活用による確かな学力の定着 3 コーディネーショントレーニングを活用した教科体育の充実 4 土曜日の楽校・北陽っ子まつりなどのPTA・保護者・地域との連携行事		
沿 革	平成 6年 4月 新設開校 平成 9年 3月 世界児童画展都道府県団体賞受賞 平成11年 1月 増築校舎完成 平成11・12年度 千歳市学校課題研究指定校 平成11年12月 プール完成 平成12・13年度 石狩教育局 地域教育推進事業「学社融合推進モデル事業」校 平成14年 7月 学校図書館地域開放開始 平成15年11月 開校10周年記念式典 平成18年 5月 千歳っ子見守り隊対面式 平成20年 3月 増築校舎完成 平成21年 3月 全道PTA広報紙コンクール大賞受賞 平成22年 1月 新校舎1・2階教室改築工事完了 平成23年 3月 図書室・図工室・普通教室改築、校長室移設、職員室拡充工事完了 平成24年 3月 プレハブ校舎増築完了 6月 保護者引取型下校訓練実施 平成25年11月 開校20周年記念式典 平成26年 3月 職員室拡充・第二児童玄関・第二理科室・普通教室他増築 8月 新校舎外構整備工事完了 11月 児童用タブレット端末導入 平成27年 6月 午前・午後による二部制の運動会実施		

	泉 沢 小 学 校 所在:千歳市柏陽2丁目9番地 電話:0123-28-5830 創設:平成9年4月1日 面積:敷地32,022㎡、建築5,409㎡		
校長名	比 良 彰 男	教頭名	大 塚 智 治
教職員数	教員14名 養護 1名 事務 1名	学級数 児童数	10学級 267名
教育目標	「明るい笑顔、響き合う心、瞳輝く泉沢」 ○思いやりをもち、助け合う子(情) ○ねばり強く、がんばりぬく子(意) ○進んで学び、深く考える子(知) ○明るく元気で、たくましい子(体) 【重点目標】 「おもいあい まなびあい きたえあい! とともにがんばる 泉っ子!」 ～地域を活かし、心身ともに健康で人間性豊かな子どもを保護者・地域と共に育む～		
研究主題	「つながり」を大切にする児童の育成 ～学級活動を基盤として～		
特色ある 教育活動	<地域を生かした教育活動の推進> (1)総合的な学習の時間・地域素材(人・社会・自然)を活用した探究的な学習 (2)泉沢小の「かがやきの森・学校林」を生かした自然体験活動や環境教育 (3)臨空工業団地を生かした教材づくりと教育活動 (4)向陽台の諸施設(リハビリ学院・航空学園など)を生かしたキャリア教育 (5)老人ホーム・車椅子体験等、福祉教育・ボランティア活動の推進 (6)地域人材を講師とした全校道德の実施 (7)サケのふるさと千歳水族館の協力による、サケの採卵・飼育・放流体験学習		
沿 革	平成 9年 4月 新設開校 平成10年 9月 泉ザ・ワールド開催 平成11年 6月 卒業記念植樹 平成14年11月 千歳市学校課題研究指定発表会 平成15年 9月 英会話学習開始 平成16年10月 台風により学校林20本倒木 平成17年10月 開校10周年記念事業準備委員会発足 平成18年 5月 開校10周年記念大運動会実施 10月 開校10周年記念・石狩市指定学校課題研究発表会開催 11月 開校10周年記念式典挙行 平成19年11月 全校道德実施 平成20年 2月 石狩管内教育実践奨励賞受賞 5月 第2回全校道德実施 平成21年 2月 「遊々の森」認定書締結式 5～11月 「かがやきの森」整備開始 平成22年 2月 第3回全校道德実施 平成23年11月 第4回全校道德実施 平成25年 2月 第5回全校道德実施 平成26年 1月 第6回全校道德実施 9月 千歳市学校課題研究発表会・石狩管内教育機器活用研究大会 平成27年 2月 第7回全校道德実施 平成28年 2月 第8回全校道德実施		

2 中 学 校

	千 歳 中 学 校 所在:千歳市栄町4丁目35番地 電話:0123-23-3161 創設:昭和22年6月4日 面積:敷地24,482㎡、建築6,782㎡		
校長名	吉 川 雅 樹	教頭名	藤 村 哲 子
教職員数	教員37名 養護 1名 事務 2名	学級数 生徒数	21学級 583名 (うち特別支援学級4学級7名)
教育目標	1 豊かな心の育成 2 確かな力の育成 3 健やかな心身の育成 4 広い視野の育成 【重点目標】 家庭・地域と連携し、心豊かでたくましく、共に学びに向かう生徒の育成		
研究主題	『つながり』より良い人間関係を築き、自己実現を目指す意欲を持った生徒の育成 ～自他を認め、互いに高め合う体験学習を取り入れた学活、道徳の授業を通して～		
特色ある 教育活動	1 千歳科学技術大学との連携による学習活動(SPP) ～1年生を対象にした理科の実験授業～ 2 PTA「おやじの会」の活動 環境整備、地域との交流、研修活動 3 地域との交流、ボランティア活動 生徒会委員会による各種募金活動 地域の方々と共に花を植える花壇ボランティア活動、落ち葉拾い 吹奏楽部・合唱部の地域での演奏活動		
沿 革	昭和22年 6月 新設開校 9月 校章を制定 昭和24年 6月 校歌制定 昭和26年 3月 新校舎完成(現在地) 昭和29年 3月 体育館完成 昭和37年11月 鉄筋コンクリート三階建校舎完成 12月 完全防音、温風暖房機付講堂(兼体育館)完成 昭和52年10月 開校30周年記念式典挙行「記念誌発行」 平成 元年 4月 はまなす学級開設 平成 5年 1月 コンピューター教室工事完了 平成 9年11月 開校50周年記念式典挙行「記念誌発行・校旗更新」 平成10年 2月 石狩管内教育実践奨励表彰受賞 平成12年 2月 平成11年度北海道教育実践奨励表彰受賞 8月 機械警備センサー設置 平成14年 2月 安全対策整備工事完了(玄関オートロック式施錠、テレビドアホン等) 平成16年 3月 はまなす学級改修工事完了 平成18年 8月 2階東校舎教室改修工事完了 平成19年10月「柏葉の像」修復・塗装完了(奈良昌美先生・同窓会協賛事業) 平成20年 3月 開校60周年記念講演会 平成21年 9月 管理棟・教室棟・西校舎ボイラー交換(天然ガス化) 平成22年 8月 生徒用トイレ改修工事完了 10月 耐震工事(東・西・管理棟・体育館)完了 平成23年 1月 理科室、水飲み場、防火扉改修工事完了 11月 体育館ボイラー交換(天然ガス化) 12月 自転車置き場増設工事完了 平成24年 4月 真町中学校と統合 平成26年 1月 平成25年度千歳市体育協会スポーツ奨励賞受賞(卓球) 4月 はまなす(難聴)学級開設 平成27年 9月 体育館天井耐震化工事完了 平成28年 1月 平成27年度千歳市体育協会スポーツ奨励賞受賞(野球部)		

	北 進 中 学 校 所在:千歳市北栄1丁目2番6号 電話:0123-23-3439 創設:昭和37年4月1日 面積:敷地10,642㎡、建築2,853㎡		
校長名	宮 崎 智 子	教頭名	佐 藤 倫 夫
教職員数	教員12名	学級数 生徒数	知的障がい3学級 22名 自閉症・情緒障がい3学級 19名 計 6学級41名
教育目標	21世紀を、自分のよさを発揮し、広く豊かに生きる子どもの育成 ・たしかに学ぶ子(知) ・かかわりをもてる子(情) ・たくましく生きる子(意・体) 【重点目標】 ○たしかに学ぶ子 ・一人一人の実態に応じた指導の充実 ・校内研修の充実 ○かかわりを持てる子 ・豊かな心を育む教育の推進 ・共同および交流学习の推進 ・保護者や地域、医療・福祉等の関係機関との連携 ○たくましく生きる子 ・心身を鍛え、生命尊重を尊ぶ健康安全指導の充実 ・キャリア教育の充実		
研究主題	児童生徒一人一人の働く力を育む支援のあり方について ― 事例研究を通して子供の生活の幅を広げ、生活の質を高める取り組み ―		
特色ある教育活動	1 特別支援学級のみ为学校としての特徴を活かした小中一貫教育の推進 2 一人ひとりの発達段階に応じた教科指導の充実 (国語・算数のグループ別学習) 3 将来の社会参加を見通したキャリア活動の充実 (勤労・生涯学習、フィールドワークなど) 4 他校の児童生徒や地域の老人との交流学习 5 他校の児童生徒を含めた教育相談・通級指導		
沿 革	昭和35年 5月 児童会館内に千歳小学校特殊学級として発足 昭和38年12月 北栄1丁目2番6号に新校舎落成移転 昭和40年10月 千歳小・千歳中の北栄分校となる 昭和46年 4月 北進小中学校として独立 昭和49年 4月 言語治療教室緑小に移設 開校15周年記念式典挙行 昭和58年 4月 情緒障害学級開設 平成 3年 3月 開校30周年・校舎増築・新体育館 完成記念式典挙行 平成14年 2月 開校40周年記念祝賀会 平成18年 2月 北海道教育実践表彰受賞 4月 通級指導教室を開設 平成23年12月 開校50周年・開校40周年をお祝いする会 平成24年 7月 校舎耐震工事開始(～10月22日完了) 8月 避難訓練(地震)・保護者引き渡し訓練 平成26年 9月 千歳市「花いっぱいコンクール」優秀賞受賞 平成27年 9月 千歳市「花いっぱいコンクール」優秀賞受賞		

	青 葉 中 学 校 所在:千歳市豊里4丁目1番1号 電話:0123-23-4147 創設:昭和32年8月29日 面積:敷地25,601㎡、建築6,533㎡		
校長名	川 村 佳 広	教頭名	千 葉 則 理
教職員数	教員24名 養護 1名 事務 1名	学級数 生徒数	12学級 407名
教育目標	「21世紀の担い手として活躍する人間性豊かな生徒の育成」 すぐれた知性(知) 豊かな情操(徳) 強靱な意志と体力(体) 主体的な行動力(生きる力) 教育課題(本年度の重点課題) 「確かな学力と豊かな心の育成」		
研究主題	基礎・基本の定着を図り、主体的に学習に取り組む生徒の育成 ～学び合いと反復学習を通して～		
特色ある教育活動	1 学力の向上に向けたとり組み 学習規律および学習環境整備の徹底、家庭における学習習慣の確立と連携、数学科におけるTT・少人数指導、電子黒板等のICT機器の活用、授業展開の改善、小中連携の取り組みを通して、学力の育成を図っている。 2 自治活動 挨拶運動、各種募金活動、学習点検やGB(ゴミ バスターズ)クラブ、JJ(給食準備10分)キャンペーン、青葉の一等生(頑張る生徒を選出)、「いじめ撲滅宣言」採択など自治活動の高揚に向けた生徒会による取組を実施している。 3 朝読書 全校朝読書を完全実施して10年目となり、読書の静寂からスタートする学校生活が定着している。		
沿 革	昭和32年 8月 千歳中学校より分離 新設開校 昭和47年 1月 真町中学校新設のため分離 昭和48年 1月 現在地に校舎移転 昭和50年 3月 富丘中学校新設のため分離 昭和56年 2月 生徒増に伴い増築校舎完成 平成 2年12月 プレハブ校舎完成 平成 5年 1月 コンピューター室完成 平成15年11月 管内教育機器活用研究発表 平成16年 5月 生徒指導総合推進事業実践校 平成19年 6月 耐震工事、大規模改修工事 10月 開校50周年式典、祝賀会 平成21年 3月 全道PTA広報誌コンクール特別賞受賞 平成22年 4月 穂積雅子氏凱旋報告会(バンクーバー五輪銀メダリスト) 平成24年12月 毎日カップ「中学校体力づくり」コンテスト優秀賞 平成25年 2月 全国中体連スケート大会3位(女子1500m・3000m) 7月 全道中体連陸上大会男子砲丸投げ優勝 8月 全国中体連陸上大会出場 大規模改修工事(体育館壁面・放送機材等) 平成26年 2月 全国中体連スケート大会女子1500m・3000m優勝 平成26年 4月 北海道教育委員会地域の学力向上支援事業拠点校 平成27年 2月 全国中体連スケート大会女子1500m・3000m準優勝 10月 ジュニアオリンピック女子共通ジャベリックスロー 出場 平成28年 2月 全国中体連スケート大会女子 500m 5位入賞		

	東 千 歳 中 学 校 所在:千歳市幌加731番地の117 電話:0123-21-3300 創設:昭和27年4月1日 面積:敷地20,237㎡、建築1,986㎡		
校長名	橋 詰 典 明	教頭名	—
教職員数	教職員6名	学級数 生徒数	2学級 13名
教育目標	◎確かな学力(知) ◎豊かな心(情) ◎責任ある行動(徳) ◎たくましい心身(体) 【重点目標】 主体性、協働性を磨き、グローバル社会を生き抜く力に漲る生徒の育成		
研究主題	多角的・多面的な思考力を深め、意欲的に学ぶ生徒の育成 ～各教科における課題設定の工夫を通して～		
特色ある 教育活動	・柏タイム(総合的な学習) ・地域の人たちとの校外清掃 ・地域の人を講師に迎え、全校道徳 ・学校農園作り ・花壇整備活動 ・小中合同運動会 ・パークゴルフ大会 ・地域保育所への訪問活動 ・アイヌ文化学習 ・地域の人を講師に迎え、陶芸教室 ・地域の人を講師に迎え、かるた大会 ・ボランティア活動(国際協力)		
沿 革	昭和22年 6月 幌加中学校として幌加小学校に併設して開校 昭和27年 4月 東千歳中学校として独立 昭和31年12月 屋内体育館完成 昭和38年12月 東雲寮完成 昭和45年12月 スクールバス運行開始・東雲寮閉鎖 昭和49年 3月 校舎改築完成 昭和51年 3月 防音講堂(屋体)完成 昭和57年11月 開校30周年記念式典挙行 平成 4年 7月 開校40周年記念事業、パークゴルフ場完成 平成 5年 4月 学校教育目標改定 7月 学校給食センター東千歳調理場閉鎖 平成 6年 9月 ふるさとふれあいパークゴルフ場完成 平成 7年 2月 コンピューター教室設置 平成20年 1月 第6回全道壁新聞コンクール「準大賞」受賞 平成24年 8月 千歳市「花いっぱいコンクール」中学校の部名誉花壇賞受賞 12月 平成25年用国土緑化運動・育樹運動ポスター原画コンクール 「農林水産大臣賞」受賞 平成25年12月 アートクラブグランプリin SAKAI「文部科学大臣賞」「読売テレビ賞」受賞 国土緑化運動・育樹運動ポスター原画コンクール「林野庁長官賞」 「国土緑化推進機構理事長賞」受賞 平成26年 3月 税のポスターコンクール「北海道知事賞」「石狩振興局長賞」受賞 7月 全国学校秀作美術展「読売新聞社賞」「特選」受賞 10月 馬の絵作品「北海道知事賞」受賞 12月 国土緑化運動・育樹運動ポスターコンクール「農林水産大臣賞」受賞 平成27年 1月 アートグランプリinSAKAI「毎日新聞社賞」受賞 3月 玄関オートロック工事完了 7月 全国学校秀作美術展「文部科学大臣賞」受賞 11月 校舎・講堂ボイラー入れ替え工事終了 アートグランプリ in Sakai「堺市文化振興財団賞」受賞		

	駒 里 中 学 校 所在:千歳市駒里945番地の6 電話:0123-23-3237 創設:昭和31年1月1日 面積:敷地37,652㎡、建築2,368㎡		
校長名	辻 崎 洋 一	教頭名	小 森 享
教職員数	教員 4名	学級数 生徒数	2学級 5名
教育目標	◎ やさしい子(広い視野をもち、ふるさとや人を愛する子ども) ◎ 進んで学ぶ子(進んで学び、自ら考え、行動する子ども) ◎ 元気な子(たくましい心と体をもった、元気な子ども) 【重点目標】 ○「思いやりのある心」と「基本的な生活態度・習慣」を育てる。 ○一人一人に応じたきめ細かな指導を行い、「確かな学力」を身につける。 ○小中併置校の強みを生かし、「教師力」の向上に努める。		
研究主題	「思いやりの心を持ち、自ら考え、行動できる子どもの育成」 ～9カ年を見通した道徳活動の充実～		
特色ある教育活動	◎ 学校環境を生かした教育活動の充実・推進 1 「総合的な学習の時間」～地域の中での学びをつくる (1)農園活動学習、農業体験学習 (2)地域の自然、産業、生活、文化等に関する内容に基づいた課題解決学習 (3)保小中の連携のもと、PTA・地域が一体となって行う各種行事 2 ボランティア活動 (1)交通安全キャンペーン (2)学校祭・餅つき会への地域ご老人の招待活動 (3)リングブル、ペットボトルのキャップ、ベルマーク等の回収 3 体力づくり (1)パークゴルフ (2)部活動(バドミントン)		
沿 革	昭和24年12月 千歳中学校阿宇佐里分校設置 昭和29年 9月 開校50周年記念式典 昭和31年 1月 駒里中学校として独立・小学校併置 昭和32年 7月 校旗・校歌を制定 昭和36年12月 屋内体育館落成 昭和51年 8月 グラウンド整地工事完了 昭和55年 2月 新校舎開設 昭和61年 6月 小学校開校80周年・中学校開校30周年記念式典 平成 5年10月 コンピューター室設置 平成 8年 9月 小学校開校90周年・中学校開校40周年記念式典 平成10年10月 全道へき地複式教育研究大会開催 平成17年 8月 校舎外壁大規模補修完了 平成18年 8月 講堂外壁・屋根全面改修工事 11月 中学校開校50周年記念式典、祝賀会開催 平成20年 8月 全道中体連バドミントン大会女子個人出場 平成21年 8月 全道中体連バドミントン大会男子個人出場 平成22年 8月 全国中体連バドミントン大会男子個人出場 平成26年10月 交通安全キャンペーン30年達成 平成27年 8月 全道中体連バドミントン大会男子個人出場		

		富 丘 中 学 校		
所在:千歳市あずさ1丁目2番1号 電話:0123-24-1188 創設:昭和50年4月1日 面積:敷地24,084㎡、建築7,041㎡				
校長名	津 谷 昌 樹		教頭名	高 橋 浩 子
教職員数	教員32名 養護 1名 事務 1名		学級数 生徒数	18学級 531名 (うち特別支援学級2学級12名)
教育目標	一、賢く 創造力豊かな生徒を育てる 一、豊かに 豊かな心を持ち、感動できる生徒を育てる 一、強く 自ら考え、正しく実行できる生徒を育てる 一、逞しく 身体をきたえ、逞しく成長する生徒を育てる 重点目標 『感性豊かに、夢や目標に向かって、学び続ける生徒の育成』			
研究主題	「確かな学力を身につけた生徒の育成」 ～指導技術の工夫・改善を通して～			
特色ある 教育活動	「学力向上と豊かな活動」 ①明るく元気なあいさつ ②豊かな感性を培う合唱の推進 ③花とみどりにあふれた環境づくり ④ボランティア活動の推進 ⑤朝読書等の読書活動の充実 ⑥弁当の日の実施			
沿 革	昭和50年 4月 新設開校 昭和57年 3月 全日本リコーダーコンテスト重奏部門金賞受賞 昭和59年10月 開校10周年記念式典挙行 昭和60年 3月 全日本リコーダーコンテスト重奏・合奏両部門金賞受賞 平成 元年 3月 リコーダー部門重奏部門「文部大臣奨励賞」受賞 平成 7年 1月 全国書初め展団体優勝 11月 開校20周年記念式典挙行 平成 8年 3月 全日本リコーダーコンテスト重奏・合奏両部門金賞受賞 平成13年 8月 男子卓球部団体戦全国大会出場 平成16年 3月 リコーダー部 文部科学大臣奨励賞受賞 平成17年12月 開校30周年記念式典挙行 平成18年 8月 男子ソフトテニス部全国大会出場 平成19年 8月 男子ソフトテニス部・陸上部全国大会出場 10月 仮設校舎設置 平成20年 8月 剣道部全国大会出場 平成21年 3月 全日本リコーダーコンテスト三重奏部門金賞受賞 平成22年 3月 全日本リコーダーコンテスト合奏・重奏の部金賞受賞 平成23年 2月 石狩管内教育実践奨励賞受賞 平成24年 3月 分離式・離任式・修了式 8月 女子卓球個人全国大会出場 千歳市花いっぱいコンクール名誉花壇賞 平成25年 4月 特別支援学級開設 平成26年 7月 陸上男子砲丸投 全道優勝 (8月全国大会ベスト8) 7月 大規模改修工事・校内放送設備改修工事(～2月) 9月 吹奏楽部 北海道吹奏楽コンクール金賞受賞 10月 吹奏楽部 東日本学校吹奏楽大会(群馬県前橋市)出場 金賞 平成27年 7月 女子バレーボール部全道大会出場 8月 陸上男子四種競技 全道優勝・全国大会出場 11月 開校40周年記念式典挙行			



北 斗 中 学 校

所在:千歳市北斗5丁目1番1号
電話:0123-22-4151
創設:昭和59年4月1日
面積:敷地32,217㎡、建築6,380㎡



校長名	竹 部 智 幸	教頭名	畠 山 学
教職員数	教員17名 養護 1名 事務 1名	学級数 生徒数	9学級 313名
教育目標	自ら学び 心豊かに たくましく 生き抜く人の育成 ○すすんで学び行動する人 ○認め支え合い共に進む人 ○苦難に立ち向かい生き抜く人 【重点目標】 ○学力向上 ○体力向上 ○特別支援教育の充実 ○道徳教育の充実		
研究主題	「確かな学力を身につけ、課題に対して意欲的に学ぶ生徒の育成」		
特色ある 教育活動	1 地域や学校の特性を生かした教育課程の編成・実施 ・体験的な活動を取り入れた教育の推進 ・職場体験学習や福祉体験学習の充実 2 生徒の自主性を育成する活動 ・生徒会や部活動を中心としたボランティア活動・活動の活性化を図る各種強調週間の取組 3 地域や保護者との連携を深め、地域に根ざした教育活動 ・北斗ふれあいサークル(地域ぐるみの子育て)活動 ・学校文化の地域発信「飛び出せ北斗中」と地域開放「見に来て北斗中」		
沿 革	昭和59年 4月 新設開校 昭和61年 2月 校舎増築完成 平成 元年11月 石教研学校課題研究発表会開催 平成 2年 3月 石狩管内教育実践奨励表彰受賞 平成 5年11月 コンピューター室設置 平成 6年11月 開校10周年記念式典挙行 8月 野球部全道大会第3位 平成 8年 6月 「北斗ふれあいサークル」開始 平成15年11月 開校20周年記念式典挙行 平成19年 1月 全道リコーダーコンテスト金賞 平成21年 3月 全日本リコーダーコンテスト合奏部門金賞受賞 平成22年 1月 全道リコーダーコンテスト金賞 平成23年 1月 全道リコーダーコンテスト金賞(東日本大震災のため全国大会中止) 8月 男子バスケットボール部全道大会第3位 平成24年 1月 全道リコーダーコンテスト金賞 3月 全日本リコーダーコンテスト合奏の部銀賞 9月 「北斗中防災ナイト」実施 平成25年 1月 全道リコーダーコンテスト合奏の部金賞・道新賞 2月 全国スケート大会出場 3月 全日本リコーダーコンテスト合奏の部金賞・花村賞 8月 全道バレーボール大会男子3位 11月 千歳市文化奨励賞音楽部受賞 開校30周年記念千歳市学校課題研究発表会 平成26年 1月 全道リコーダーコンテスト合奏の部金賞・研究会賞 3月 全日本リコーダーコンテスト合奏の部金賞 平成27年 1月 全道リコーダーコンテスト合奏の部金賞 3月 全日本リコーダーコンテスト合奏の部金賞・花村賞・5年連続出場賞 平成28年 1月 全道リコーダーコンテスト合奏の部金賞 3月 全日本リコーダーコンテスト合奏の部金賞		

	向 陽 台 中 学 校 所在:千歳市若草5丁目5番地 電話:0123-28-4286 創設:昭和62年4月1日 面積:敷地28,143㎡、建築5,555㎡		
校長名	佐々木 一 友	教頭名	得 能 敏 宏
教職員数	教員19名 養護 1名 事務 1名	学級数 生徒数	9学級 257名 (うち特別支援学級2学級4名)
教育目標	1 知性を磨き 創る人《知》 3 理想を求め 励む人《意》 5 すすんで道を 拓く人《労》 2 広く絆を 結ぶ人《情》 4 気高く強く 生きる人《体》 【重点目標】「心豊かで確かな学びと気づき ～互いに尊重し、支え合い、認め合い、学び合う心～」		
研究主題	自分の考えを持ち、深めることのできる生徒の育成 ～思考力・判断力・表現力を育てる授業展開の工夫～		
特色ある教育活動	1 勤労生産活動およびボランティア活動 (1)地域環境整備奉仕活動、校内美化活動 (2)資源回収活動 (3)ボランティア体験活動 2 花いっぱい運動 (1)学校花壇の整備と管理 3 保護者・地域の協力による文化活動 (1)文化的行事(向中フェスティバル)～各種制作物の掲示、合唱発表 (2)地域交流(泉沢向陽台地区文化祭への制作作品の展示や合唱での出演) 4 朝学習と朝読書活動 (1)毎朝、始業前に全校生徒が一斉に朝読書を行う。テスト前は、朝学習を行う。 5 地域の施設と人材を活用した教育活動 (1)地域に住んでいる琴の師範との TT (2)地域にあるスキー場を利用しておやじの会などを中心として、地域にいるスキーの指導などの方との TT 6 Life学習～3年間を通したキャリア教育 1年生:地域人材を生かした職業調査 2年生:地域との連携による職場体験学習 3年生:地域に根ざした職業体験学習		
沿 革	昭和62年 開校式 7学級273名 平成 2年 増築校舎完成 普通教室4、職員室等 計11室 平成 5年 「石狩管内教育実践奨励表彰」受賞 平成 6年 コンピューター教室設置、ラグビー部全道優勝 平成 9年 野球部全国大会出場、石教研・千歳振「学校課題研究発表」 開校10周年記念式典挙行 平成11年 「北海道教育実践表彰」受賞 平成13年 全国読書活動実践校 文部科学大臣賞受賞 平成18年 開校20周年合唱発表会(市民文化センター大ホール) 平成19年 第1回「河口」発表会 平成20年 第2回「河口」発表会 千歳フィルハーモニー管弦楽団参加 平成21年 校舎大規模改修工事(外壁、屋上、非常階段、職員室、教室、玄関、体育館床) 第3回「河口」発表会 千歳フィルハーモニー管弦楽団参加 平成22年 校舎大規模改修工事(体育館、職員・生徒玄関戸) 第4回「河口」発表会 千歳フィルハーモニー管弦楽団・ピアニスト鶴喰由美氏参加 平成26年 特別支援学級開設 ボイラー改修工事 平成27年 校舎等大規模改修工事(体育館非構造部材改修、トイレ、放送施設、教室黑板)		

	勇 舞 中 学 校 所在:千歳市勇舞3丁目4番2号 電話:0123-40-0051 創設:平成24年4月1日 面積:敷地32,285㎡、建築7,807㎡		
校長名	浅 田 眞	教頭名	佐 藤 貢
教職員数	教員27名 養護 1名 事務 1名	学級数 生徒数	18学級 627名
教育目標	【開校の理念(校 訓)】 きらやかに しなやかに 【学校経営の基本方針】 生きる力をはぐみ、潤いと活力に満ちた学校の創造 ○新しい教育の具現化をめざす学校 ○生徒一人一人がきらめき、信じ合う心が溢れる学校 ○保護者や地域に開かれ、信頼される学校 ○内発的改善力を持ち、支持的な職員風土と協働による学校 ○情熱ある人間性に支えられ、教育的力量を高め合う学校 【学校教育目標】 瞳をきらめかせ 希望に満ちた未来を拓く ○思いやりの心と豊かな人間性をはぐむ (人間力) ○高い志と確かな学力をはぐむ (知 力) ○たくましい身体と実現する能力をはぐむ (実践力)		
研究主題	主体的・協働的に学習に取り組む生徒の育成 ～ 思考・判断・表現の時間を保障した指導過程の工夫・改善 ～		
特色ある教育活動	1 学ぶ場面の充実 (1)個に応じた補充学習・自学自習活動等の充実(3分前学習、昼の学習会の実施) (2)ICT機器を積極的に活用した授業の充実 ・千歳科学技術大学との連携によるタブレット端末を利用した学習活動 ・NTTラーニングシステムによるオンライン英会話サービスを活用した英語授業 ・プリント学習システムの活用(千歳科学技術大学によるeラーニングを含む) (3)地域と連携した教育活動の推進 ・キャリア教育(ライフプランニング講習、保育園実習、介護施設入所者への図書室開放) 2 自ら考え行動できる生徒の育成 (1)ノーチャイム、朝読書の実践 (2)いじめ根絶を目指した署名活動とピンバッジの配布「hart to hart」(生徒会活動) (3)リサイクル活動(リングブル、ボトルキャップ、インクカートリッジの回収) 3 小中連携教育の充実 (1)PTA活動における北陽小学校との連携 (2)学校行事や授業における参観等の交流		
沿 革	平成24年 4月 開校式 13学級426名 10月 開校記念式典 ～ 校歌・学校教育目標 制定 平成25年 4月 14学級477名 9月 第2回文化祭 12月 第1回学校評議員・学校関係者評価委員会 平成26年 3月 2回卒業証書授与式 4月 3回入学式177名 15学級 511名 平成27年 3月 第3回卒業証書授与式 4月 第4回入学式232名 17学級 591名 6月 アメリカミアーズ中学校交流団歓迎セレモニーの実施 8月 女子柔道部団体戦 全道中体連出場 11月 石狩管内学校課題研究発表会を開催		

3 幼稚園

学校法人/幼稚園名	所在地/電話	(就園 認可 定員 数)	預 かり 保 育	通 園 バ ス	満 3 歳 児 入 園	2 歳 児 受 入	土 曜 日	給 食
千歳栄光学園 千歳幼稚園	千歳市清水町4丁目25番地 TEL 23-2331	120 (106)	○	○	○	○	全 休	×
千歳青葉学園 千歳青葉幼稚園	千歳市青葉5丁目13番7号 TEL 23-3998	180 (148)	○	○	○	○	預 り 有	○ (週3)
西越学園 くるみ幼稚園	千歳市幸福1丁目847番地 TEL 23-4559	230 (211)	○	○	○	×	全 休	○ (週5)
千歳学園 メリー幼稚園	千歳市末広5丁目1番6号 TEL 23-3329	280 (270)	○	○	○	○	全 休	○ (週2)
千歳学園 第2メリー幼稚園	千歳市富丘4丁目13番20号 TEL 23-5735	310 (266)	○	○	○	○	全 休	○ (週2)
富士学園 千歳わかば幼稚園	千歳市富士2丁目5番6号 TEL 26-0183	140 (78)	○	○	○	○	全 休	○ (週3)
富士学園 第2わかば幼稚園	千歳市勇舞1丁目4番1号 TEL 23-2200	280 (181)	○	○	○	○	全 休	○ (週3)
つくし学園 千歳つくし幼稚園	千歳市高台2丁目3番11号 TEL 23-0203	300 (269)	○	○	×	○	全 休	○ (週3)
つくし学園 向陽台つくし幼稚園	千歳市若草5丁目3番地の1 TEL 28-2123	210 (112)	○	○	○	○	全 休	○ (週3)
合計9幼稚園		2,050 (1,641)						

4 認定こども園

学校法人等/認定こども園名	所在地/電話	開園時間	定 員	受入年齢
千歳市立 認定こども園ひまわり	千歳市新富2丁目4番60号 TEL 23-2894	7:00～18:00 (延長有)	100	1歳 ～5歳児
千歳市立 認定こども園つばさ	千歳市花園4丁目3番1号 TEL 24-9200	7:00～18:00 (延長有)	100	生後6か月 ～5歳児
千歳洋翔会 北斗認定こども園	千歳市北斗5丁目6番3号 TEL 22-5983	7:00～18:00 (延長有)	110	生後6か月 ～5歳児
千歳洋翔会 アリス認定こども園	千歳市勇舞1丁目1番1号 TEL 24-7000	7:00～18:00 (延長有)	130	生後6か月 ～5歳児

浅利教育学園 認定こども園千歳春日保育園	千歳市春日町2丁目1番9号 TEL 27-5535	7:00～18:00 (延長有)	110	生後6か月 ～5歳児
つくし学園 あずさ 認定こども園	千歳市あずさ5丁目21番1号 TEL 22-5588	7:00～18:00 (延長有)	110	生後6か月 ～5歳児
三溝学園 認定こども園北陽幼稚園・第2 北陽保育園	千歳市北陽8丁目2番8号 TEL 49-3100	7:00～18:00 (延長有)	113	生後6か月 ～5歳児
千歳栄光学園 認定こども園千歳第2幼稚園	千歳市新富1丁目6番21号 TEL 23-3586	7:00～18:00 (延長有)	161	生後6か月 ～5歳児

5 高等学校

学 校 名 所 在 地 電 話	 北海道千歳高等学校 千歳市北栄1丁目4番1号 (電話0123-23-9145)
校 長 名	阿 部 正 行
学 級 数 生 徒 数	(全日制) 普通科 国際教養科 国際流通科 計 27学級 1,071名 (定時制) 普通科 4学級 48名
沿 革	昭和23年10月30日 道立野幌高等学校千歳分校として設立認可 昭和25年 3月31日 北海道月寒高等学校千歳分校となる 昭和25年 4月30日 千歳町立北海道千歳高等学校設置許可 昭和29年 4月 1日 道立移管 昭和33年10月 4日 創立10周年記念式典挙行 昭和43年 9月22日 創立20周年記念式典挙行 昭和53年 9月24日 創立30周年記念式典挙行 昭和62年 3月31日 定時制商業科閉科 平成 6年11月 8日 大韓民国空港高校姉妹提携 平成 7年 7月12日 大韓民国空港高校と相互交流開始 (平成10年及び11年一時中断) 平成11年 4月 1日 国際教養科・国際流通科開設 平成11年11月 6日 創立50周年・校舎改築落成記念式典挙行 平成12年 9月 アメリカ合衆国ジェームズズリバー高校と相互交流開始 平成14年 3月31日 第2体育館完成 平成15年 4月 1日 全日制普通科1間口減 平成20年 6月～ 平成21年 2月 創立60周年記念事業 (記念看板設置、航空写真撮影、校歌CD作成) 平成22年 9月 太陽光発電設備工事完了

学 所 電	校 在 地	名 地 話	 北海道千歳北陽高等学校 千歳市北陽2丁目10番53号 (電話0123-24-2818)
校 長 名	小 路 修 司		
学 生 級 数	全 日 制 普 通 科	19学級	646名
沿 革	昭和48年 4月 1日 開校 昭和51年 7月15日 文部省教育課程研究開発校指定 昭和57年11月13日 創立10周年記念式典挙行 平成 4年10月18日 創立20周年記念式典挙行 平成 7年 2月13日 道路交通量調査実践により北海道社会貢献賞受賞 平成14年11月 9日 創立30周年記念式典挙行 平成15年 4月 1日 2学期制導入 平成16年 4月 1日 学校目標改訂 平成18年 4月 1日 校訓制定 平成19年 4月 2日 文部科学省キャリア教育調査研究推進校指定 平成20年12月25日 千歳科学技術大学との連携・協力に関する協定 平成21年 9月14日 平成23年度よりフィールド制導入決定 平成23年 4月 1日 平成23年度入学生よりフィールド制実施 平成24年 5月11日 青少年赤十字(JRC)全校加入 平成26年 6月 6日 消費者教育の推進に関する研究指定(文部科学省)		

学 所 電	校 在 地	名 地 話	 北海道千歳高等支援学校 千歳市真々地2丁目3番1号 (電話0123-23-6681)
校 長 名	木 村 健 治		
学 生 級 数	(全日制) 環境・流通サポート科 生 活 技 術 科	計 9学級	72名
沿 革	平成25年 4月 1日 開校 4月15日 第1回入学式(環境・流通サポート科18名、生活技術科9名、計27名入学) 6月 6日 第1回マラソン大会 6月15日 開校式 11月16日 第1回学校祭 平成26年 3月24日 修了式 4月 8日 第2回入学式(環境・流通サポート科16名、生活技術科9名、計25名入学) 6月 5日 第2回マラソン大会 11月15日 第2回学校祭 平成27年 3月24日 修了式 4月 9日 第3回入学式(環境・流通サポート科16名、生活技術科8名、計24名入学) 6月10日 第3回マラソン大会 11月14日 第3回学校祭 平成28年 3月 5日 第1回卒業証書授与式 3月24日 修了式 4月11日 第4回入学式(環境・流通サポート科17名、生活技術科8名、計25名入学)		

6 大学・専修学校

学校名	所在・電話	学科・定員等
 千歳科学技術大学	〒066-8655 千歳市美々758-65 (電話0123-27-6001)	■理工学部 240名 応用化学生物学科 電子光工学科 情報システム工学科 ■大学院 光科学研究科 光科学専攻 博士前期課程20名 博士後期課程 3名
 日本航空専門学校	≪千歳キャンパス≫ 〒066-8622 千歳市泉沢1007番地の95 (電話0123-28-1155) ≪白老キャンパス≫ 〒059-0904 白老町東町2丁目1番5号	≪千歳キャンパス≫ ■航空整備科 3年制 106名(男女) 一等航空運航整備士コース(B767) 二等航空整備士コース 二等航空運航整備士コース 技術コース ■空港技術科 2年制 80名(男女) グランドハンドリング ≪白老キャンパス≫ 40名(女子) ■国際航空ビジネス科 2年制 エアラインコース ■国際航空ビジネス科 3年制 エアライン留学コース
 北海道千歳リハビリテ ーション学院	〒066-0055 千歳市里美2丁目10番 (電話0123-28-5331)	■昼間部3年課程 理学療法学科 80名 作業療法学科 40名

〔5〕就学の助成

1 就学援助

経済的理由により就学が困難な児童生徒の保護者に対して、学用品費や給食費等の就学に必要な経費の一部援助を行っています。

(1) 学用品費等援助

区分 \ 年度		平成26年度実績		平成27年度実績		備考
		人員(人)	金額(円)	人員(人)	金額(円)	
小学校	学用品費 通学用品費 校外活動費	906	13,209,822	884	12,796,220	宿泊を伴わない
	体育実技用具費	277	3,253,720	284	3,334,850	
	新入学児童生徒学用品費等	126	2,579,220	123	2,517,810	
	修学旅行費	180	3,216,168	172	3,266,899	要保護を含む
	校外活動費	155	489,946	146	498,924	宿泊学習
	学校給食費	906	41,650,661	884	40,404,628	
	クラブ活動費	—	—	10	27,100	新規
	生徒会費	—	—	0	0	新規
	P T A 費	—	—	772	2,105,130	新規
	計	—	64,399,537		64,951,561	
中学校	学用品費 通学用品費 校外活動費	511	13,124,379	517	13,174,770	宿泊を伴わない
	体育実技用具費	182	5,513,190	176	5,647,110	
	新入学児童生徒学用品費等	179	4,215,450	162	3,815,100	
	修学旅行費	181	11,612,412	162	10,712,016	要保護を含む
	校外活動費	149	726,690	152	830,898	宿泊学習
	学校給食費	509	27,616,952	515	27,536,501	
	クラブ活動費	—	—	410	2,320,500	新規
	生徒会費	—	—	511	894,620	新規
	P T A 会費	—	—	479	1,408,830	新規
	計	—	62,809,073		66,340,345	
合 計		—	127,208,610		131,291,906	

(2) 医療費援助

年度 区分		平成26年度実績		平成27年度実績		備考
		人員(人)	金額(円)	人員(人)	金額(円)	
小学校	要保護児童	60	704,060	63	444,590	
	準要保護児童	1,153	2,950,350	1,350	3,067,730	
	計	1,213	3,654,410	1,413	3,512,320	
中学校	要保護生徒	29	421,890	20	219,250	
	準要保護生徒	299	827,840	406	1,034,560	
	計	328	1,249,730	426	1,253,810	
合 計		1,660	4,904,140	1,839	4,766,130	

2 特別支援教育助成

(1) 特別支援教育就学奨励費・通学費助成

小学校及び中学校の特別支援学級に通学する児童生徒の保護者に対して、経済的な負担の軽減と特別支援教育の振興を図るために就学に必要な経費の一部援助を行っています。

年度 区分		平成26年度実績		平成27年度実績		備考
		人員(人)	金額(円)	人員(人)	金額(円)	
小学校	学用品費・通学用品費・校外活動費	61	375,777	55	323,823	宿泊を伴わない
	体育実技用具費	11	78,280	4	14,549	
	新入学児童生徒学用品費等	10	102,350	11	96,435	
	修学旅行費	11	109,690	10	99,882	
	校外活動費	29	43,455	8	12,855	宿泊学習
	学校給食費	61	1,367,036	61	1,373,791	
	通学費	74	423,180	85	401,790	
	計	—	2,499,768	—	2,323,125	
中学校	学用品費・通学用品費・校外活動費	31	369,330	34	295,486	宿泊を伴わない
	体育実技用具費	6	112,020	3	46,088	
	新入学児童生徒学用品費等	10	117,750	12	120,005	
	修学旅行費	8	208,710	10	265,925	
	校外活動費	6	14,260	5	15,025	宿泊学習
	学校給食費	31	832,932	34	933,031	
	職場実習・交流学习	—	—	4	1,280	
	通学費	3	24,730	2	13,244	
	計	—	1,679,732	—	1,690,084	
合計		—	4,179,500	—	4,013,209	

(2) 特別支援学校等就学援助費

特別支援学級等に就学する児童生徒の完全就学を図るため、その保護者に対して年間一定額を支給しています。

区分 \ 年度		平成26年度実績		平成27年度実績		備 考
		人員(人)	金額(円)	人員(人)	金額(円)	
小学校	特別支援学級	150	5,139,000	165	5,280,000	
	特別支援学校等	10	555,000	10	460,000	
	計	160	5,694,000	175	5,740,000	
中学校	特別支援学級	53	2,448,000	62	2,892,000	
	特別支援学校等	10	570,000	7	372,000	
	計	63	3,018,000	69	3,264,000	
合計		223	8,712,000	243	9,004,000	

3 奨学金制度

経済的理由により、修学が困難な学生、生徒に対し、奨学基金をもとに、奨学金を支給しています。

(1) 資格要件

- ア 千歳市内に住所を有すること
- イ 高等学校、高等専門学校、専修学校、大学に在学中、又は進学を希望するもの
- ウ 学資に乏しいこと
- エ 学業優良及び素行善良であること

(2) 奨学金額

区 分	対 象	金 額
高校生等	高等専門学校生(1年生から3年生)	月額7,000円以内
	高校生	
	専修学校生(修業年限が3年以上の高等課程)	
大学生等	大学生(短期大学含む)	月額10,000円以内
	高等専門学校生(4年生、5年生及び専攻科)	
	専修学校生(修業年限が2年以上の専門課程)	

(3) 奨学基金現在高

66,612,723円(平成28年3月31日現在)

(4) 支給実績

区分 \ 年度	平成26年度			平成27年度		
	応募者(人)	受給者(人)	支給金額(円)	応募者(人)	受給者(人)	支給金額(円)
高校生	83	45	3,780,000	82	45	3,752,000
大学生	30	20	2,400,000	33	20	2,400,000
合 計	113	65	6,180,000	115	65	6,152,000

4 私立幼稚園助成

(1) 燃料費・光熱水費補助金

幼稚園に通園する幼児の保護者負担を軽減するため、燃料費・光熱水費として、園児 1 人当たり年額 5,500円を補助しています。

平成26年度		平成27年度	
対象園児数	補助金交付額	対象園児数	補助金交付額
1,927人	10,598,500円	1,802人	9,911,000円

(2) 建設費等利子補給補助金

幼稚園を新設、増設、改築する場合、借入金に対する返済利息の一部を利子補給金として補助している。補助金額は、借入元金の当該年度当初残額(ただし、建設分は300万円、防音分は1,000万円を限度とする。)の3%(借入金利が3%未満の場合はその率)、10年間を限度としています。

区分	平成26年度		平成27年度	
	対象幼稚園	補助金交付金額	対象幼稚園	補助金交付金額
新築	—	—	—	—
増築	—	—	—	—
改築	—	—	—	—

(3) 障がい児教育補助金

心身障がい児を就園させる幼稚園に対し、障がい児 1 人当たり年額5万円を補助しています。(ただし、1園当たり15万円を限度とする。)

平成26年度			平成27年度		
対象幼稚園	対象園児数	補助金交付額	対象幼稚園	対象園児数	補助金交付額
5園	12人	600,000円	5園	14人	700,000円

(4) 私立幼稚園連合会研修費補助金

私立幼稚園連合会が実施する教員研修に対して、参加教員 1 人当たり5,500円を限度として補助しています。

平成26年度		平成27年度	
参加教員数	補助金交付額	参加教員数	補助金交付額
111人	517,354円	112人	602,295円

(5) 就園奨励費補助金

幼稚園に通園する幼児の保護者負担の軽減と公・私立間の保護者負担の較差是正を図るため、入園料・保育料の軽減を行った幼稚園に対し、補助金を交付しています。

区分	平成26年度		平成27年度	
	対象幼児数	補助金交付額	対象幼児数	補助金交付額
幼稚園児	1,874人	229,257,450円	1,746人	223,055,800円
2歳児受入	202人	14,118,600円	171人	14,939,400円

[6]学 校 保 健

1 児童生徒の体位

(平成27年度)

			身長 cm		体重 kg	
			男	女	男	女
小学生	6歳	千歳市	116.6	115.5	21.9	21.2
		全道	116.9	116.1	21.5	21.4
		全国	116.5	115.5	21.3	20.8
	7歳	千歳市	122.6	121.4	24.4	23.3
		全道	123.0	121.8	24.5	23.5
		全国	122.5	121.5	23.9	23.4
	8歳	千歳市	128.3	127.2	27.5	26.6
		全道	128.2	127.7	28.0	27.4
		全国	128.1	127.3	26.9	26.4
	9歳	千歳市	133.9	133.4	31.5	30.6
		全道	133.6	133.4	31.4	30.6
		全国	133.5	133.4	30.4	29.7
	10歳	千歳市	139.3	140.6	35.2	34.3
		全道	139.4	140.1	35.3	34.7
		全国	138.9	140.1	34.0	33.9
中学生	11歳	千歳市	145.7	146.8	39.5	39.4
		全道	145.4	147.4	39.7	40.5
		全国	145.2	146.7	38.2	38.8
	12歳	千歳市	153.4	152.4	44.2	43.9
		全道	153.4	152.7	45.8	45.3
		全国	152.6	151.8	43.9	43.6
	13歳	千歳市	159.0	155.5	49.1	48.9
		全道	160.8	155.2	50.4	48.0
		全国	159.8	154.9	48.8	47.3
	14歳	千歳市	165.6	156.5	53.9	50.3
		全道	165.6	156.8	55.4	50.8
		全国	165.1	156.5	53.9	49.9

2 災害共済給付

児童生徒が、学校管理下において怪我をした場合、独立行政法人日本スポーツ振興センターから災害共済給付金が支払われます。

給付実績

(単位:件数)

		4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	計
平成25年度	小学校	77	84	87	70	318
	中学校	143	119	138	141	541
	計	220	203	225	211	859
平成26年度	小学校	95	105	77	112	389
	中学校	131	137	184	143	595
	計	226	242	261	255	984
平成27年度	小学校	88	102	102	104	396
	中学校	114	158	181	145	598
	計	202	260	283	249	994

〔7〕学 校 給 食

1 施設の概要

千歳市学校給食センター

所在地 千歳市流通3丁目1番地の11

電話 0123-23-3591 FAX 23-3599

開設 平成5年8月

建築構造 鉄骨造2階建

敷地面積 9,024.42㎡

建物面積 2,972.85㎡



2 学校給食の状況

学校給食は「学校給食法」等に基づき、昭和39年に共同調理方式を採用し、現在、週5回（米飯3回、パン・麺類各1回）の給食を提供しています。

現代の食生活における問題点として、偏った食事内容からくるカルシウムや微量栄養素の不足、脂肪・糖分・塩分等の過剰摂取による健康問題などがあることから、学校給食では、家庭における食事と併せて、成長期にある児童生徒の1日に必要な栄養量を摂取できるよう、文部科学省が定めている「学校給食実施基準」に基づき、献立を作成しています。

また、学校給食における「地産地消」の取組として、9月から11月の使用予定野菜のうち、全数量千歳産で供給可能な野菜は千歳産を使用し、米飯は平成13年1月から千歳・恵庭産の白米を使用、角食も、平成26年度から千歳・恵庭・北広島・江別産混合の小麦を使用しておりましたが、平成28年度からは千歳産の小麦を使用しております。

3 運営方法

学校給食センターの適正な運営を図るため、「千歳市学校給食センター運営審議会」を設置し、運営全般にわたる審議を行っています。

なお、調理、配膳、施設維持管理業務については、業務実施に係る民間のノウハウを活用し、より安定した給食を提供するため、平成21年4月1日から委託を行っています。

千歳市学校給食センター運営審議会委員

所 属 団 体	氏 名
東千歳中学校長	橋詰 典明
高台小学校長	北野 敬和
泉沢小学校長	比良 彰男
泉沢小学校教頭	大塚 智治
保護者	橋本 純子
保護者	関根 悟
千歳医師会・学校医	石坂 明人
民生委員児童委員連絡協議会	兼平 尚子
千歳消費者協会	中村 千代子
保健福祉部健康づくり課長	横山 貴史

（平成28年7月5日現在）

4 給食校及び配食数

学校数			配食数				米飯回数
総 数	小学校	中学校	総 数	小学校	中学校	教職員	週3回
26	17	9	8,762	5,460	2,777	525	

(平成28年5月1日現在)

5 給食費

	主食 (円)	副食 (円)	牛乳 (円)	合計 1食単価	給食費(円)		年間給 食回数
					月額	年間	
小学校(低)	74.09	130.36	42.55	247.00	3,807	45,684	185回
小学校(高)	78.08	145.37	42.55	266.00	4,100	49,200	
中学校	80.93	180.52	42.55	304.00	4,686	56,232	

(平成26年4月1日改定)

6 栄養基準

			エネ ル ギー (kcal)	たん ぱ く 質 (g)	カル シ ウム (mg)	鉄 (mg)	ビタミン			
							レチ ノー ル (μg)	B1 (mg)	B2 (mg)	C (mg)
小 学 校	低 学 年	学校給食基準量	585	22.0	325	2.50	160	0.35	0.40	20
		千歳市の献立	659	26.6	327	2.23	335	0.56	0.51	23
	高 学 年	学校給食基準量	695	26.0	375	3.50	185	0.45	0.45	23
		千歳市の献立	692	28.0	334	2.63	361	0.60	0.53	25
中 学 校	学校給食基準量		820	30.0	450	4.00	300	0.50	0.60	35
	千歳市の献立		786	30.9	354	3.14	392	0.67	0.57	28

〔8〕生徒指導・青少年指導

1 教育相談

千歳市では、相談電話・来訪又は訪問などにより、小中学校と連携して児童生徒の諸問題に関する相談を行っています。

(1) 青少年課における相談業務対応種別件数

(単位:件)

相談種別	平成26年度	平成27年度	増減
電話で対応した相談	246	180	－66
来訪で対応した相談	130	167	＋37
訪問で対応した相談	7	2	－5
その他の方法で対応した相談	5	1	－4
合 計	388	350	－38

※相談内容は、不登校(49件)、学校生活(14件)、問題行動(12件)家庭生活(1件)、その他(1件)となっている。

※保護者からの相談が96%を占めている。

※その他の方法で対応した相談については、学校や関係機関との調整した相談件数。

(2) スクールカウンセラー配置状況

児童生徒の問題行動の未然防止や早期発見、早期対応を図るため、専門的な知識に基づく指導・助言ができる、スクールカウンセラーによる教育相談を実施しています。

① 北海道スクールカウンセラー配置校

千歳中、北進小中、青葉中、駒里小中、富丘中、北斗中、向陽台中、勇舞中、日の出小、祝梅小、北陽小、末広小

② 千歳市スクールカウンセラー配置校

千歳第二小、信濃小、高台小、桜木小、泉沢小、緑小、千歳小、北栄小、向陽台小

③ スクールカウンセラーによる教育相談は、教育委員会青少年課相談室において月2回実施

(3) 心の教室相談員配置状況

相談体制の充実を図るため、小学校13校に心の教室相談員を配置し、児童の悩み やストレスを和らげ問題行動の未然防止を図ります。

① 心の教室相談員配置校

千歳小、北栄小、末広小、緑小、千歳第二小、日の出小、信濃小、高台小、祝梅小、桜木小、向陽台小、北陽小、泉沢小

2 不登校児童生徒について

不登校児童生徒については、学校と連携するとともに適応指導教室(「おあしす」)への通級を働きかけています。

(1) 不登校児童生徒数(文部科学省の児童生徒の問題行動等生徒指導上の諸問題に関する調査結果)

(単位:人)

	平成25年度	平成26年度	増減
小学校	10	13	+3
中学校	59	76	+17
計	69	89	+20

※病気・けが以外で年間30日以上休んだことがあった児童生徒

(2) 適応指導教室「おあしす」について

① 設置の目的

不登校児童生徒の増加に対応するため、平成9年6月に千歳市青少年会館内(東雲町1丁目10番地)に学校適応指導教室『おあしす』を開設しています。

ここでは、児童生徒の個々の状態に応じた教育相談を行うとともに、集団的な生活習慣や学習、集団活動等において指導・援助を行い、自立や学校生活への復帰を目指しています。

② 指導の方針

ア 指導員と児童生徒の信頼関係を作る中で、生活面での支援を行う。

イ 体験的活動や集団活動を通して、コミュニケーション能力や集団生活における適応能力の向上を図る。

ウ 家庭や在籍校、各関係機関(子育て推進課、児童相談所等)との連携を図りながら、学校復帰への意欲が高まるよう指導・援助に努める。

③ 入級対象児童生徒

市内の小中学校に在籍し、主に心理的要因や集団不適応によって、不登校の状態にある児童生徒。

④ 通級児童生徒数(見学通級は含まず)

(単位:人)

	平成26年度	平成27年度
小学校	4	2
中学校	24	33
計	28	35

⑤ 開設時間

・月～木 9:30～14:30

・金 9:30～12:00

⑥ 活動内容

ア 個別活動:児童生徒が立てた計画に従って活動し、必要に応じてスタッフの援助を受ける。

イ 学習時間:個々にあった学習内容で、毎週月～木曜日の10時から学習の習慣づけや学ぶことの楽しさを実感させ、学習に積極的に取り組む力を育てる。

ウ マイタイム:「目的を持って活動する」ことを目指し、毎週金曜日の10時から11時の1時間、事前に立てた目標を実行する。

エ 集団活動:児童生徒が状態に応じて、グループで多様な行動をすることによって、心を開放するとともに対人関係を広げ、集団への適応を促進する。

3 いじめに関する取組

千歳市では、いじめの問題に関する指導の方針として「いじめは人間として絶対に許されない」という確固たる認識と毅然とした態度で取り組み、学校、家庭、関係機関及び地域が一体となって、いじめの未然防止・早期発見・早期対応に努めることとしています。

平成25年9月に施行された「いじめ防止対策推進法」、また、これに伴い国が平成25年10月に策定した「いじめの防止等のための基本的な方針」の内容を踏まえ、平成26年3月に「千歳市いじめ防止基本方針」を策定しました。

さらに、各学校においては、平成26年6月末に「学校いじめ防止基本方針」を策定したところであり、この基本方針に基づき、かけがえのない存在である児童生徒一人一人が、元気で明るく学び、健やかに成長していくことができるよう、いじめの防止等の対策に取り組んでいます。

また、子ども達や父母、地域住民、教育関係者等が一体となって取り組む行事として、平成9年度から、いじめの防止に向け共通理解を図ることを目的に、なかよしさわやかDAYいじめシンポジウムを開催しています。

※平成27年度 なかよしさわやか DAY いじめシンポジウム開催状況

日 時：平成27年11月28日(土)9:30～12:00

会 場：千歳市民文化センター中ホール

参加者：375名

(1) いじめ問題に関する調査結果(文部科学省の児童生徒の問題行動等生徒指導上の諸問題に関する調査結果)

(単位：件)

	平成25年度	平成26年度	増減
いじめ	30	30	0

4 各種事故

一般事故や交通事故及び非行事故については、小中学校からその都度報告を受け、学校での指導内容を確認し、防止に向けた取組を進めています。

(1) 一般事故・交通事故の状況

(単位：件)

	平成26年度	平成27年度	増減
交通事故	3	5	+2
一般事故	24	33	+9

(2) 非行事故件の状況

(単位：件)

	平成26年度	平成27年度	増減
小学校	7	5	-2
中学校	7	6	-1
計	14	11	-3

5 児童生徒の安全確保

(1) 不審者・不審電話件数

(単位:件)

	平成26年度	平成27年度	増減
不審者	61	52	－9
不審電話	0	0	0

(2) 千歳っ子見守り隊

各小学校に「千歳っ子見守り隊」を設置し、町内会やPTAの見守り隊ボランティアが児童生徒の見守り活動を行っています。

(単位:人)

	平成26年度	平成27年度	増減
見守り隊員数	911	901	－10

(3) 子ども110番の家

子ども達が不審者、事件等に遭遇したときに、助けを求める場所として、各小学校が校区内の商店や事業所などに協力を呼びかけ、「子ども110番の家」を設置しています。

(単位:件)

	平成26年度	平成27年度	増減
登録件数	1,140	1,115	－25

6 青少年指導人数

青少年指導センター専門指導員による青少年の指導人数

(単位:人)

	平成26年度	平成27年度	増減
未就学	0	0	0
小学生	37	18	－19
中学生	23	26	＋3
高校生	92	58	－34
その他学生	4	0	－4
有職少年	0	6	＋6
無職少年	0	0	0
成人	0	0	0
合計	156	108	－48

※指導内容は、自転車の二人乗りが42人と最も多く、次いで川遊び38人、路上遊び等18人、不健全娯楽14人などとなっている。

V 社会教育

〔1〕生涯学習・社会教育の主な施策

いつでも、どこでも、だれもが学びあえる仕組みづくりの推進	・「千歳学出前講座」による自主的学習活動支援 ・市民活動交流センター「ミナクール」運営団体との連携強化による「まちづくり」の人材や団体の育成と活動の支援 ・「学校支援地域本部事業」による地域の教育力の活用
社会の変化や今日的課題などに対応した、様々な学習機会の充実	・「市民教養セミナー」、「若返り学園」、「高星大学」、「高星大学大学院」等の生活に密着した学習機会の提供 ・子どもの発達段階に応じた知識の習得や情報交換の場、家庭教育に関する男性の意識向上を図る機会の提供
市民ニーズに対応し、安全で快適に利用ができる社会教育施設の充実	・スポーツセンター・市民文化センター、市民ギャラリー、市立図書館、千歳公民館、青少年会館の設備更新による機能の向上
多様な文化鑑賞機会の充実と文化活動の支援	・市民文化センターや市民ギャラリーにおける催事の開催により、文化・芸術に触れる機会の提供 ・文化活動の担い手となる文化芸術活動団体・サークルの育成と活動支援 ・活動成果を発表する機会の充実
文化財の保護と継承	・国指定史跡「キウス周堤墓群」の保存・活用に向けた取組及び構成資産として世界遺産登録を目指す共同事業の推進 ・千歳の歴史・文化に直に触れて学び、文化財の大切さを理解する機会の提供 ・市指定無形民俗文化財の郷土芸能やアイヌ文化の伝統芸能・工芸技術の保存と次世代への継承活動の支援
地域における各種スポーツ活動の活発化と団体の育成	・市民が気軽に参加できる各種スポーツイベントや教室の充実 ・スポーツ活動を支援する指導者や団体の育成 ・各界のプロ選手などを招いて、「千歳ジュニアスポーツフェスティバル」を開催するなど、子どもたちのスポーツ活動の支援
思いやりの心とチャレンジ精神を育む青少年の健全育成活動の推進	・青少年の体験学習機会の充実を図る「チャレンジ教室」の実施や「子ども活動支援センター」の活用

〔2〕社会教育委員・公民館運営審議会委員

1 社会教育委員

氏 名	所 属 団 体
高 羅 正 次	千歳市校長会
北 野 敬 和	千歳市校長会
阿 部 正 行	北海道千歳高等学校
長谷川 誠	千歳科学技術大学
五十嵐 隆子	千歳市女性団体協議会
橋 本 純 子	千歳市PTA連合会
吉 田 修 二	千歳市文化団体連絡協議会
西 本 隆 史	(公財)千歳市体育協会
河 村 慶 昭	千歳市町内会連合会
伊 林 敏	千歳市子ども会育成連合会
野 島 佳 代 子	みんなで、ひと・まちづくり委員会
綱 引 顕 夫	千歳市スポーツ少年団
三 上 幸 男	千歳市スポーツ推進委員協議会
石 津 のりこ	公民館教室
釣 晴 彦	千歳市退職校長会

(平成28年7月1日現在)

2 公民館運営審議会委員

氏 名	所 属 団 体
高 羅 正 次	千歳市校長会
五十嵐 隆 子	千歳市女性団体協議会
橋 本 純 子	千歳市PTA連合会
吉 田 修 二	千歳市文化団体連絡協議会
西 本 隆 史	(公財)千歳市体育協会
河 村 慶 昭	千歳市町内会連合会
伊 林 敏	千歳市子ども会育成連合会
綱 引 顕 夫	千歳市スポーツ少年団
石 津 のりこ	公民館教室
釣 晴 彦	千歳市退職校長会

(平成28年7月1日現在)

〔3〕社会教育事業（平成27年度）

事業名	開催月日	会 場	対 象	趣 旨
千歳学出前講座	通年 433件	公共施設等	市民等 5名以上の団体 14,283名	市民と市民の学びあいによる学習 機会の充実や交流の活性化を図 るとともに、市民と行政が情報の共 有をもとに、協働して生涯学習によ るまちづくりを推進する。
学校支援地域本部 事業	5月～3月	各支援対象校等	市民 支援対象校 17校	市民が自らの資格や技能、学んだ 成果を活用し、学校を核とした地 域活動に生かせる仕組みや体制 をつくり、学校の支援ニーズに応じ てボランティア活動の機会を提供 する。
市民教養セミナー	7月～3月 年6回	北ガス文化ホール （千歳市民文化 センター）	市民 402名	社会環境の変化に対応し、市民の 学習ニーズに応え、自主的に取組 む機会を提供する。
英会話教室	10月～11月	北ガス文化ホール （千歳市民文化 センター）	高校生以上 26名	身近な外国語である英語を通じて 国際理解と国際感覚の涵養を図 り、国際性豊かな人材を育成す る。英会話教室は市民団体との協 働により実施。
英語暗唱コンテスト	10月24日	北ガス文化ホール （千歳市民文化 センター）	中学生以上 46名	
パソコン講習会	5月～2月 年43講座	市民ギャラリー IT講習室	市民 265名	市民団体との協働により、情報化 に積極的に対応できるようパソコン の操作技術の習得機会を提供す る。
成人式 「はたちのつどい」	平成28年 1月10日	北ガス文化ホール （千歳市民文化 センター）	新成人 対象者1,231名 参加者 0,721名	新成人の門出を祝うとともに、社 会人としての自覚と社会での関 わりや果たすべき役割の認識を高 めてもらう契機とする。
千歳高星大学	4月～12月 （2年制）	北ガス文化ホール （千歳市民文化 センター）ほか	60歳以上の 市民46名	豊かで生きがいのある人生を創造 できるよう組織的な学習機会を提 供する。
千歳高星大学大学院	4月～12月 （2年制）	北ガス文化ホール （千歳市民文化 センター）ほか	千歳高星大学 を卒業した市民 26名	高星大学で学んだことを基礎に、 郷土千歳への理解を深め、充実し た人生を創造するための学習機 会を提供する。
千歳市若返り学園	5月～3月	北ガス文化ホール （千歳市民文化 センター）ほか	60歳以上の 市民431名	明るく健やかに豊かで生きがい のある生涯を送るために必要な学習 機会を提供する。

事業名	開催月日	会 場	対 象	趣 旨
ママさん教室	①5月～7月 ②9月～11月	北ガス文化ホール (千歳市民文化センター)ほか	乳幼児の子をもつ母親 ①28名 ②23名	子育て中の母親たちを対象に、子供の発達段階に応じた育児知識の習得と情報交換の場を提供するとともに、地域で子育てを支援する人材を育成・活用する。
家庭教育セミナー	①07月10日 ②11月21日	北ガス文化ホール (千歳市民文化センター)	市民 ①264名 ② 90名	子育て中の親に限らず、多くの市民に、家庭教育について考える機会を提供し、地域における家庭や地域の教育力向上を図る。
男性の子育て講座	①12月5日 ②02月6日	総合福祉センター ほか	父親と子 ①15組 ②5組	講義や実践を通じて父親としてのあり方や子どもとの関わり方を学び、男性の家庭教育への参画促進を図る。
社会教育関係団体	通年		市民 357登録団体	市民の自主的な学習活動や社会参加活動を支援するために活動団体を登録し情報提供する。
フレンドリーコンサート 千歳合唱祭	6月28日	北ガス文化ホール (千歳市民文化センター)	市内合唱団体 9団体186名	合唱を通じて技術の向上と文化活動の振興を図るとともに、市民へ芸術鑑賞の機会を提供する。
千歳市民文化表彰	11月4日 (贈呈式)	ホテル グランテラス千歳 (贈呈式)	1個人 1団体	顕著な功績があった個人・団体等を表彰し、市の文化の向上・振興を図る。
子ども活動支援 センター	通年	教育委員会 生涯学習課内	ボランティア 登録者3名	青少年の奉仕活動・体験活動の機会の充実を図るため、情報提供やコーディネートなどを行い、青少年活動の推進を図る。
チャレンジ教室	①体験年8回 ②出前講座 年3回	教育委員会 会議室ほか	小・中学生 ①166名 ②095名	ものづくりなどを通して体験活動の機会を提供するほか、地域で子ども活動を支援する人材を育成・活用する。
千歳市・指宿市 青少年相互交流 事業	① 8月 6日 ～ 9日 ②12月25日 ～28日	千歳市⇄ 鹿児島県指宿市	小学校6年生 16名	未来ある子どもたちの交流を通して姉妹都市の友好関係の発展を図る。
イングリッシュキャンプ	10月11日	キウス周堤墓群、 東千歳中学校	小学5・6年生 35名	ALTを講師として千歳市にまつわるクイズやゲームを通じて英語に興味を持つ機会を提供する。

〔4〕社会教育施設

1 千歳市立図書館

(1) 施設の概要

所在地 千歳市真町2196番地の1 電話0123-26-2131

開設 昭和63年2月1日

建築構造 鉄筋コンクリート及び鉄筋鉄骨コンクリート造併用構造 地上2階地下1階

敷地面積 13,062.08㎡

建築面積 2,233.87㎡

延床面積 1階 2,130.25㎡

2階 380.14㎡

地階 305.19㎡

合計 2,815.58㎡



(2) 沿革

昭和25年6月に札幌CIE(札幌民間情報教育局)図書館千歳分館として図書2,100冊の寄贈を受け発足しました。29年、千歳公民館の開館に伴い、公民館の一室に図書室として移り、37年には千歳市民会館内に移転し、名称も公民館図書室となりました。その後、46年には、千歳公民館が新築開館したことに併せて、市民図書室と改称されました。

49年に市立図書館建設運動準備会が開催され、これを機に市内各団体や個人から数多くの図書が寄贈され、図書室はめざましく充実し、その結果、51年4月に待望の市立図書館が誕生しました。53年から図書館分室を3か所設置(平成6年度閉室)しましたが、その後、図書室の利用者数、蔵書の増加によって狭隘化したため、現在の場所に新築することが決定しました。60年度基本設計・実施設計を経て、61年7月に工事着工、62年11月竣工し、63年2月に開館し、平成6年4月には待望の移動図書館車「ブツくん」が運行を開始しました。21年4月からは、2代目の「ブツくん」が運行し、現在は市内42か所のステーションを巡回しています。

インターネットの普及により、13年1月に図書館ホームページを開設しました。16年4月に開設した千歳駅市民サービスセンターにおいて図書の取次ぎを開始し、翌17年2月には3支所においても図書の取次ぎを、同年4月からはインターネットによる図書の予約受付を開始しました。

19年4月からは、民間による経営ノウハウを活用し、サービスの向上、経費削減や運営の効率化を目的に、指定管理者制度を導入しました。現在の指定管理者は、株式会社山三ふじやです。20年5月に千歳市出身の作家「畔柳二美」の資料常設展示コーナーを、22年7月に郷土史家「長見義三」の資料常設展示コーナーを開設しました。

25年5月からは、市内の各小中学校に学校司書を配置し、学校図書館の管理・運営を支援しています。

(3) 運営方針

- ・市民の声を大切にし、市民と協働して創る図書館
- ・市民の求める資料、情報に応えることができる図書館
- ・市民生活や地域の要求課題に役立つ図書館
- ・温かさとやすらぎが感じられる図書館
- ・子どもへのサービスを重視する図書館
- ・高齢者、障がい者へのサービスを重視する図書館
- ・市内のどこに住んでも、だれにでも利用しやすい図書館

(4) 事業実績(27年度)

事業名	開催月日	入場者(参加者)数
上映会	4月～3月(23回)	253人
古典文学読書会	4月～3月(24回)	234人
乳幼児読書普及事業	4月～3月(10回)	595人
おはなし会(5団体)	4月～3月(75回)	1,311人
市民読書グループ支援	毎週火曜日(35回)	138人
こどもの読書週間記念事業	4月25日	95人
童話創作講座	6月～11月(5回)	31人
子育て総合支援センター読み聞かせ	6月～3月(6回)	437人
読書スタンプラリー	7月～8月	136人
手作り絵本教室	7月～8月(5回)	103人
こども読書推進事業	8月9日、12月20日	66人
千歳市民文芸合評会	9月14日	13人
ふるさとポケット協賛事業	9月27日	340人
読書週間記念事業・図書館まつり同時開催	10月31日	469人

(5) 利用案内

ア AV コーナーは、LD や DVD・CD を主体とし、音と画像、映像による資料を個人で視聴できます。収容人員は19ブース・25名で、ソフト数は全部で11,794タイトルを所蔵しています。

イ AV 室は、図書館の行う比較的多人数の主催行事(講演会、映画会、おはなし会等)を行う部屋で、収容人員は約100名。

ウ 一般閲覧室は、参考図書コーナー、閲覧席、軽読書席、書架を配置し、12万冊を収蔵しています。

エ 児童閲覧室は、ヤングアダルトコーナー(小学校高学年、中学生向)、閲覧席、軽読書席、書架、おはなしコーナー(読み聞かせ、紙芝居等)があり、4万冊を収蔵しています。

オ 新聞・雑誌コーナーは、軽読書のコーナーで新聞、雑誌、パンフレット等を設置。

カ 閉架書庫は10万冊を収蔵しており、書架はスチール製移動書架を設置しています。

キ 会議室は、読書会等の主催事業、来客用応接室に設置され、収容人員は約60名。

(6) 図書状況

27年度	開館日数	貸出人数	一日平均 貸出人員	貸出冊数	一日平均 貸出冊数	登録者数	市民一人当たり 貸出冊数
	337	127,747	379	701,665	2,082	1,936	7.40

(7) 蔵書冊数

27年度	分類	総記	哲学	歴史	社会科学	自然科学	工業技術	合計
	冊数	6,710	7,915	20,135	31,527	18,969	18,142	294,319
	分類	産業	芸術	語学	文学	AV資料	その他	
	冊数	7,203	19,254	4,214	109,560	11,794	38,896	

(8) 分類別貸出冊数

27年度	分類	総記	哲学	歴史	社会科学	自然科学	工業技術	合計
	冊数	6,230	20,919	32,524	37,541	36,192	89,449	701,665
	分類	産業	芸術	語学	文学	AV資料	その他	
	冊数	14,947	41,735	6,502	222,724	5,735	187,167	

2 千歳市立千歳公民館

(1) 施設の概要

所在地 千歳市真町176番地の3 電話0123-23-2740

開設 昭和46年4月10日

建築構造 鉄筋コンクリート造 地上2階

敷地面積 2,930.50㎡

建築面積 750.44㎡

延床面積 1,573.88㎡

会議室 5室 23.46㎡～68.40㎡

和室 1室 44.40㎡

講習室 1室 54.00㎡

大集会室 1室526.93㎡



分 館

分館名	延面積	開館年月日	備考
泉郷分館	353.16㎡	昭和24.4.1	H26改築
協和分館	108.54㎡	昭和24.10.1	S48改築
長都分館	358.02㎡	昭和25.5.10	S59増築
新川分館	215.30㎡	昭和28.8.18	H16 新川連合会館新築
中央分館	609.87㎡	昭和30.11.1	H11コミセン併設
幌加分館	124.21㎡	昭和36.11.1	S56改築
根志越分館	223.56㎡	昭和37.9.24	S55改築
東丘分館	149.85㎡	昭和37.11.1	S57改築
釜加分館	608.68㎡	昭和38.3.1	H9コミセン併設
駒里分館	268.92㎡	昭和43.10.1	S63増築
長都開拓分館	169.29㎡	平成7.4.1	

(2) 沿革

昭和22年に千歳小学校の一部を借り新設し、29年には東雲町に独立した公民館を開設しました。

37年には、市民会館の落成に伴い、市民会館内に公民館が併設され、農村地区に設置されていた各公民館は分館と改称されました。その後、46年4月に現在地に新築開館し、現在に至っています。平成20年4月からは、民間による経営ノウハウを活用し、サービスの向上、経費削減や効率化を目的に、指定管理者制度を導入しました。現在の指定管理者は公益社団法人千歳市シルバー人材センターです。

(3) 運営方針

ア 生きがいのある豊かな生活を送るための学習機会の充実

- ・生きがいを持って強く生きるための学習活動の促進
- ・多様な生活課題に対応し人生経験を生かした実践的な学習機会の充実

イ 豊かな経験や学習の成果を生かした社会参加の促進

- ・高齢者の活力を地域社会に生かすボランティア活動の促進
- ・地域での世代間交流と生活文化の伝承活動の促進

ウ 学ぶ意欲を高め社会参加を促進する学習環境の整備

- ・高齢者の学習活動と社会参加を支援するコーディネート機能の整備
- ・地域での主体的な学習活動の奨励と支援体制の充実

(4) 公民館教室開講状況(平成27年度)

	昼間教室		夜教室	
	教室名	人員(名)	教室名	人員(名)
千歳公民館	フラワー・アレンジメント	12	フラメンコ	16
	太極拳	30	ヨガ入門	25
	実践英会話	26	フラダンス	17
	やさしいフォークダンス	12	英会話中級	11
	やさしい英会話	24	英会話初級	26
	うたごえ教室	26	タップダンス	5
	アトマナンド・ヨガ入門	54	きもの着付	16
	てり子とマークの英会話(初級)	22	サルサダンスとスペイン語	8
	囲碁	20	てり子とドゥルーの英会話(中級)	12
	リンパセラピー	16	エアロ&ピラティス	24
	ZUMBAGOLD(前期)	57		
	ZUMBA(後期)	56		
	茶道(前期)	12		
	茶道(後期)	11		
	三味線初級	11		
	三味線中級	12		
	津軽三味線	10		
市民文化センター	ハワイアンダンス	17	ストレッチ体操	34
	ふっくらパン	16	社交ダンス	36
	3B体操	25		
	さわやか健康体操	40		
	やさしい基本ストレッチ体操	40		
	コンディショニング	15		
	陶芸	9		
市民ギャラリー	粘土工芸	17	書道(夜)	28
	書道(昼)	27		
	絵画(油絵)	15		
	絵手紙	26		
昼間教室 合計		658	夜間教室 合計	258
総計41教室916名				

(5) 公民館利用状況(平成27年度)

公 民 館			分館(11分館の合計)		
	利用件数	利用者数		利用件数	利用者数
青少年	0	0	青少年	94	1,650
社会学級	0	0	社会学級	115	1,950
婦人学級	0	0	婦人学級	8	118
文化関係	1,139	11,681	文化関係	271	7,571
スポーツ	343	10,313	スポーツ	0	0
集会・会議	35	1,410	集会・会議	276	3,398
その他一般	333	6,257	その他一般	56	653
計	1,850	29,661	計	820	15,340

3 千歳市民文化センター

(1) 施設の概要

所在地 千歳市北栄2丁目2番11号 電話0123-26-1151

開設 昭和59年4月1日

建築構造 鉄骨鉄筋コンクリート造地上4階地下2階

敷地面積 16,654.27㎡

建築面積 6,870.10㎡

面積 13,015.68㎡



(内訳)

地階1 74.84㎡(電気、機械室)

地階2 1,274.20㎡(電気、機械室)

1階 4,260.84㎡(リハ-サル室、プラネタリウム、控室)

2階 2,973.62㎡(中ホール、調理教室、美術工芸室、陶芸教室、和室、多目的室)

3階 2,763.00㎡(大ホール、視聴覚室、中会議室)

4階 1,396.26㎡(大会議室、展示ホール、小会議室)

塔屋 272.92㎡(電気、機械室)

(2) 沿革

昭和54年千歳市開基百年記念事業の一環として、文化活動、芸術・文化の鑑賞そして生涯を通じた学習活動の拠点となる施設の建設が計画され、55年度に実施設計開始、56年6月に着工し、3か年工事で58年12月1日竣工、59年4月21日に全館供用開始しました。

平成17年4月から1年間をかけてリニューアル工事を行い、18年4月7日より全館供用を再開しました。

25年1月から3月にかけて大ホール、26年1月から3月にかけて中ホールの音響・照明設備の改修整備を行い、舞台演出の技術革新に対応するデジタル化された最新の音響・照明設備を導入しました。

施設は、大ホール(客席1,275)、中ホール(客席412)、会議室、視聴覚室、調理教室等の研修室、プラネタリウムなどを備え、開館以来、舞台公演、講演会、各種大会のほかサークル活動に広く活用されています。

19年4月からは、民間業者による経営ノウハウを活用し、サービスの向上、経費の削減や運営の効率化を目的に、指定管理者制度を導入しました。現在の指定管理者はセントラルリーシングシステム株式会社です。

(3) 運営方針

市民の主体的な学習活動を助長し、創造的な芸術文化活動を奨励するため施設のもつ教育的機能を十分発揮するとともに、市民が気軽に利用できる施設として、サービス向上に努めています。

(4) 主催・主管事業(27年度)
自主文化事業(19事業)

事業名	開催日	入場者数	内 容
山内恵介 熱唱ライブ2015	6月14日	737	演歌歌手の山内恵介デビュー15周年記念のライブコンサート
サヌック! アローイ! タイ料理教室	6月28日	19	タイ、バンコク出身のスジンタラ・ノイ氏を迎えてヘルシータイ料理教室を実施
NHK「新・BS日本のうた」	7月16日	934	公開番組: 主な出演者、水前寺清子、鳥羽一郎、野村将希、山本譲二、他8名
ちとせ子ども音楽劇場 「ピーターとオオカミ」	7月23日	619	0歳児から入場できる子どもと大人のためのコンサート
キラキラコンサート	7月26日	1,424	市内、小・中・高生による吹奏楽、リコーダーの合同演奏会
千歳寄席	8月23日	218	「桂才賀」「三遊亭喜楽」「とんぼまさみ」出演による寄席
札幌コンサートin千歳	9月13日	745	管弦楽札幌交響楽団によるオーケストラコンサート
オーロラ上映&トークライブ 「Aurora Wonder」	10月2日 ～4日	328	プラネタリウム内でのオーロラの映像上映と中垣哲也の講演
短編映画上映会 「帰っておいで」	10月10日	165	「第25回いらつく文学賞」受賞作品「帰っておいで」の上映
文化祭2015 ～カルチャーミックス～	10月31日 ～11月3日	410	各種カルチャースクールの体験会を開催
松浦武四郎の足跡展	12月3日 ～12月6日	273	「幕末の探検家 松浦武四郎」を多年にわたり研究、取りまとめた資料92点展示
クリスマスロビーコンサート	12月12日	81	千歳ジュニアオーケストラの演奏によるクリスマスロビーコンサートを実施
オーケストラ体験教室	12月12日	22	オーケストラのリハーサル鑑賞及び指揮者体験を実施
クリスマスファミリーコンサート	12月20日	578	千歳フィルハーモニーオーケストラと千歳ジュニアオーケストラ総勢122名が演奏
プラネタリウム体験教室	1月9日	14	高校教師佐藤先生の宇宙の話「土星の輪を見よう」、プラネタリウムの操作体験
ロビーコンサート	2月11日	105	ホッカイドアンサンブルファクトリーのロビーコンサート
夢舞台2016 高校演劇 千高&北陽	2月14日	239	文化教育の育成と幅広い市民に演劇の楽しさを楽しんでいただくことを目的とした公演
おたのしみ人形劇	3月5日	151	おたのしみ劇場ガウチョスによるマリオネット公演
野菜を使ったケーキ作り&ベジタブル講座	3月6日	20	野菜ソムリエの小川理代さんを迎えジャガイモのヘルシーチーズ&ベジタブル講座

(5) 利用案内

ア 大ホール舞台は、間口18m、高さ9m、奥行15.5mで、特に音響装置機能の充実を図り、走行式反射板(電動)を採用するなど全国有数の音響機能を有しています。

昭和60年4月には、札幌交響楽団により黒沢明監督「乱」の音楽収録が行われました。

イ 中ホール舞台は、間口11m、高さ5.5m、奥行10mで、音響反射板を設置しています。

ウ プラネタリウムは、ドーム直径11.3m、座席数は120席。

エ 視聴覚室は、ビデオプロジェクター・音響装置を備えており75人程度の研修が可能。

オ 大会議室は、音響装置を備えており移動ステージを組むことにより約200席の小ホールとしても使用できます。

カ 美術工芸教室には、イーゼル・石膏像・人台などが用意されており、利用人数は約30人となっています。

キ 陶芸教室は、土練機、電動ロクロ等の機器を備え、約20人用の作業室と作品の乾燥室、別室には都市ガス焚きの窯を設置しており、一連の作業が行えます。

(6) 利用状況(27年度)

施設区分		大ホール等	中ホール等	会議室等	プラネタリウム	合計
利用件数		936	307	3119	131	4,493
利用 件数 の内 訳	式典	13	7	24		44
	講演・集会	81	49	357		487
	会議・研修等	150	51	1,504		1,705
	邦楽・邦舞	49	42	250		341
	洋楽・洋舞	541	128	427		1,096
	演劇	49	10	4		63
	映画	1	5	3		9
	公民館教室	0	0	295		295
	プラネタリウム				131	131
	展示・その他	52	15	255	0	322
利用人数		81,932	31,550	83,420	2,212	199,114

4 千歳市民ギャラリー

(1) 施設の概要

所在地 千歳市千代田町5丁目7番地の1 電話0123-42-5214

開設 平成7年4月15日

建築構造 鉄骨鉄筋コンクリート造地上4階地下1階

敷地面積 746㎡

建築面積 587㎡

延床面積 2,418㎡

(内訳)

地階1 83㎡(空調・給排水・ボイラー室)

1階 573㎡(展示ホール1:260㎡等)

2階 530㎡(展示ホール2:261)等)

3階 594㎡(研修室1:67㎡、研修室2:85㎡、
研修室3:180㎡、事務室等)

4階 594㎡(市民活動交流センター「ミナクール」、女性団体協議会、文化団体連絡協議会)

塔屋 44㎡(エレベーター機械室)



(2) 沿革

平成7年4月、千歳市4期総合計画「人間性と個性を培う“教育文化都市・ちとせ”」の一環として、市民が感性や情操を高め、心豊かで潤いのある地域文化の創造を目指して、創作活動や鑑賞等と芸術文化活動に積極的に参加できる機会の拡充と、発表活動等に対して支援の充実を図るため開館しました。

19年4月からは、民間業者による経営ノウハウを活用し、サービスの向上、経費削減や運営の効率化を目的に、指定管理者制度を導入しました。現在の指定管理者はセントラルリーシングシステム株式会社です。

(3) 運営方針

市民文化センターを補完する施設として、市民の芸術文化の拠点となるよう、美術工芸等の創造活動や発表・鑑賞機会の充実に努めています。

(4) 自主文化事業(27年度) 10事業

事業名	開催日	入場者数	内 容
志村貞雄油彩展	6月17日 ～21日	143	千歳市の収蔵作品である、志村貞雄の油絵作品20点を展示
第6回フォトネットソルト 写真展	7月1日 ～5日	396	市内在住のアマチュア写真家による作品展示
嶋田忠 写真展 ～森に生きる～	8月6日 ～11日	139	写真家、嶋田忠の写真作品40点を展示
佐藤国男 版画展	11月11日 ～15日	269	佐藤国男の宮沢賢治シリーズ28点と松居スーザンの作品19点を展示
手作りクリスマスリース教室	11月22日	23	オリジナルクリスマスリースの作成教室
第9回北海道現代具象展	11月25日 ～29日	216	多くの作家の作品を展示
手作りしめ縄教室	12月13日	30	一般参加者による手作りのしめ縄作り教室
収蔵作品展 「菊地又男、関川弘道油彩展」	1月21日 ～24日	122	菊地又男と関川弘道の油彩画作品の展示
嶋田忠 収蔵写真展	2月17日 ～21日	255	写真家、嶋田忠の写真作品36点を展示
第20回千歳北陽高校 校外展	3月12日～ 3月15日	229	北陽高校の文化系部活動(美術部、書道部、写真部等)の作品を展示

(5) 利用案内

ア 展示ホールは、1階260㎡、2階261㎡の2室があり、市内初の本格的ギャラリーとして美術・書道関係の展示が行われています。

イ 研修室は、67㎡、85㎡、180㎡の3室があり、イーゼル・石膏像・人台などを備えています。

(6) 利用状況 (27年度)

施設区分		展示ホール	研修室等	合計
利用件数		237	436	673
利用 件数 の内 訳	研修・講習	6	284	290
	展示	203	0	203
	公民館教室	0	150	150
	その他	28	2	30
利用人数		17,613	5,031	22,644

5 千歳市民活動交流センター「ミナクール」

(1) 施設の概要

所在地 千歳市千代田町5丁目7番地の1

千歳市民ギャラリー4階

電話0123-24-0847

開設 平成18年8月1日

施設設備 打合せコーナー、交流スペース、談話室兼児童室、作業コーナー、
情報コーナー、掲示コーナー、図書コーナー、展示コーナー、相談窓口

利用時間 9:00～21:00(休館日:毎週月曜日、毎月最終金曜日、年末年始)

(2) 沿革

豊かな市民生活や活力ある地域社会を実現
するため、自主的な市民活動や交流を積極的
に推進することを目的に設置しました。

(3) 利用案内

対象:市民活動をしている団体や個人

使用料:無料(印刷機等一部有料)

(4) 所管課

教育委員会教育部生涯学習課



千歳市民活動交流センター
ミナクール

(5) 利用状況(平成27年度)

(単位:人)

総利用 者数	利用室別							
	打合せ コーナー	交 流 スペース	談話室兼 児童室	図 書 コーナー	作 業 コーナー	情 報 コーナー	展 示 コーナー	見学相談
12,719	6,085	1,587	1,284	14	1,767	716	598	668

6 千歳市青少年会館

(1) 施設の概要

所在地 千歳市東雲町1丁目10番地 電話0123-23-1945

開設 昭和44年12月1日

建築構造 鉄骨造一部2階建

敷地面積 704.60㎡

延床面積 498.96㎡

(内訳)

体育場 235.44㎡

研修室1号 38.43㎡

研修室2号 49.41㎡

和室 11.07㎡

事務室 15.30㎡



千歳市青少年会館

(2) 沿革

昭和44年12月、北海道百年記念地域事業として青少年が同じ世代の仲間とともに、自らが求めるスポーツや自由な活動を通じて、連帯性、協調性、責任感などを養い、青少年の心身の健全な発達及び地域青少年活動の振興を図ることを目的に建設されました。

平成9年6月には、学校適応指導教室「おあしす」が会館内に開設され、不登校児童生徒に対し、教育相談や集団活動における生活習慣や学習等について指導・援助を行うことに利用されています。

18年4月からは、民間業者による経営のノウハウを活用し、サービスの向上、経費の削減や施設管理の効率化を目的に指定管理者制度を導入しました。現在の指定管理者は株式会社クリーン開発です。

(3) 利用案内

対象 児童生徒及び学生、勤労青少年

使用料 無料

(4) 利用状況（平成27年度）

(単位:人)

総利用者数	利用者数			室別利用状況			
	勤労青少年	児童生徒	その他	体育室	集会室	研修室	その他
11,675	143	7,870	3,662	8,773	2,835	5,159	355

〔5〕文化財

1 施設概要

千歳市埋蔵文化財センター

所在地 千歳市長都42番地の1

面積 1,750㎡

開館 平成22年4月1日

主要施設 常設展示室、企画展示室、レクチャールーム、体験学習室

常設展示の見学 月曜～金曜日（祝日及び12月29日から1月3日を除く）及び毎月第2日曜日の午前9時から午後5時まで、無料



千歳市埋蔵文化財センター

2 沿革

先人が時代とともに築いてきた文化は、現代の私たちの生活の基礎となっています。千歳には豊かな自然とともに数多くの文化財が残され、時を超えたメッセージを伝えてくれます。遺跡は主に千歳川やその支流、長都川、ユカンボシ川流域などで発見され、平成28年4月までに296遺跡にのぼり、国指定史跡2カ所、国指定重要文化財3件、市指定史跡1カ所、市指定有形文化財3件があります。

埋蔵文化財以外では、近世から現代までの歴史、文化を伝える有形文化財3件、無形文化財1件と、アイヌの人々が伝承してきた無形文化財1件が市の文化財に指定されています。また、アイヌの古式舞踊は、国の重要無形民俗文化財にも指定されています。

千歳市埋蔵文化財センターは、文化財の保護と活用の拠点施設として、平成22年4月、旧長都小中学校を利用して業務を開始しました。遺跡からの出土品が市民に公開されています。

3 国指定史跡

（1）ウサクマイ遺跡群 千歳市蘭越（昭和54年5月23日指定） 管理団体：千歳市

市街地から約5km、支笏湖に向かう途中に、名水百選に選ばれた湧水を源とする内別川が流れています。全長わずか2.5kmの小さな川ですが、約7,000年前の縄文時代早期からこの川を中心に人々が暮らし始めました。以後、続縄文、擦文、アイヌ文化期から近代に至るまで、川辺には先人たちの足跡が数多く残され、現在は川の両岸に残る21カ所の遺跡を中心に146haに及ぶ広大な範囲が史跡として保護されています。



ウサクマイC遺跡見学コース入口

しゅうていぼぐん
(2) キウス周堤墓群 千歳市中央(昭和54年10月23日指定) 管理団体:千歳市

周堤墓とは、今から約3,200年前の縄文時代後期に造られた、北海道に固有の集団墓です。地面を円形に掘り下げ、周囲に環状に土を盛った区画の中に墓穴を掘り、遺体を埋葬しました。キウス周堤墓群には全部で8基の周堤墓があります。大きなものは直径が75mもあり、他に例のない規模を誇る縄文時代最大級の集団墓です。現在でも地表からその形を見ることができるまとまった周堤墓はここにしかない貴重なものとして、4.9haが1979年に国の史跡に指定されました。



キウス周堤墓群(1号周堤墓)

4 国指定重要文化財

どうぶつがた ど せいひん
(1) 動物形土製品 昭和51年美々4遺跡出土 市所有(昭和54年6月6日指定)

頭、首、胴そして指の刻まれた手足を持ち、カメ・水鳥・ムササビ・アザラシなどにも見える不思議な姿をしています。全長31.5cm、最大幅16.2cm、最大厚9.8cm、中は空洞で全身に美しい模様が描かれています。約2,500年前の縄文時代晩期に作られたもので、埋蔵文化財センターに複製品を展示しています。

ど めん
(2) 土面 昭和61年ママチ遺跡出土 国所有(昭和63年6月6日指定)

ママチ川のほとりで発掘した約2,300年前の縄文時代晩期のお墓から発見されました。縦横18cmで、ちょうど、お祭りの露店で売っているお面と同じくらいの大きさで、口と目の部分がくり抜かれ、静かな死の表情を表しています。当時、この土面は墓標に付けられていたとも考えられています。実物は江別市の北海道立埋蔵文化財センターに展示されており、複製品を埋蔵文化財センターに展示しています。



動物形土製品



土面

(3) 北海道美々8遺跡出土品 千歳市美々 道所有(平成17年6月9日指定)

新千歳空港の滑走路建設工事の際に、美沢川左岸の美々8遺跡(低湿部)の発掘調査によって見つかった、アイヌ文化の木製品を中心とする1,164点の出土品です。出土品は北海道立埋蔵文化財センターに保管され、一部が展示されています。

5 国指定重要無形民俗文化財

(1) アイヌ古式舞踊 千歳アイヌ文化伝承保存会(平成6年12月21日構成団体に指定)

アイヌとはアイヌ語で「人間」を意味する言葉です。アイヌの人々は、豊かで厳しい大自然の中で独自の生活を営んでいました。自然から学びとった知恵や工夫、習慣や信仰は親から子へと大切に伝えられ、その一つに「舞踊」があります。千歳地方で伝承されている「ホリッパ」「ハラルキ」「ヤィサマ」などの歌と踊りの中には、素朴な形のものや他の地方には見られない千歳独自のものも残されています。



6 市指定文化財

かまかじんじゃべんざいてん み ず し

(1) 千歳神社境内釜加神社弁財天御厨子 有形文化財 千歳神社所有

(昭和46年9月16日指定)

かつて千歳一帯はアイヌ語で「大きくぼみ」という意味の「シコツ」と呼ばれていました。文化2(1805)年、シコツ場所担当の箱館奉行調役並 山田鯉兵衛嘉充(やまだりへえ よしみつ)が箱館奉行の羽太正頼(はぶとまさやす)に新しい地名を付けたいと願い出たところ、当時シコツにたくさんいた鶴にちなみ、「鶴は千年」の「千年」をとって「千歳」と改名されました。その由来が弁財天を収めていた厨子の後ろに記されています。

埋蔵文化財センターに複製品を展示しています。



釜加の厨子(表)



厨子背面に書かれた由来文

(2) 蕨手刀^{わらびてとう} 有形文化財 市所有(昭和55年7月21日指定)

昭和38年、蘭越の内別川右岸のウサクマイA遺跡付近から見つかった二振りの鉄製の刀。写真は、漆塗り鞘に入った状態で発見された大変珍しい一振りで、刀の長さは推定56cm。柄の部分の形に特徴があり、春の山菜のワラビに似ていることから「蕨手刀」と呼ばれています。

この型の刀は、1,300年ほど前の東北地方の遺跡から数多く発見されており、古代の北海道と東北の交流を示す大切な資料となっています。写真の刀と鞘は埋蔵文化財センターに展示しています。



蕨手刀

(3) 美々貝塚 史跡 千歳市美々758番地 (昭和52年4月23日指定)

およそ1万2千年前、粘土を焼いて作った器「縄文土器」が作られるようになりました。

当時は、やや寒冷な気候でしたが、その後、次第に温暖化が進み、氷河の溶けた水が海に流れ込むことで海水面が高くなりました。

その結果、海岸線は現在の苫小牧の海岸から17kmも平野の奥まで入り、現在の美々駅のあたりまでが海でした。

暖かな気候は山々を豊かな狩りの場に変え、海辺には多くの入江ができて良い漁場となりました。

美々では約6,000年前の縄文時代前期の人々がシジミを採集・調理し、貝殻を直径4m、高さ1.2mも積み上げた貝塚を残しています。昭和51年より公開展示しています。



美々貝塚

(4) 磨製石棒 有形文化財 市所有(昭和52年4月23日指定)

キウス周堤墓群4号周堤墓のお墓から見つかった石の棒。全長57cm、重さ710gで、全体が丁寧に磨かれ、両端には繊細な線によって模様が彫られています。黒い色調は重量感にあふれ、美術的にもたいへん優れています。約3,200年前の縄文時代後期に作られたもので、埋蔵文化財センターに展示しています。



磨製石棒

(5) 男性土偶^{どぐう} 有形文化財 市所有(昭和52年4月23日指定)

昭和38年、蘭越の内別川右岸のウサクマイA遺跡付近から見つかった板状の人形(土偶)。全長14.5cm、厚さ0.9cm。縄文時代晩期に作られたと考えられており、眉や鼻などの顔の表現がママチの土面とよく似ています。縄文時代の土偶は、ほとんどが女性をモデルにしているので、男性とはっきりわかるものとしては全国でも大変珍しいものです。

埋蔵文化財センターに展示しています。



男性土偶

(6) 駅通看板^{えきていかんばん} 有形文化財 個人所有(昭和52年4月23日指定)

明治5(1872)年、北海道開拓使は、函館と札幌の間に郵便事業を始め、毎月6回ずつ郵便物を運んでいました。当時、千歳で郵便局(郵便取扱所)となったのが、新保旅館であり、当時を伝える縦120cm、横94cmの看板が大切に保存されています。



駅通看板

いずみさと
(7) 泉郷獅子舞 無形文化財 泉郷獅子舞保存会(昭和54年10月25日指定)

市街地から北東へ車で15分ほど行くと、古くから獅子舞が伝えられている泉郷の農村地帯があります。

原野だった泉郷は、明治20(1887)年に開拓が始まりますが、獅子舞は富山県から入植した人々が同29年頃に伝えたと言われています。富山の古い舞と千歳で生まれた新しい舞は、毎年9月に泉郷神社に奉納されますが、その勇壮さは、今も人々の心をかきたてています。



泉郷獅子舞

(8) アイヌの伝統的芸能と工芸技術 無形文化財 千歳アイヌ文化伝承保存会
(平成5年5月20日指定)

千歳地方のアイヌの人々によって古くから伝承されてきた古式舞踊、ユカラやウェペケレの語りなどの伝統的芸能、イナウ作り・イカルカル(刺しゅう)・チタルペ(ゴザ編み)などの工芸技術の伝承保存活動が行われています。

千歳アイヌ文化伝承保存会を中心に行われている伝承保存活動の主な内容

歌と踊り: ホリツバ(輪踊り)・ハラルキ(鶴の舞)・ヤィサマ(即興の歌)・ウポポ(座り歌)

語 り: ユカラ(神謡・口承の英雄・神話伝説)・ウェペケレ(昔話)

祭 祀: カムイノミ(神様を迎える儀式)・イチャルパ(先祖の慰霊祭)

工芸技術: イナウケ(イナウ作り)・イクパスイ作りなどの男に伝わる技術
チタルペ(ゴザ)・刺繍やマトンプシ(鉢巻)作りなど女に伝わる技術

料 理: シト(団子)・シケレペ(キハダの実の料理)など



模様入りのチタルペ・刺繍が施された着物とマトンプシ



アシリチェップノミにつくられたヌサ(祭壇)

やませんてっきょう

(9) 山線鉄橋 有形文化財 市所有(平成11年8月24日指定)

北海道内で現在使用されているものとしては最古の鋼橋(イギリス型ピン結合トラス橋)であり、明治32(1899)年にイギリスから輸入され、北海道官設鉄道上川線の砂川・妹背牛間に「第一空知橋」として架けられました。大正12(1923)年に、支笏湖の王子製紙苫小牧工場専用鉄道(軽便鉄道「山線」)の橋「湖畔橋」として移設され、昭和26(1951)年の山線廃止後は道路橋として利用されていました。

平成7年から9年に大規模な改修工事を行い、近代建築遺産として恒久的な保存が図られました。現在は「山線鉄橋」の名で歩道橋として利用され、支笏湖の新たなシンボルになっています。



山線鉄橋

遺跡と埋蔵文化財の年表

時代区分		主な埋蔵文化財
本州	北海道	
近代	開拓	末広遺跡 (410年前) フレディヒのチャシ ペサのチャシ シュトクンネヒのチャシ アッテウシのチャシ
江戸	アイヌ	
織豊		
室町		
鎌倉		
平安	擦文	(800年前)
奈良	続縄文	千歳神社遺跡 末広遺跡 祝梅三角山D遺跡 祝梅竪穴遺跡
古墳		蕨手刀 (1,300年前) ふ化場1遺跡 ママチ高台遺跡
弥生		
縄文時代	晩期	(2,300年前) ママチ遺跡、梅川3遺跡 男性土偶、土面 動物形土製品
	後期	キウス周堤墓群、石棒
	中期	丸子山遺跡環壕 イヨマイ6遺跡
	前期	美々貝塚
	早期	
旧石器時代		(10,000年前) メボシ川2遺跡 祝梅上層遺跡 (20,000年前) 柏台1遺跡 祝梅三角山下層遺跡 丸子山遺跡

末広遺跡



擦文時代の竪穴式住居跡が102軒も発見された、道内でも屈指の遺跡です。

近世アイヌ期、縄文後期の資料も数多く出土しています。

男性土偶



蘭越の内別川右岸のウサクマイA遺跡付近から見つかった板状の人形(=土偶)です。眉や鼻などの顔の表現がママチの土面とよく似ています。縄文時代の土偶は、ほとんどが女性をモデルにしているので、男性とはっきりわかるものとしては全国でも大変珍しいものです。



美笛の熊送り場

支笏湖をつつむ豊かな森林地帯の岩陰に、キムンカムイ(山の神=ヒグマ)の頭骨が祭られていました。大自然の中で営まれてきたアイヌ文化の精神的な豊かさを示す祭場の一つです。



キウス周堤墓群

縄文時代後期末(約3,200年前)の集団墓地で、7基がまとまっています。最大のものは外径75m、内径34m、土手の高さが5.4mもあり、今も地表面で確認できるお墓としては日本最大です。国の指定史跡です。



磨製石棒

キウス周堤墓群で発見されました。長さは57cm あります。両端に刻みがつけられ、丹念に研磨された美しい石棒です。まじないやお祈りなどの道具ではないかと考えられています。



祝梅下層遺跡

美沢川流域遺跡群

周堤墓群のほか、集落跡や貝塚、動物形土製品など、数多くの遺構と遺物が発見された遺跡群です。



ママチ川丸木舟遺跡

市内朝日町の地下2m で発見された丸木舟です。長さ7.3m、幅50cm で堆積した地層から18世紀以前のものとわかります。



〔6〕公益財団法人千歳青少年教育財団

所在地 千歳市花園2丁目312番地 電話0123-42-3030
設 立 昭和57年3月12日

1 目的

青少年の健全育成を図るために必要な事業を行うとともに、水族館施設の管理運営に関する事業を行い、もって千歳市及び北海道における社会教育の振興に寄与すること。

2 主な事業内容

- (1) 青少年及び市民のための教育講座や体験教室の開催
- (2) 青少年団体の育成、助言、研修の実施
- (3) 水族館の設置、企画展示、各種体験等の実施(平成26年度から所管は教育委員会から観光スポーツ部になりました。)

3 サケのふるさと 千歳水族館 (旧「千歳サケのふるさと館」)

(1)施設の概要

所 在 地 千歳市花園2丁目312番地 電話0123-42-3001
開 設 平成6年9月10日
建築構造 鉄筋コンクリート造、一部鉄骨造地上3階地下1階
敷地面積 2,981.672㎡
建築面積 1,510.580㎡

(内訳)

地階 810.621㎡
1 階 1,249.822㎡
2 階 847.306㎡
3 階 84.488㎡



(2)沿 革

千歳川を遡上する親サケを捕獲する捕魚車(以下「インディアン水車」)は、世界に例を見ないユニークな施設であり、1896年に設置されました。このインディアン水車とその周辺を整備するウォーターフロント構想の中核となる「淡水魚水族館施設」として建設されました。

サケを中心としたサケ科魚類及び北方圏淡水魚の調査、研究に基づくその生態展示、並びに生態・産業・文化等の資料展示を行い、広く水産資源や河川に関する知識の啓発・普及を目的に水族館施設として社会教育事業の振興を図ります。

平成27年7月25日、「サケのふるさと 千歳水族館」としてリニューアルオープンしました。

(3)利用案内

淡水では日本最大級の水槽を有する水族館で、館内ではサケの仲間や北海道の淡水魚を中心に、世界各地の様々な淡水生物を観察することができます。また、サケの一生を紹介するサーモンムービーが上映されているほか、千歳川の水中を直接見ることでできる日本初の施設「水中観察ゾーン」があり、四季折々の千歳川の生き物たちを観察することができます。特に秋は、産卵のために遡上するサケの群れを見ることができ、千歳川にかかる水車橋から見えるインディアン水車によるサケの捕獲の様子とともに、千歳川独特の施設になっています。

(4)利用者数

平成27年度 291,850人

(5)入場料(平成27年度)

	個人	団体(10人以上)	障がい者	年間パスポート券	
				個人会員	法人会員
大人	800円	600円	400円	1,000円	10,000円
高校生	500円	400円	250円	1,000円	
小学生・中学生	300円	200円	150円	500円	
幼児	無料	無料	無料	—	

※年間パスポート券は、発行日から1年間有効。

※年間パスポート券(法人会員)による入館は、1回5名まで。

(6)開館

ア 開館期間:1月2日～12月28日、メンテナンスのため2月休館あり

イ 開館時間:9:00～17:00

4 教育事業(平成27年度)

事業名	開催月日	会場	対象・参加	趣 旨
サーモン・ツアー ～早起きは サーモンの徳～	10月10日 ～ 10月11日	サケのふるさと 千歳水族館	小学4～6年生 23名	水族館に宿泊しながら、サケクイズ大会やサケ調理教室、夜の水族館見学、千歳川での早朝サケ観察会、飼育体験など様々な角度からサケについて学習した。
サケふるセミナー	10月～12月 年8回	サケのふるさと 千歳水族館	293名	サケの採卵などの体験プログラムやサケ皮クラフトなどの工作プログラムを実施。
ジュニア・リーダー 講習会	年4回	北ガス文化ホール(市民文化センター)ほか	小学5年生 ～中学3年生 88名	子ども会の活性化を図るため、学校や地域で中心的な役割を担うリーダーを育成するとともに、集団生活を通して協調性を学ぶ。
石狩管内地域子ども会 シニア・リーダー研修会	9月19日	石狩市立 石狩小学校	シニア・リーダー 8名	石狩管内各市町村で活動しているシニア・リーダーが集まり、調理体験やレクリエーションなど様々な体験を通して子ども会活動を推進支援するリーダーとしての資質向上を図る。
シニア・リーダー 研修会	3月27日 ～28日	国立日高 青少年自然の家	シニア・リーダー 15名	シニア・リーダーが実施する各種行事や事業について、その企画立案・運営方法などを学び、他団体も含めた様々な事業への支援活動を担える力を養うことを目的に実施した。
シニア・リーダー交流会	①8月11日 ～12日 ②3月19日 ～21日	①恵庭市 ②道立深川 青年の家	シニア・リーダー ①03名 ②13名	道内各市町村から集まったシニア・リーダーが情報交換等を行い、交流を深め連携を強化することでリーダーとしての資質向上を図った。
自然教室	8月13日 ～15日	国立日高 青少年自然の家	小学4年生 ～中学3年生 44名	集団宿泊生活や野外活動、自然との触れ合いを通して団体生活の規律を身につける。
冬休み体験教室	1月7日 ～9日	国立日高 青少年自然の家	小学4～6年生 44名	冬季ならではの野外活動などにより子どもの自立と精神的成長を促し、集団宿泊生活を通して団体生活の規律を身につける。
体験学習	①7月05日 ②3月30日	サケのふるさと 千歳水族館 ほか	小学4～6年生 ①2名 ②3名	地域の食物の収穫及び調理体験として、①ハスカップ狩りとジャム作りを、②千歳産の卵を使ったプリンのほか、千歳の工場で作られたあんを使っていちご大福作りを実施した。
緑の村キャンプ大会	①7月18日 ～19日 ②7月25日 ～26日	青葉公園 ピクニック広場 ほか	小学4年生 ～中学3年生 ①94名 ②93名	仲間との宿泊生活、野外活動や自然探求を通して、協力し助け合い励まし合う仲間づくり、自然を愛する豊かな心の形成、他の地域子ども会との交流を目的に実施した。
ちとせの子ども クリスマスの集い	12月6日	日の出小学校	小学生 63名	シニア・リーダーつばさが中心となり、学校や学年の異なる子どもたちが、クリスマスにちなんだ創作活動やキャンドルサービス、プレゼント交換などを行い、相互の親睦を深めた。
ちとせっ子雪あそび	2月7日	サーモンパーク	小中学生 65名	冬期間の子ども達の健康増進と交流を図ることを目的として、雪上レクリエーションやゲームを行った。

〔7〕社会体育事業(平成27年度)

事業名	開催月日	会 場	対 象	趣 旨
卓球教室1	4月	武道館 アリーナ及び スポーツセ ンター第2体 育館	18歳以上 初心者 75名	卓球教室1では初歩的スキルを身につけ、ラリーが続くことで楽しいと感じてもらう。また卓球教室2では、さらなる知識と技術の向上を目的として実施。教室終了後も引き続き仲間で競技を継続し、心身の健康を維持、並びに、卓球の普及拡大を図る。
卓球教室2	9月	スポーツセ ンター第2体 育館	18歳以上 中級者 109名	
トランポリン教室 (5・6年生コース)	4月	スポーツセ ンター第2体 育館	小学 5・6年生 231名	トランポリンは、人間が空中に跳び上がりたいという欲求を十分に満たしてくれる運動で、トランポリンの楽しさと厳しさを習得し、健やかでたくましい心身の成長を図る。
トランポリン教室 (4年生コース)	6月～7月	スポーツセ ンター第2体 育館	小学 4年生 225名	
トランポリン教室 (3年生コース)	9月～10月	スポーツセ ンター第2体 育館	小学 3年生 228名	
トランポリン教室 (2年生コース)	10月	スポーツセ ンター第2体 育館	小学2年生 235名	
トランポリン教室 (1年生コース)	11月	スポーツセ ンター第2体 育館	小学1年生 231名	
弓道教室	6月～7月	武道館 弓道場	中学生以上 100名	弓道の基礎的な知識及び技能の概要を体得し、弓道の楽しさを理解すると共に健全な心身を養う。
ジュニア卓球教室	7月	スポーツセ ンター第2体 育館	小学生 203名	卓球の初歩的スキルを身につけさせ、楽しさを理解させることで、教室終了後も生活の中で実践していく習慣を身につけさせる。
キッズチャレンジ 4歳児教室	7月～8月	スポーツセ ンター第2体 育館	4歳児 158名	団体活動を通して、幼児に体を動かせることと、スキンシップを図ることで幼児同士の結びつきを重視し、遊びに必要な運動能力を伸ばし、運動の楽しさを学ぶ
テニス教室	2月～3月	ふれあい センター	社会人 75名	テニスの基礎的技術を身につけ、テニスの楽しさを理解し、テニスの普及を図る
スケート教室	1月	青空公園 スケート リンク	小学1年生 201名	スケートの履き方、取扱いからはじまり基礎的な技術を習得し、冬期間の運動の楽しさを学ぶ
キッズスポーツ 5歳児教室	3月	スポーツ センター	5歳児 154名	団体活動を通して、幼児に体を動かせることと、スキンシップを図ることで幼児同士の結びつきを重視し、遊びに必要な運動能力を伸ばし、運動の楽しさを学ぶ

(主催:公益財団法人千歳市体育協会)

〔8〕学校開放事業

学校体育施設(体育館、グラウンド)を広く市民スポーツの場に開放し、市民スポーツの振興を図ることを目的として実施し、市民の好評を得ています。

1 体育館

(1)使用申込み

利用希望団体は、利用する月の前月の15日までに管理指導員まで申し込む。

(2)開放期間・時間

開放期間 4月～3月

開放時間 平 日 17:00～21:00

土・日・祝日・学校の休業日 9:00～21:00

(3)開放学校

市内小中学校(東小学校を除く)

2 グラウンド

(1)使用申込み

利用希望者は、利用する月の前月の15日までに観光スポーツ部スポーツ振興課スポーツ施設係まで申し込む。(受付:土・日・祝日を除く、9:00～17:00)

(2)開放期間・時間

開放期間 5月～10月

開放時間 平 日 5:00～7:00 17:00～19:00

土・日・祝日・学校の休業日 5:00～19:00

(3)開放学校

市内小中学校(東小学校、北進小中学校除く)

3 武道場

(1)使用申込み

利用希望団体は、利用する月の前月の15日までに管理指導員まで申し込む。

(2)開放期間・時間

開放期間 4月～3月

開放時間 平 日 19:00～21:00

(3)開放学校

勇舞中学校

4 利用状況

(1)利用人数

年度	体育館	グラウンド	計
25	110,521人	51,349人	161,870人
26	111,866人	46,576人	158,422人
27	104,590人	41,284人	145,874人

(2)種目別利用状況(平成27年度)

体育館種目別利用状況

種目	利用状況	種目	利用状況
バスケットボール	26.0%	ミニバレーボール	4.5%
フットサル	27.7%	バレーボール	6.6%
野球	7.6%	空手	6.1%
バドミントン	7.8%	その他	13.7%

グラウンド種目別利用状況

種目	利用状況
野 球	64.4%
サッカー	35.6%

(3)開放校及び開放期間

	体育館	グラウンド	武道場
学 校 名	(通年) 千歳小・北栄小・末広小・緑小 千歳第二小・支笏湖小・日の出小 信濃小・高台小・祝梅小・桜木小 向陽台小・北陽小・泉沢小 北進小中・駒里小中 千歳中・青葉中・東千歳中・富丘中 北斗中・向陽台中・勇舞中	(5月～10月) 千歳小・北栄小・末広小・緑小 千歳第二小・支笏湖小・日の出小 信濃小・高台小・祝梅小・桜木小 向陽台小・北陽小・泉沢小・駒里小中 千歳中・青葉中・東千歳中・富丘中 北斗中・向陽台中・勇舞中	(通年) 勇舞中

〔9〕社会体育施設

1 千歳市温水プール

(1)施設の概要

所在地 千歳市流通3丁目1番9号 電話0123-49-7001

開設 平成10年7月20日

建築構造 鉄筋コンクリート造一部鉄骨造

地上2階地下1階

敷地面積 7,712.63 m²

延床面積 3,643.751 m²

1階 2,766.254 m²

2階 572.920 m²

地階1 304.577 m²

1階 プール、更衣室、待合ロビー、
観覧ロビー、会議室

2階 ロビー、多目的ホール、会議室、歓談室、空調機械室、電気室

地階1 濾過機械室、機械監視室

(施設設備)

プール室 競泳プール(公益財団法人日本水泳連盟公認25m、8コース)、

流水プール(周回距離44.9m)、幼児・低学年プール

ウォータースライダー(滑走路全長101.04m)

ジャグジー(2基)、寝湯(3人用)、採暖室、観覧席(119席)

ロッカー室: ロッカー数550(男264人分、女270人分、多目的16人分)



(2)沿革

新千歳空港24時間運用を巡る地域振興対策の一環として、平成9年4月に着工、10年5月に完成し、開設準備を経て平成10年7月20日から供用開始しました。

施設は、公益財団法人日本水泳連盟公認25m競泳プール8コースと、101.04mウォータースライダーや周回44.9m流水プールなどのレジャー的要素のプールを備えています。

平成21年4月からは、民間による経営ノウハウを活用し、サービスの向上、経費削減や効率化を目的に、指定管理者制度を導入しました。現在の指定管理者は株式会社苫小牧スコレです。

(3)運営方針

利用者が水に親しみ、心身の健全な発達及び健康の増進の場として、気軽に利用できる施設として、サービスの向上に努めています。

(4)利用案内、利用状況

ア 開館時間 10:00～21:00

イ 休館日 月曜日(祝日の場合は翌日)、年末年始、整備期間(2月)

ウ 利用状況(平成27年度)

区 分		延利用者数(人)
一般利用	未就学児	2,384
	小・中学生	20,737
	高校生	561
	一般	18,215
	65歳以上	8,577
	障がい者	6,884
	小計	57,358

区 分		延利用者数(人)
講習会	未就学児	10,926
	小・中学生	21,238
	一 般	6,146
	その他の事業	4,092
	小計	42,402
専用利用		2,425

合計 102,185人

2 千歳市スポーツセンター

(1)施設の概要

所在地 千歳市真町176番地の2 電話0123-22-1111

開設 昭和53年7月1日

構造 鉄筋コンクリート造一部鉄骨造 地上2階

敷地面積 20,699.99㎡

建築面積 3,846.80㎡

延床面積 1階 3,606.77㎡

中2階 286.04㎡

2階 1,984.24㎡

R階 114.76㎡ 合計 5,991.81㎡



《主要施設》

収容人員 2階固定席 772席、1階移動席 1,500席、立見席 500席

◎アリーナ 1,680㎡(42m×40m)【バスケットボール(2面) バレーボール(3面) バドミントン(8面) テニス(2面) 卓球(35台) 体力テスト

◎第2体育館 432㎡(16m×27m)【バレーボール(1面) バドミントン(3面) 卓球(6台)

◎トレーニング室 255.49㎡【ランニングマシン他19種36台】

◎幼児室 91.93㎡

(2)沿革

昭和45年6月の「スポーツ都市宣言」以来、全市を挙げてスポーツの振興に力を注ぎ、千歳市開基90周年・市制施行10周年の記念事業として、このスポーツセンターの建設が決定された。51年7月の着工以来、2か年の工事期間を経て、53年3月31日に完成、同年7月1日から供用開始しました。

平成18年4月からは、民間による経営ノウハウを活用し、サービスの向上、経費削減や効率化を目的に、指定管理者制度を導入しました。現在の指定管理者は公益財団法人千歳市体育協会です。25年4月から1年間をかけてリニューアル工事を行い、26年4月19日より全館供用を再開しました。

(3)運営方針

市民すべてがスポーツに親しみ、健全な体力づくりの場として積極的に活用されるような施設運営に努めています。

(4)利用案内、利用状況

ア 開館時間 午前 9:00～12:00 午後 13:00～17:00 夜間 18:00～21:00

イ 休館日毎週月曜日(第3は除く、祝日の場合は翌日)、毎月最終金曜日の午前、年末年始

ウ 利用状況(平成27年度)

区 分				延利用者数(人)
個人	アリーナ 及び 第2体育館	当日券	小中高	9,103
			一 般	12,271
		定期券	小中高	4
			一 般	1,782
		小 計		23,160
	トレーニング	当日券		8,667
		定期券		10,010
		小 計		18,677
	その他			5,908
	小 計			24,585

区 分		延利用者数(人)
団 体	スポーツ	67,690
	そ の 他	3,606
	会 議	3,807
	小 計	75,103

合計 122,848人

3 千歳市開基記念総合武道館

(1)施設の概要

所在地 千歳市あずさ1丁目3番1号 電話0123-22-2100

開設 平成5年6月1日

構造 鉄骨鉄筋コンクリート造一部鉄骨 地上2階

敷地面積 28,037.47 m²

建築面積 6,567.23 m²

延床面積 7,298.64 m²

《主要室》

アリーナ 1,553m²

剣道6面、柔道4面(公式)

バレーボール3面(6人制)

バドミントン10面

剣道場 450m² 剣道2面

柔道場 450m² 柔道2面

弓道場 463m² 近的28m²×6人立

トレーニング室 179m² ランニングマシン他14種37台

会議室 114.3m²

観覧席 279m² 固定席約500席



(2)沿革

千歳市開基記念事業として、この総合武道館の建設が決定された。

平成5年3月17日に完成し、同年6月1日から供用開始しました。

平成18年4月からは、民間による経営ノウハウを活用し、サービスの向上、経費削減や効率化を目的に、指定管理者制度を導入しました。現在の指定管理者は公益財団法人千歳市体育協会です。

(3)運営方針

利用者が武道に親しみ、心身の健全な発達及び健康の増進の場として、気軽に利用できるような施設運営に努めています。

(4)利用案内、利用状況

ア 開館時間 午前9:00～12:00 午後13:00～17:00 夜間18:00～21:00

イ 休館日 毎週月曜日(第1は除く、祝日の場合は翌日)、毎月最終金曜日の午前、年末年始

ウ 利用状況(平成27年度)

区 分				延利用者数(人)
個人	アリーナ 及び 競技場等	当日券	小中高	14,420
			一 般	14,337
		定期券	小中高	9,822
			一 般	12,150
	小 計			50,729
	トレーニング	当日券	6,347	
		定期券	6,892	
		小 計	13,239	
	その他			4,838
小 計			68,806	

区 分		延利用者数(人)
団 体	スポーツ	62,792
	会 議	4,504
	小 計	67,296

合計 136,102人

4 その他の社会体育施設

区分	施設名	所在地	利用期間・時間	施設概要
屋内	ふれあいセンター	あずさ1丁目1番13号	通年9:00～21:00休館:月の第2,4月曜、月の最終金曜午前、年末年始	鉄骨造平屋建 1,014㎡ 砂入り人工芝アリーナ ゲートボール2面、テニス1面
ボート	青空公園ゲートボール場	あずさ1丁目1100番	4月～10月	ゲートボール6面
陸上	青葉陸上競技場	真町176番地の1	4月～10月	全天候舗装、3種公認400mトラック
野球場	千歳市民球場	泉沢868番地の22(青葉公園内)	4月～10月	面積25,000㎡、両翼95m、センター120m、本塁～バックネット周19m
	青葉球場	真町2196番地の1(青葉公園内)		面積21,000㎡、両翼94.4m、センター111.369m、本塁～バックネット周20m
	上長都公園野球場	上長都1051番地の17		面積7,868㎡ 両翼70m、センター85m
	若草公園野球場	若草5丁目4番地		面積21,475㎡
	青葉少年野球場	真町176番地の3		面積6,870㎡、少年野球場1面
ソフトボール	あずまソフトボール場	青葉2丁目5番地の23	4月～10月	面積6,092㎡、ソフトボール場1面
	住吉ソフトボール場	住吉1丁目3番地		面積18,000㎡、ソフトボール場2面
	臨空公園ソフトボール場	泉沢1007番地の52		面積8,250㎡、ソフトボール場2面
サッカー	青葉公園ラグビー場	泉沢868番地の23	4月～10月	面積15,000㎡、
	青葉公園サッカー場	泉沢868番地の22		面積21,000㎡
	青空公園サッカー場	あずさ1丁目1096番地		面積9,800㎡
	臨空公園サッカー場	泉沢1007番地の112		面積15,914㎡
広場	青葉多目的広場	真町176番地の3	通年	面積894㎡
	泉郷多目的広場	泉郷289番4	4月～10月	面積7,543㎡
	青葉公園ピクニック広場	泉沢868番地の23	4月～11月	面積33,000㎡
庭球場	青葉公園庭球場	真町2196番地の1	4月～10月	面積11,543㎡、人工芝、硬式7面、軟式5面
	すみよし2号公園庭球場	住吉2丁目4番地		面積1,380㎡、クレイ2面
	末広東公園庭球場	末広3丁目29番地		面積800㎡、人工芝1面
	しゅくぶ公園庭球場	梅ヶ丘2丁目8番地の1		面積300㎡、人口芝1面
	つばさ公園庭球場	泉沢1007番地の127		面積2,730㎡、人工芝4面(夜間照明2面)
	上長都明星公園庭球場	上長都5番地の2		面積300㎡、人工芝1面
	向陽台公園庭球場	文京3丁目4番地の1		面積2,730㎡、人工芝4面(夜間照明2面)

区分	施設名	所在地	利用期間・時間	施設概要
水泳プール	青葉水泳プール	真町176番地の3	6月下旬～ 9月上旬 10:00～17:00	コンクリートDNシート張(上屋付) 25m×10.7m、5コース 深度1.1m～1.5m
	北栄水泳プール	北栄1丁目10番3号		コンクリートDNシート張(上屋付) 25m×13m、7コース 深度1.3m～1.4m
	日の出水泳プール	日の出2丁目3番6号		コンクリートDNシート張(上屋付) 25m×13m、7コース 深度1.1m～1.5m
	末広水泳プール	富丘2丁目6番3号		アルミ DN シート張(上屋付) 25m×13m、7コース 深度1.1m～1.4m
	東水泳プール	東丘824番地の30		アルミ(上屋付) 20m×9m、3コース 深度0.9m～1.1m
	北斗水泳プール	北斗5目1番1号		アルミ DN シート張(上屋付) 24m×10.2m、4コース 深度1.1m～1.4m
	向陽台水泳プール	若草5丁目3番地		アルミ DN シート張(上屋付) 25m×10.2m、4コース 深度1.1m～1.4m
	信濃水泳プール	信濃2丁目34番12号		アルミ DN シート張(上屋付) 25m×10.2m、4コース 深度1.1m～1.4m
	駒里水泳プール	駒里945番地		FRP(上屋付) 25m×7.82m、3コース 深度1.1m～1.2m
	北陽水泳プール	北陽3丁目9番1号		FRP(上屋付) 25m×10.2m、4コース 深度1.1m～1.4m
スケート	青空公園スケート場	あずさ1丁目1096番地	12月～2月 9:00～20:00	面積8,628㎡、1周400m公認、夜間照明付、夏期ローラースケート場
	日の出スケートリンク	日の出小学校	1月～2月 8:30～16:00	1周約200m
	祝梅スケートリンク	祝梅小学校		
	高台スケートリンク	高台小学校		
	向陽台スケートリンク	向陽台小学校		
	信濃スケートリンク	信濃小学校		
	桜木スケートリンク	桜木小学校		
	北栄スケートリンク	北栄小学校		
	千歳スケートリンク	千歳小学校		
	緑スケートリンク	緑小学校		
	北陽スケートリンク	北陽小学校		
	千歳第二スケートリンク	千歳第二小学校		
	泉沢スケートリンク	泉沢小学校		
	支笏湖スケートリンク	支笏湖小学校		1周約140m
スキー	千歳市市民スキー場	泉沢1017番地の7	12月～3月 9:00～17:00 ナイター期間中 9:00～21:00	面積52,000㎡、管理棟175㎡、 標高差48m、最大斜度27度、 降滑長250m キャリーエース1基
	歩くスキーコース	青葉公園	12月～3月	歩くスキークラシカルコース3.2km、フリースタイルコース7.2km、冬期間のウォーキングコース3.2km

千歳市の教育

2016

平成28年7月発行

発行・編集 千歳市教育委員会
